

は じ め に

この年報は、塩釜地区消防事務組合における平成30年中の消防現勢及び消防諸般の状況を統計的に収録したものです。

本書は、消防行政の合理的な運営と消防力の充実強化の参考に資するとともに、本組合消防の実態を広く一般に紹介することを目的として編集しました。

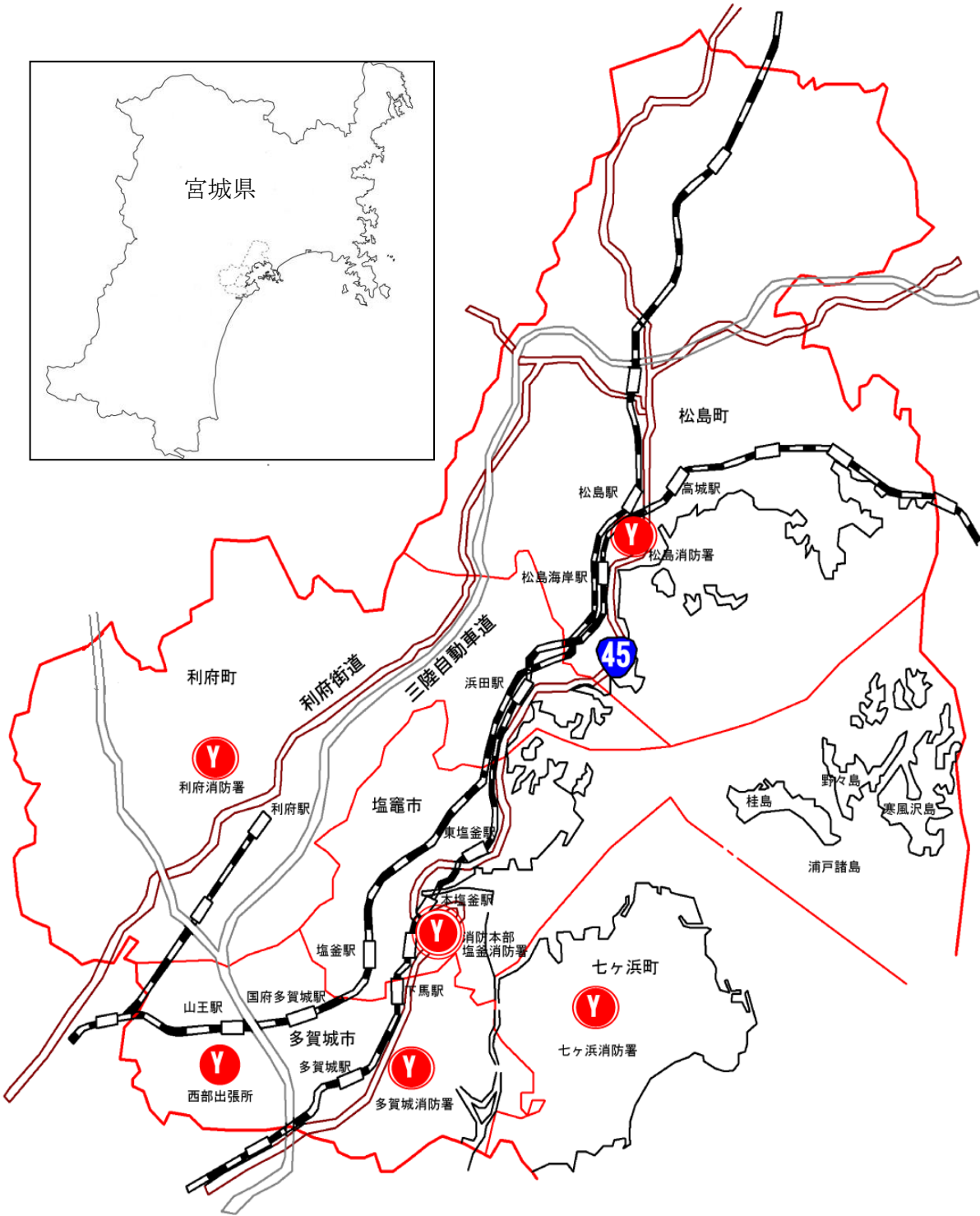
本書の記載内容で予算に関するものは会計年度、消防統計的なものについては暦年として編集しましたが、表中に年月日を明示したものについては、その時点での現況です。その他の表につきましては、特に記載のない限り平成31年4月1日現在をもって収録しました。

何とぞ御高覧の上、今後とも消防行政に対しまして深いご理解とより一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

令和元年5月

塩釜地区消防事務組合消防本部

塩釜地区消防事務組合管内位置図



塩釜地区消防事務組合市町の概要

本消防事務組合は、宮城県のおぼ中央に位置し、148.70km²という狭あいな地域に市街地が連担し、東は200余島からなる風光明媚な松島を形成する太平洋に接し、西南部は仙台市に接している。

管内の特色は、海岸部はリゾート基地・水産業を軸とする観光・水産都市、歴史性をもった文化都市、職住近接型のニュータウン、加えて、東北の各都市への石油類を供給する役割をもつ石油コンビナート地帯を抱えるなど、消防行政需要がますます増加する地域であり、その構成市町の概要は、次のとおりである。

塩 竈 市

陸奥の国府多賀城の荷揚港として、また鹽竈神社の門前町として古くから栄えてきた塩竈市は、商工、観光港と合わせて、特定重要港、特定第三種漁港の指定を受ける港湾都市・水産都市である。管内では、行政、産業経済、交通の面で中心的役割を担っている。

多 賀 城 市

かつて、陸奥の国府が置かれた多賀城市は、管内最古の歴史を持ち、文化をはぐくむ史跡のまちの整備がなされ、加えて、仙台港の開港とともに仙台湾臨海部における大型工業拠点都市としての役割を担っている。更には、多賀城駅周辺地域の開発整備や八幡地区の津波復興拠点の整備が進んでいる。

松 島 町

日本三景・特別名勝である松島町は、その自然の優れた景観と五大堂、瑞巖寺など文化遺産に恵まれ、国際観光モデル地区の指定も受け、松島を訪れる観光客の大型宿泊施設が林立する観光の拠点であり、国際交流の場である。

七ヶ浜 町

水産資源に恵まれ、近海漁業、浅海沿岸養殖漁業の基地である七ヶ浜町は、仙台都市圏のベッドタウンとして住宅団地の開発が行われたことに伴って人口の増加が進んだ。また国際交流施設を持つリゾート基地として変貌を遂げている。

利 府 町

緑地に囲まれた利府町は、主産業の農業から、職住近接型ニュータウンの建設や新幹線車両基地の建設等により都市機能が拡大。人口の増加に伴い、近接市町への通勤者が増えている。また、工業団地への企業の進出により製造業の伸長も著しい。更に自然を生かした県民のいこいの場、総合的なスポーツの拠点として発展している。

一 目 統 計

面 積		人 口		世 帯 数		消 防 予 算	
148.7km²		185,325人		76,063世帯		2,080,038千円	
塩竈市	17.37km ²	塩竈市	54,192人	塩竈市	23,552世帯	一人当たり	
多賀城市	19.69km ²	多賀城市	62,241人	多賀城市	26,879世帯	11,224円	
松島町	53.56km ²	松島町	14,073人	松島町	5,630世帯	一世帯当たり	
七ヶ浜町	13.19km ²	七ヶ浜町	18,765人	七ヶ浜町	6,692世帯	27,436円	
利府町	44.89km ²	利府町	36,054人	利府町	13,310世帯		

署 所		消 防 職 員		保 有 車 両			
消防本部	1	条例定数	232名	ポンプ車	10台	救助工作車	1台
消防署	5	実 員	222名 (うち女性8人)	化学車	3台	消 防 艇	1艇
出張所	1	平均年齢	37.02歳	大型水槽車	1台	救 急 車	8台
資機材倉庫	1	平均勤続年数	16.21年	はしご車	2台	そ の 他	20台

火 災		救 急		救 助		119番通報件数	
火災件数	40件	救急件数	9,169件	救助件数	32件	総通報件数 12,676件	
		搬送人員	8,861人	救助人員	34人		
建物火災	27件	平均現場到着所要時間		交通事故	10件	固定電話	6,605件
林野火災	0件	7分39秒		水難事故	2件	携帯電話	4,755件
車両火災	4件	平均医療機関収容所要時間		機械事故	1件	加入電話	1,238件
船舶火災	0件	38分13秒		建物事故	13件	その他	78件
その他火災	9件			その他	6件		

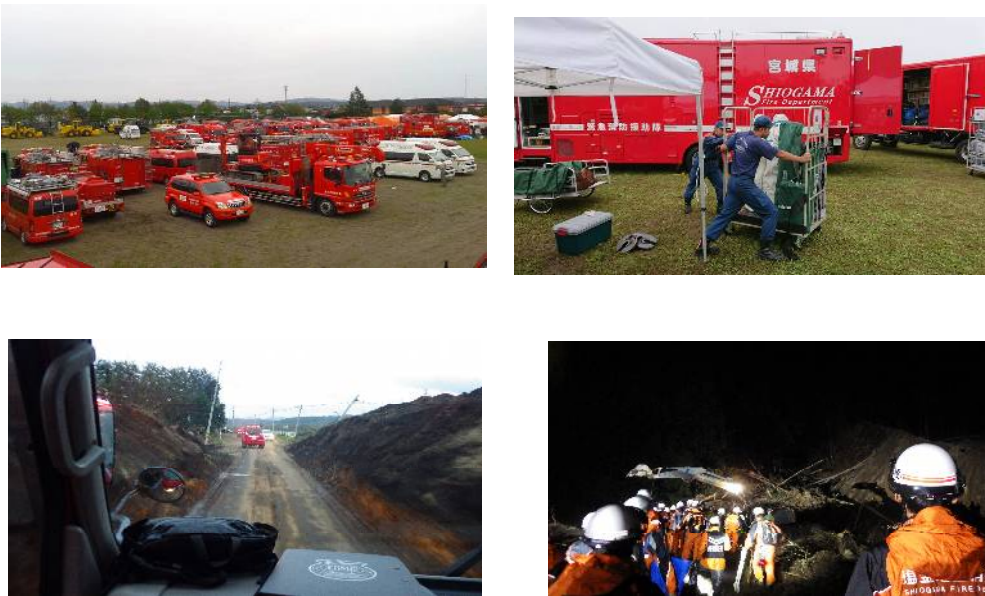
防 火 対 象 物		危 険 物 施 設		消 防 団 員		消 防 水 利	
3,729棟		1,135施設		794人		総計 3,573	
特定防火対象物		製造所	2施設	塩竈市塩竈	80人	消火栓	2,767
1,055棟		貯蔵所	935施設	塩竈市浦戸	52人	防火水槽	648
非特定防火対象物		取扱所	198施設	多賀城市	157人	その他	158
2,674棟				松島町	210人		
				七ヶ浜町	190人		
				利府町	105人		

平成30年度の主な行事等

月 日	記 事
5 月 22 日	<p>震災初動対応訓練及び警防本部設置運用訓練を実施</p> 
6 月 13 日	<p>幼年消防クラブ地区大会(セキスイハイムスーパーアリーナ)</p> 
9 月 1 日	<p>平成30年度9.1宮城県総合防災訓練(七ヶ浜町) (70機関・約2,000人)</p> 



9/6～9/11 北海道胆振東部地震に伴い、緊急消防援助隊宮城県大隊の一員として後方支援小隊2隊(6名)を派遣。北海道勇払郡厚真町において活動。



10月4日 消火技術コンクール(利府町)



10月28日 宮城県石油コンビナート防災訓練を実施



11月14日 秋の火災予防運動に伴う秋季消防訓練を松島町で実施



12月3日 消防長査閲訓練を実施
12月4日



1 月 23 日
1 月 24 日

文化財防火デーに伴う消防訓練を瑞巖寺、鹽竈神社において実施



2 月 20 日
2 月 21 日

救急実技訓練を実施



3 月 13 日
3 月 19 日

特別救助隊訓練披露実施

水難救助隊訓練披露実施



塩釜地区消防事務組合の沿革

年 号	月 日	記 事
昭和45年	4月1日	・塩竈市、多賀城町、松島町、七ヶ浜町、利府町の1市4町で、塩釜地区消防事務組合を設立し、塩竈市に消防本部、1消防署、1出張所、多賀城町に1分署を設置、消防車6台、救急車2台、消防艇1隻、職員定数120名(実員80名)で発足 ・初代消防長に大沼盛就任
	7月9日	職員3名採用し、実員83名となる。
	7月22日	消防副士長制度を採用
昭和46年	2月2日	多賀城町鶴ヶ谷字内手2番地の1に多賀城消防分署庁舎完成移転し、業務を開始(ポンプ車2台、救急車1台、職員19名)
	3月23日	指令車(トヨタクラウン 2,000cc)を更新し、消防本部に配置
	4月1日	職員38名採用し、実員120名となる。
	6月16日	塩竈市尾島町17番22号に消防本部、塩釜消防署庁舎完成し、業務を開始(ポンプ車3台、救急車1台、指令車1台、広報車1台、職員44名)
	11月20日	七ヶ浜町吉田浜字野山15番地の45に七ヶ浜出張所を開設(ポンプ車1台職員6名)
昭和47年	11月26日	松島町磯崎字浜1に松島出張所を開設(ポンプ車2台、広報車1台、職員17名)
	12月1日	利府町利府字大町20番地に利府出張所を開設 (ポンプ車1台、職員6名)
	1月1日	多賀城市市制施行に伴い、多賀城分署を消防署に、松島出張所を分署に昇格
	4月1日	消防施設整備第一期計画を作成、定数条例2名(消防吏員以外の職員)を増員し122名とする。
昭和48年	11月21日	普通消防ポンプ自動車(ニッサン130馬力)1台を購入し、塩釜消防署に配置
	3月27日	40t級化学消防艇「まつしま」を建造、一本松出張所に配置し、消防艇「うらしお」を廃艇
	4月1日	・二代消防長に児玉金七就任 ・消防施設整備第二期計画に基づき、定数条例6名を増員し128名とする。
	6月15日	日本損害保険協会から水槽付消防ポンプ自動車1台の寄贈を受け多賀城消防署に配置
	11月5日	農協共済連合会から3B型救急車の寄贈を受け、塩釜消防署に配置
昭和49年	12月1日	松島分署救急業務を開始
	2月12日	18m級梯子付消防ポンプ自動車を購入し塩釜消防署に配置
昭和50年	4月1日	消防施設整備第二期計画に基づき条例定数6名を増員し、134名とする。
	4月1日	定数条例2名を増員し、136名とする。
昭和51年	6月10日	塩釜港石油基地防災協議会から化学ポンプ自動車の寄贈を受け、塩釜消防署に配置
	6月28日	松島町松島字蛇ヶ崎右53番地に松島分署新庁舎完成移転し、業務を開始
	8月1日	三代消防長に板宮秀夫就任
	12月1日	特別消防隊(隊員20名)発足、初代隊長に鹿新吉就任
	2月13日	トヨタ2B型救急車を購入(更新)し、松島分署に配置
	3月15日	塩釜港石油基地防災協議会と塩竈市との協定により一本松出張所に泡原液貯蔵タンク(10kℓ容量)1基建設
	4月1日	消防施設整備第三期計画を作成、定数条例8名増員し、144名とする。
	4月21日	日本損害保険協会からトヨタ2B型救急車の寄贈を受け多賀城消防署に配置
8月17日	日本損害保険協会から水槽付消防ポンプ自動車の寄贈を受け塩釜消防署に配置	

年号	月日	記 事
昭和51年	10月1日	多賀城市山王字中山王23番地の2に多賀城消防署西部出張所を開設 (ポンプ車1台、職員8名)
昭和52年	4月1日	消防施設整備第三期計画に基づき、定数条例5名を増員し、149名とする。
	4月12日	指令車(トヨタクラウン 2,000cc)を更新し、消防本部に配置
	12月20日	塩釜地区消防事務組合職員章を制定
昭和53年	1月31日	消防本部庁舎裏に救助訓練塔完成
	2月1日	消防音楽隊(隊員22名)発足、初代隊長に山路一郎就任
	3月14日	水槽付消防ポンプ自動車購入し、松島分署に配置
	4月1日	消防施設整備第三期計画に基づき定数条例8名増員し、157名とする。
	6月12日	17時14分宮城県沖地震発生(震度5マグニチュード7.4)管内で死者5名負傷者62名、倒壊家屋多数、その他塩釜地区石油コンビナート地域においてもタンクの破損、また東北石油の原油タンク破壊など大きな被害をもたらした。
	9月	第1回消火技術コンクールを開催(月見ヶ丘スポーツ広場)
	9月7日	日本消防協会から2B型救急車の寄贈を受け、塩釜消防署に配置
	10月1日	七ヶ浜町吉田浜字野山5番地の56に七ヶ浜出張所新庁舎完成移転し、業務を開始(化学車1台、ポンプ車2台、職員16名)
	10月19日	塩釜ライオンズクラブから広報車の寄贈を受け、塩釜消防署に配置
	11月4日	35m級梯子付消防ポンプ自動車を購入し、塩釜消防署に配置
昭和54年	4月1日	消防施設整備第三期計画に基づき定数条例2名増員し、159名とする。
	4月19日	日本損害保険協会から普通消防ポンプ自動車の寄贈を受け、松島分署に配置
	5月11日	資材搬送用として、普通トラックを購入し、塩釜消防署に配置
	8月2日	災害時の職員搬送用として29人乗マイクロバスを購入し消防本部に配置
	8月24日	消防本部に主幹制度を採用
	9月14日	日本防火協会から防火広報車の寄贈を受け、塩釜消防署に配置
	11月1日	自主防災組織強化のため塩釜地区少年婦人防火委員会発足
昭和55年	3月6日	化学消防ポンプ自動車日野A-1級を購入(更新)し、多賀城消防署に配置
	4月1日	消防施設整備第三期計画に基づき定数条例6名増員し、165名とする。
	7月8日	利府出張所を増改築
	9月1日	日本消防協会から広報車の寄贈を受け、松島分署に配置
	9月8日	日本損害保険協会から軽化学車の寄贈を受け、七ヶ浜出張所に配置
	10月4日	広報車としてトヨタカーリーナバン1,600ccを購入(更新)し、多賀城消防署に配置
	12月23日	トヨタ2B型救急車を購入(更新)し、松島分署に配置
昭和56年	3月12日	CD-1型普通消防ポンプ自動車を購入(更新)し、利府出張所に配置
	4月1日	・機構改革により警防課に通信係を新設、塩釜消防署警防係を警防第一係及び警防第二係に改組、多賀城消防署に設備係を新設する。 ・消防施設整備第四期5ヵ年計画を作成
	8月28日	多賀城市大代三丁目中野武彦氏よりニッサンサニーの寄贈を受け、多賀城消防署事務連絡車として配置
	9月28日	日本消防協会から2B改良型救急車の寄贈を受け、多賀城消防署に配置
	11月10日	CD-1型普通消防ポンプ自動車2台購入(更新)し、塩釜消防署及び多賀城消防署に配置
昭和57年	4月1日	B型消防救急指令装置を導入し、通信指令室を2階に移設、業務を開始
	4月5日	鹽竈神社氏子青年会から広報車として、トヨタコロナ 1,800ccセダンの寄贈を受け塩釜消防署に配置
	4月28日	第1回幼年消防クラブ地区大会を県民の森で開催
	8月24日	宮城県消防協会から緊急給水用ろ水器の寄贈を受け消防本部に配置

年号	月日	記 事	
昭和57年	10月22日	CD-1型普通ポンプ自動車2台購入(更新)し、多賀城消防署及び七ヶ浜出張所に配置	
	10月26日	日本損害保険協会から水槽付消防ポンプ自動車の寄贈を受け、西部出張所に配置	
	11月20日	消防本部庁舎(会議室、書庫)増築	
昭和58年	4月27日	4・27林野火災発生、覚知 12:44(119) 鎮火4月28日13:05 利府町における損害は山林等578ha、建物18棟(罹災世帯6世帯、罹災人員30名)を焼失し、合計10億2,682万円に及んだ。	
	5月1日	管理者に内海勇三塩竈市長就任	
	7月1日	四代消防長に豊島繁就任	
	10月1日	人口急増等を勘案し、七ヶ浜出張所を分署に昇格	
昭和59年	3月15日	日本損害保険協会からニッサンキャラバン型救急車の寄贈を受け、塩釜消防署に配置	
	3月31日	一本松出張所廃止	
	5月10日	全国消防長会主催による第15回「危険物委員会」塩竈市で開催	
	8月2日	第27回「宮城県操法大会」多賀城市で開催	
	11月1日	全管内を対象に毎日広報(防火パトロール)を開始	
	11月10日	国庫補助事業により救助工作車購入、塩釜消防署に配置	
	11月14日	防衛庁補助事業により水槽付消防ポンプ自動車を購入し、多賀城1号車として多賀城消防署に配置	
	昭和60年	3月1日	分担金条例の一部改正(施行日昭和60年4月1日)
		4月1日	・防災無線並びに防災ファクシミリ設置運用開始 ・宮城県消防協会塩釜支部の事務受託
		9月9日	鹽竈神社からトヨタ2B型改良型救急車の寄贈を受け塩釜消防署に配置
10月1日		塩釜消防署七ヶ浜分署に救急車(トヨタ2B型)配置、救急業務を開始	
11月1日		機構改革により課長補佐制の導入	
11月22日		国庫補助事業により大型水槽車(水10t)三菱19t級290馬力を購入し塩釜消防署に配置	
昭和61年		4月1日	・消防施設整備第五期5ヵ年計画を作成 ・電算導入による検討プロジェクトチーム(6名)発足
	8月5日	8・5集中豪雨発生、警戒発令日時8月4日15:15 塩釜地区消防事務組合管内における被害状況は住宅(全壊1棟、半壊6棟、一部損壊16棟、床上浸水3,838棟、床下浸水3,283棟)、田畑(流失・埋没329ha冠水1,346ha)、崖崩れ(211箇所)、道路損壊(211箇所)、河川損壊(40箇所)に及び合計損害額は約10,764,794千円に及んだ。	
	8月28日	(財)日本消防協会から電源照明用資機材等搬送車一台寄贈され塩釜消防署に配置	
	12月5日	消防本部警防戦術計算統計検討委員会発足(22名)	
	昭和62年	2月18日	国庫補助事業により化学消防ポンプ車購入(更新)塩釜消防署に配置
3月1日		消防本部に情報通信室新設	
3月28日		宮城県共済農業協同組合連合会よりニッサンキャラバン型救急車の寄贈(更新)を受け七ヶ浜分署に配置	
4月1日		職員給与の電算化導入	
7月15日		指令車購入(更新)し、消防本部に配置	
7月26日		丸文汽船㈱から、ニッサンキャラバン型救急車の寄贈を受け松島分署に配置(更新)	

年号	月日	記 事
昭和62年	8月28日	(財)日本消防協会からトヨタ2B型救急車の寄贈を受け利府出張所に配置
	10月19日	情報電送装置(ファクシミリ)を各署所に導入
昭和63年	2月16日	防衛庁補助事業により、軽化学車を購入、4号化学車として多賀城消防署に配置
	3月1日	消防緊急情報システム(地図等検索装置)を消防本部情報通信室に配置
	3月29日	利府町利府字堀切前11番地の1に塩釜消防署利府出張所新庁舎完成
	4月1日	利府出張所、分署に昇格
	6月10日	宗教法人瑞巖寺からスバルレオーネバン型広報車の寄贈を受け松島分署に配置
	7月1日	消防計画策定委員会発足
	8月10日	消防本部庁舎増改築
	8月25日	塩釜ガス株式会社からスバルレオーネバン型広報車の寄贈を受け塩釜消防署に配置
	9月3日	カメイ株式会社からニホンフォードテルスター、指令2号車の寄贈を受け消防本部に配置
	10月25日	千葉妙雄氏、株式会社ごんきやからトヨタクラウンセダン型消防連絡車の寄贈を受け消防本部に配置
	11月1日	塩釜地区消防事務組合条例規則等検討委員会発足(22名)
昭和64年	1月7日	昭和天皇崩御
平成元年	1月8日	年号が「平成」と制定される。
	1月11日	20周年記念事業検討委員会発足
	2月16日	管内防災支援地図を作製
	2月24日	昭和天皇の大喪の礼が行われる。
	3月29日	(有)山源工務店から指揮車(三菱パジェロエステートバン)の寄贈を受け消防本部に配置
	3月30日	塩釜中央ライオンズクラブからスバルレックスコンピF型ライオンズ号の寄贈を受け消防本部に配置
	4月1日	・塩釜地区消防事務組合衛生管理者委員会発足(7名)
	4月1日	・管内独居高齢者を対象にテレホンパトロールを開始
	4月14日	(社)日本損害保険協会から軽化学消防ポンプ自動車の寄贈を受け、5号化学車として利府分署に配置
	7月1日	・管内住民に対し消防広報紙(消防通信)を発刊(年4回) ・職員の勤務時間見直しにより4週6体制を実施
	12月6日	(財)日本防火協会から防火広報車(トヨタハイエース)の寄贈を受け、塩釜消防署に配置
平成2年	1月26日	国庫補助及び起債事業により水槽付消防ポンプ自動車を購入(更新)し、松島分署に配置
	4月1日	・救急業務検討委員会発足(14名) ・職員3名を採用し、実員165名となる。
	4月19日	塩釜地区消防事務組合創立20周年記念式典を開催(出席者 225名)
	6月1日	消防施設整備計画策定委員会発足(24名)
	6月9日	職員互助会創立20周年記念パーティを開催(出席者486名)
	7月1日	職員定数の適正化計画により、定数条例改正、185名とする。
	9月28日	当組合創立20周年記念事業として「組合消防のあゆみ」を発刊
	10月1日	特殊勤務手当検討委員会発足(9名)
	11月12日	天皇陛下即位礼正殿の儀が行われる。
	11月26日	宮城県共済農業協同組合連合会から救急車の寄贈を受け松島分署に配置
	12月17日	消防本部と塩釜消防署の組織分離検討委員会発足(8名)

年号	月日	記 事	
平成3年	1月21日	災害時の職員搬送用として31人乗マイクロバス購入(更新)	
	1月30日	放火防止対策検討委員会発足(6名)	
	4月1日	・消防施設整備第六期5ヵ年計画の実施 ・職員5名採用し、実員170名となる。 ・組織機構改革により消防本部と塩釜消防署の分離 ・組織機構改革により当直司令制の導入 ・職員の勤務時間見直しにより土曜閉庁方式の導入	
	4月10日	新消防艇「さくら」就航(更新)	
	5月1日	管理者に三升正直塩竈市長就任	
	6月11日	多賀城市工場地帯防災協議会発足	
	8月29日	救急救命士法施行に伴う救急救命中央研修所へ職員1名を派遣	
	10月1日	宮城県防災ヘリコプター導入に伴い隊員1名(副隊長)派遣 (期間平成5年9月30日まで2年間)	
	平成4年	1月31日	企業三者共同による広報車(トヨタカムリ)の寄贈を受け、多賀城消防署に配置(更新)
		2月1日	消防業務検討委員会発足(10名)
3月2日		国庫補助及び起債事業によりCD-1型消防ポンプ自動車を購入、松島分署に配置(更新)	
3月10日		国庫補助及び起債事業により利府分署敷地に救助訓練塔を建設	
3月19日		起債事業により多賀城消防署増改築	
3月25日		多賀城消防署増改築及び救助訓練塔落成式を開催(出席者112名)	
3月30日		石油貯蔵交付金により油火災消火用薬剤貯蔵タンク(10kℓ)を更新	
4月1日		・五代消防長に目黒久就任 ・職員5名採用し、実員172名となる。	
5月19日		初めて救急救命士1名資格取得	
5月24日		多賀城ライオンズクラブから広報連絡車(日産ADライトバン)の寄贈を受け、多賀城消防署に配置(更新)	
6月11日		財団法人花園まちづくり記念財団から防災パトロール車(三菱パジェロルーフワゴン)の寄贈を受け、利府分署に配置(更新)	
12月1日		職員の勤務時間見直しにより、4週7休体制試行を実施	
平成5年		3月18日	35m級梯子自動車(日野自動車)を購入し、多賀城消防署に配置
	4月1日	職員7名を採用し、実員179名となる。	
	6月～9月	職員の体力錬成の一環として栗駒山登山実施(標高1,628m)	
	9月1日	火災予防の個別指導のため、管内全世帯の一般防火指導を開始	
	9月9日	救急救命士養成のため、広島市消防局救急救命士養成所へ職員1名派遣	
	10月1日	週休二日制(試行)	
平成6年	3月27日	救急救命士1名資格取得し、計2名となる。	
	4月1日	・職員5名を採用し、実員182名(定数185名)となる。 ・塩釜消防署七ヶ浜分署が多賀城消防署に所管替えとなる。 ・1週間当たり40時間勤務を実施(完全週休二日制) ・国庫・県補助事業により高規格救急自動車(トヨタハイメデック4000cc)を塩釜消防署に導入業務開始 ・国庫補助及び起債事業によりCD-1型消防ポンプ自動車を購入、利府分署へ配置(更新) ・消防戦術の見直しにより、火災出場区分を改正	
	4月5日	救急救命士養成のため、救急救命東京研修所へ職員1名を派遣	

年号	月日	記 事	
平成6年	8月5日	消防本部書庫完成	
	9月12日	救急救命士養成のため、仙台市消防局救急救命研修所へ職員2名を派遣	
	11月2日	六代消防長に吉田稔就任	
	11月12日	救急救命士1名資格取得し、計3名となる。	
	12月27日	職員定数条例の改正により定数203名(5ヵ年計画で18名を増員)となる。	
平成7年	2月15日	消防庁舎建設検討委員会発足	
	3月1日	塩釜ガス(株)から広報車(トヨタスプリンターカリブ)の寄贈を受け、七ヶ浜分署に配置(更新)	
	3月8日	宮城県共済農業協同組合連合会からニッサンキャラバン型救急車の寄贈を受け、多賀城消防署に配置(更新)	
	3月28日	18m級梯子車を20m級屈折梯子車(日野自動車)に更新し、松島分署に配置	
	3月28日	CD-1型普通ポンプ自動車(三菱ふそう自動車)1台購入し、塩釜消防署に配置(更新)	
	4月1日	職員8名を採用し、実員189名(定員203名)となる。	
	4月4日	救急救命士養成のため、救急救命東京研修所へ職員1名派遣	
	4月17日	宗教法人瑞巖寺から広報車(トヨタスプリンターカリブ)の寄贈を受け松島分署に配置(更新)	
	5月12日	救急救命士2名資格取得し、計5名となる。	
	6月23日	平成7年1月17日発生の阪神・淡路大震災を踏まえ、全国消防機関相互による迅速な援助体制整備のため緊急消防援助隊発足	
	8月29日	(財)日本消防協会からニッサンキャラバン型救急車の寄贈を受け、七ヶ浜分署に配置(更新)	
	10月5日	救急救命士養成のため、救急救命東京研修所へ職員1名派遣	
	11月15日	救急救命士1名資格取得し、計6名となる。	
	平成8年	1月23日	緊急消防援助隊発足に伴い派遣隊員(24名)任命
		3月1日	宮城県防災ヘリコプターに隊員1名3年間派遣
		3月27日	市町村波第2波(150.19MHz)増波し、運用開始
		3月29日	・超音波式潮位観測装置(検潮部湾内3ヶ所)処理装置を消防本部、同表示装置を組合構成市町に設置、観測システム業務開始
3月29日		・宮城県石油貯蔵施設立地対策等交付金事業によりCD-1型普通ポンプ自動車(三菱ふそう自動車)を1台購入し、七ヶ浜分署に配置(更新) 水槽付消防ポンプ自動車(日野)を1台購入し、西部出張所配置	
4月1日		・職員7名を採用し、実員193名(定員203名)となる。 ・消防施設整備第七期5ヵ年計画の実施	
4月9日		救急救命士養成のため、救急救命東京研修所へ職員1名派遣	
4月25日		救急救命士1名資格取得し、計7名となる。	
9月6日		アポロキャップ型作業帽を採用	
10月1日		・消防組織法の一部改正(平成7年10月1日公布)の施行に伴い、平成8年8月19日、消防職員委員会規則を制定し、10月1日から施行、同日、委員長に消防長に準ずる職員として次長を充て、委員長以下13名の委員会を設置 ・消防本部電話交換をダイヤルイン方式に変更	
10月15日		救急救命士養成のため、救急救命東京研修所へ職員1名派遣	
11月13日		救急救命士1名資格取得し、計8名となる。	
11月29日		第1回消防職員委員会開催	
12月19日 ～20日		北海道・東北ブロック初の緊急消防援助隊合同訓練に当組合から救急部隊、消火部隊各1隊参加(仙台市宮城野区港二丁目1番 訓練会場)	

年号	月日	記 事
平成8年	12月25日	塩消にゆうす創刊20周年特別号を発刊
平成9年	3月1日	宮城県石油貯蔵施設立地対策等交付金事業により新防火衣・防火靴更新
	3月6日	最新式消火システム「インパルス」を塩釜署に1基配備
	3月28日	全国波第2波(148.75MHz)並びに第3波(154.15MHz)増波運用開始
	3月28日	・防火衣保管用ロッカー設置(全署所) ・熱画像カメラ塩釜署に1基配置、ファイバースコープ塩釜署・多賀城署・松島分署に各1基配置
	4月1日	職員10名を採用し、実員201名(定員203名)となる。 (県消防学校初任科教育、現行6ヶ月から概ね1年間となる。)
	4月8日	救急救命士養成のため、救急救命東京研修所へ職員1名派遣
	4月18日	救急救命士1名資格取得し、計9名となる。
	5月24日	多賀城ライオンズクラブから防災車両として、ジープ型指揮車の寄贈を受け、多賀城消防署に配備、又同車両用けん引き型トレーラーがソニー(株)仙台テクノロジーセンターから寄贈される。
	8月8日	平成9年6月28日、松島町根廻地内で発生した列車脱線事故に係る迅速的確な救助活動により、消防本部に対し東日本旅客鉄道から感謝状
	9月8日	救急救命士養成のため、仙台市消防局救急救命研修所へ職員1名派遣
	9月12日	平尾昌晃氏ふれあい募金会より消防福祉号として、三菱デリカスペースギア8人乗りワゴン車1台の寄贈を受け消防本部に配置
	10月6日	・職員定数条例の改正により定数220名となる(消防吏員17名増員) ・塩釜労働福祉会館土地建物取得事業関係補正予算案議決 (10月28日売買契約・11月11日嘱託登記)
	10月24日	救急救命士1名資格取得し、計10名となる。
	11月5日	自治体消防50周年記念講演会を塩釜商工会議所に於いて、消防本部・職員互助会共催により、OBの桜井真氏を講師に迎え開催 (演題「消防のはじまりと近代消防への歩み」)
11月18日	鹽竈神社から消防搬送車として三菱ふそう2t自動車1台の寄贈を受け消防本部に配置	
12月25日	分担金条例一部改正議案議決(基準財政需要額の100分の60を、100分の66に改正、施行日・平成10年4月1日)	
平成10年	1月12日	宮城県石油貯蔵施設立地対策等交付金事業により指令車(トヨタクラウン)1台購入し、指令1として配置(更新)
	3月20日	宮城県石油貯蔵施設立地対策等交付金事業によりCD-1型普通ポンプ自動車(三菱ふそう自動車)を1台購入し、多賀城署に配置(更新)
	3月23日	陸上自衛隊多賀城駐屯地周辺消防施設設置助成事業により水-II型水槽付消防ポンプ自動車を更新配置
	3月24日	利府救急車(救急5)を災害対応特殊救急車に更新配置
	4月1日	・職員7名を採用し、実員208名(定員220名)となる。 ・利府分署配置人員を8名増員(現行総員21名から29名)し、救急隊の専従化を図る。
	4月23日	救急救命士2名資格取得し、計12名となる。
	9月1日	旧塩釜労働福祉会館を改修し、新消防本部庁舎として移転執務開始
平成11年	9月1日	元職員(32名)を対象とした、消防協力援助隊発足
	11月25日	救急救命士1名資格取得し、計13名となる。
	3月1日	宮城県防災ヘリコプターに隊員1名3年間派遣
	3月24日	旧消防本部事務室を改修し、新情報通信室に新鋭指令施設を導入する。

年号	月日	記 事	
平成11年	3月25日	宮城県共済農業協同組合連合会から救急車の寄贈を受け松島分署に配置	
	3月29日	宮城県石油貯蔵施設立地対策等交付金事業により高規格救急自動車(ニッサンハイメデック 3,270cc)を多賀城消防署に導入業務開始	
	4月1日	・七代消防長に田中一夫就任 ・職員9名を採用し、実員216名(定員220名)となる。 ・利府分署配置人員を2名増員(現行総員29名から31名) ・機構改革により情報通信室を指令課に改め、組織替えを図る。	
	5月1日	塩釜地区消防事務組合同規約の一部改正により議員定数14名を12名に改正	
	5月13日	救急救命士1名資格取得し、計14名となる。	
	7月1日	・塩釜地区消防事務組合の共同処理する事務の変更及び組合同規約の変更により事務局及び介護保険課(定員5名)を設置 ・職員定数条例の改正により定数225名となる	
	8月30日	日本消防協会から、C-1級可搬消防ポンプ付軽積載車(三菱ミニカ)の寄贈を受け塩釜消防署に配置	
	10月1日	介護認定審査業務開始	
	12月8日	救急救命士1名資格取得し、計15名となる。	
	平成12年	4月1日	・消防長を本部長とする行財政改善推進本部を設置し、行財政の改善に取り組む。 ・「煙火消費及び建設用びょう打ち銃用空包に係る許可事務」及び「液化石油ガス設備工事届及び特定液化石油ガス設備工事事業関係の事務」が県より移譲され業務を開始する。
		4月12日	救急救命士1名資格取得し、計16名となる。
		7月31日	塩釜地区消防事務組合消防音楽隊活動を一時休止する。
9月1日		行政需要の変化に的確に対応し、効果的な行政施策を計画的に推進するため、基本計画となる「消防プラン21」を策定し、計画行政の推進を図る。	
10月19・20日		塩釜地区消防事務組合職員互助会30周年記念行事を七ヶ浜町国際村にて開催(出席者648名)	
10月23日		救急救命士1名資格取得し、計17名となる。	
12月8日		宮城県石油貯蔵施設立地対策等交付金事業により、多賀城消防署配置の救助工作車Ⅱ型(三菱ふそう5.5t大型自動車)を更新配置	
平成13年		2月2日	塩釜地区消防事務組合同規約変更許可となる。 (負担割合を構成市町の基準財政需要額の総額に対する構成市町ごとの構成割合とする。)
	4月1日	・職員の再任用に関する制度施行 (消防司令以下は平成19年度以降施行) ・事務局が5名から7名体制となり、介護認定審査業務を消防職員のみで執行する。 ・職員定数条例の改正により定数227名となる。 ・本部組織の機構改革により、危険物係を保安係、救急係を救急救助係に改組するとともに隔日勤務職員を増員し当直体制の強化を図る。 ・基本計画に基づき施設整備に係る「消防施設整備第8期5ヵ年計画」の実施	
	4月10日	救急救命士1名資格取得し、計18名となる。	
	9月～10月	第56回国民体育大会(夏季・秋季)及び第1回全国障害者スポーツ大会の開催に伴い消防警備を実施する。	
	平成14年	3月1日	宮城県防災ヘリコプターに隊員1名3年間派遣
3月26日		宮城県石油貯蔵施設立地対策等交付金事業により、七ヶ浜分署配置の化学消防ポンプ自動車Ⅱ型(三菱ふそう5.5t大型自動車)を更新配置	
4月1日		・八代消防長に渡邊杜夫就任	

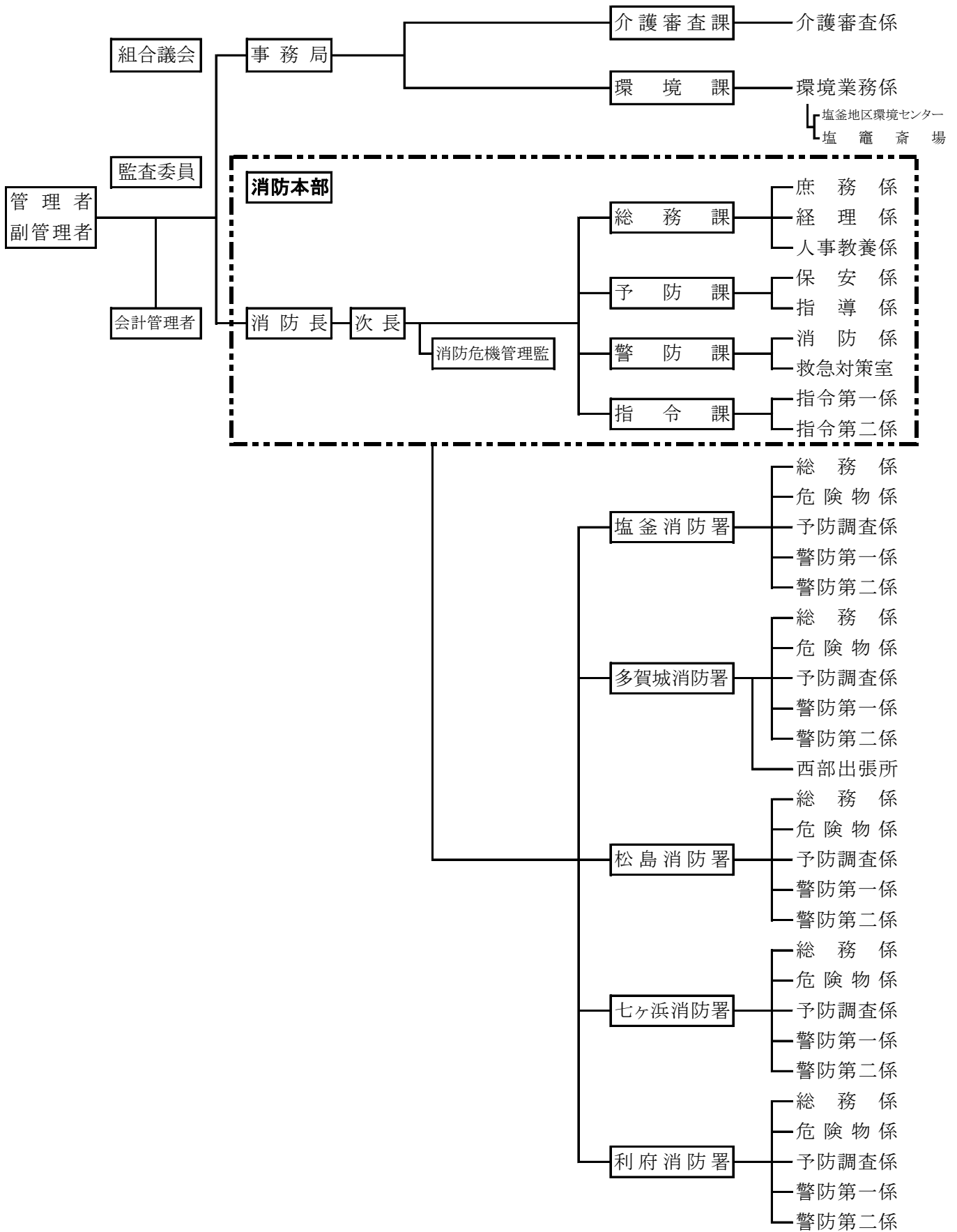
年号	月日	記 事
平成14年	4月1日	・職員3名(内初の女性消防官1名)を採用し、実員219名(定員227名)となる。
	6月	2002年FIFAワールドカップサッカー大会が日本・韓国の20都市で開催され、利府町にある宮城スタジアムでも3試合(6/9メキシコVSエクアドル、6/12アルゼンチンVSスウェーデン、6/18日本Vストルコ)が行われ消防警備を実施する。
	8月1日	119番FAX通信システムを導入・運用開始
	10月24日	救急救命士1名資格取得し、計19名となる。
	12月11日	国庫補助事業により利府分署配置の化学消防ポンプ自動車Ⅱ型(日野自動車5.5t大型自動車)を更新配置
平成15年	3月13日	宮城県石油貯蔵施設立地対策等交付金事業により、塩釜消防署配置の高規格救急自動車(トヨタハイメディック 3,400CC)を更新配置
	4月1日	・職員4名を採用し、実員219名(定員227名)となる。 ・仙台市消防局と初の人事交流
平成15年	5月1日	管理者に佐藤 昭塩竈市長就任
	11月19日	塩釜消防署配置の指揮車(トヨタハイラックスサーフ 2,700CC)を更新配置
平成16年	3月30日	宮城県石油貯蔵施設立地対策等交付金事業により、多賀城消防署配置の化学消防ポンプ自動車Ⅳ型(日野自動車10t大型自動車)を更新配置
	4月1日	・職員3名(内女性1名)を採用し、実員220名(定員227名)となる。 ・機構改革により消防危機管理監を配置する。
	4月1日	・消防組織法改正に伴い、緊急消防援助隊へ都道府県隊指揮隊、消火隊、救急隊、後方支援隊の4隊、14名を国に登録 ・改正服制基準による新活動服を採用
	4月20日	救急救命士1名資格取得し、計20名となる。
	11月2日	消防本部警防課配置の指揮車(スズキエスクード 2,000cc)を更新配置
平成17年	11月11日	救急救命士1名資格取得し、計21名となる。
	2月17日	救急救命士1名が気管挿管実施について宮城県メディカルコントロール協議会から認定される。
	3月1日	宮城県防災ヘリコプターに隊員1名3年間派遣
	3月30日	宮城県石油貯蔵施設立地対策等交付金事業により、松島分署配置の水Ⅱ型水槽付消防ポンプ自動車(日野自動車5t大型自動車)を更新配置
	4月1日	・消防力の充実強化のため松島分署、七ヶ浜分署及び利府分署を消防署へ昇格させる。 ・職員4名を採用し、実員223名(定員227名)となる。
	8月18日	救急救命士1名が気管挿管実施について宮城県メディカルコントロール協議会から認定され、計2名となる。
	11月1日	九代消防長に芳賀輝秀就任。
	11月14日	救急救命士1名取得し、計22名となる。
平成18年	12月6日	救急救命士1名が気管挿管実施について宮城県メディカルコントロール協議会から認定され、計3名となる。
	3月27日	(社)日本自動車工業会から高規格救急自動車(ニッサンパラメディック3,500cc)の寄贈を受け、七ヶ浜消防署に配置(更新)
	4月1日	・障害者自立支援法施行に伴い、事務局の介護保険課を介護審査課に改め、障害者自立支援審査業務開始 ・職員5名を採用し、実員225名(定員227名)となる。
	6月8日	宗教法人瑞巖寺から指揮車(トヨタサクシード(4WD))の寄贈を受け松島消防署に配置(更新)

年 号	月 日	記 事
平成18年	6月14日	救急救命士1名が気管挿管実施について宮城県メディカルコントロール協議会から認定され、計4名となる。
	7月25日	救急救命士1名が薬剤投与実施について宮城県メディカルコントロール協議会から認定される。
	9月1日	財団法人日本宝くじ協会助成事業により、消火・通報訓練指導車「けすゾウくん」を西部出張所に配置
	10月6日	救急救命士1名が気管挿管実施について宮城県メディカルコントロール協議会から認定され、計5名となる。
	11月21日	CD-1型消防ポンプ自動車(日野自動車2t車ベース)1台購入し松島消防署に更新配置
平成19年	2月28日	宮城県石油貯蔵施設立地対策等交付金事業により、高規格救急自動車(ニッサンパラメディック3,500cc)を松島消防署に更新配置。当組合の救急自動車が全て高規格救急自動車となる。
	3月15日	株式会社白寿殿から消防連絡車(トヨタクラウン)の寄贈を受け消防本部に更新配置
	4月1日	・職員5名(内女性1名)を採用し、実員225名(定員227名)となる。
	4月1日	・ホームページ開設
	9月1日	平成19年度宮城県総合防災訓練が多賀城市(陸上自衛隊多賀城駐屯地)で開催される。
平成20年	3月28日	宮城県石油貯蔵施設立地対策等交付金事業により、高規格救急自動車(トヨタハイメデック2,700cc)を利府消防署に更新配置
	4月1日	職員6名を採用し、実員225名(定員227名)となる。
	7月4日	宗教法人瑞巖寺から搬送1(トヨタダイナ)の寄贈を受け消防本部に配置
	12月26日	宮城県消防広域化推進計画が策定され、県内3消防本部体制により、県中ブロックとして仙台市消防局・黒川地域行政事務組合消防本部との広域化の枠組みが示される。
	3月27日	宮城県石油貯蔵施設立地対策等交付金事業により、大型高所放水車(高所1)を塩釜消防署に更新配置
平成21年	4月1日	・職員6名(内女性1名)を採用し、実員225名(定員227名)となる。 ・十代消防長に平山優就任 ・警防課救急救助係を救急対策室に改編
	12月24日	宮城県石油貯蔵施設立地対策等交付金事業により、高規格救急自動車(ニッサンパラメディック3,500cc)を多賀城消防署に更新配置
	2月25日	指揮車(マツダビアンテ1,900cc)を購入し利府消防署に更新配置
平成22年	3月27日	市町村振興総合補助事業によりCD-1型消防ポンプ自動車(日野自動車2t車ベース)を利府消防署に更新配置
	4月1日	職員10名を採用し、実員226名(定員227名)となる。
平成23年	2月3日	宮城県石油貯蔵施設立地対策等交付金事業により、指揮車(マツダビアンテ1,900cc)を七ヶ浜消防署に更新配置
	3月11日	14時46分三陸沖を震源とするM9.0の東北地方太平洋沖地震が発生し、管内では震度6強を観測。また、大津波の襲来により多数の死傷者が発生、さらに仙台地区石油コンビナート(多賀城市)で火災が発生し、甚大な被害をもたらした。 県内隣接消防本部をはじめ緊急消防援助隊の長野県隊、岡山県隊、徳島県隊及び兵庫県隊の応援を受け活動に当たった。
	3月29日	消防本部新庁舎完成
	4月1日	・職員8名を採用し、実員224名(定員227名)となる。

年号	月日	記 事
平成23年	4月1日	<ul style="list-style-type: none"> ・十一代消防長に志賀寧就任 ・小型動力ポンプ付水槽車Ⅱ型(日野プロフィア8,860cc、水槽容量10,000ℓ)を購入し塩釜消防署に更新配置 ・「緊急消防援助隊として活動する人員の属する都道府県又は市町村に無償使用させる消防用の国有財産及び国有物品の取扱いに関する省令」に基づき無償貸与された支援車Ⅰ型(日野プロフィア12,910cc)を利府消防署に配備
平成24年	1月11日	緊急消防援助隊設備整備費補助事業により、高規格救急自動車(トヨタハイエース2,693cc)を塩釜消防署に更新配置
	3月26日	<ul style="list-style-type: none"> ・消防車両整備指定寄付金により、CD-1型消防ポンプ自動車(日野デュトロ4,009cc)を多賀城消防署に更新配置 ・宮城県石油貯蔵施設立地対策等交付金事業により、CD-1型消防ポンプ自動車(日野デュトロ4,009cc)を七ヶ浜消防署に更新配置
	3月27日	宮城県石油貯蔵施設立地対策等交付金事業により、救助工作車Ⅱ型(日野レンジャー6,403cc)を多賀城消防署に配置
	4月1日	・職員12名を採用し、実員223名(定員227名)となる。
	10月23日	平成24年度緊急消防援助隊北海道東北ブロック合同訓練(図上訓練)を宮城県総合運動公園グランディ・21セキスイハイムスーパーアリーナ(宮城県総合体育館)で実施。県外33機関、県内23機関が相互に連携して災害対応図上訓練をし、災害即応体制の向上を図った。
平成25年	3月5日	仙台農業協同組合及び全国共済農業協同組合連合会宮城県支部より高規格救急車(トヨタ2,693cc)の寄贈を受け、七ヶ浜消防署に更新配置
	4月1日	<ul style="list-style-type: none"> ・職員13名を採用し、実員216名(定員227名)となる。 ・消防救急無線のデジタル化が整備され、本部庁舎4階に高機能消防通信システム(超音波式潮位観測装置、全国瞬時警報システム含む)を導入して、消防指令センターを運用開始する。
平成26年	3月20日	市町村振興総合補助事業により水Ⅱ型消防ポンプ自動車(日野自動車5t車ベース)を多賀城消防署西部出張所に更新配置
	4月1日	<ul style="list-style-type: none"> ・塩釜地区消防事務組合と塩釜地区環境組合が再編統合され組合規約を変更、共同処理する事務にし尿処理場及び火葬場の管理運営等に関する事務が追加、事務局に環境課(定数6名)を設置 ・職員定数条例の改正により定数232名となる ・職員17名(旧塩釜地区環境組合職員3名を含む)を採用し、実員223名(うち女性6名)となる。 ・十二代消防長に並木明就任
	12月8日	高規格救急自動車(トヨタハイエース2,693cc)を購入し松島消防署に更新配置
	11月28日	組合倉庫完成
平成27年	3月23日	指揮隊車(トヨタレジアスエース2,693cc)を購入し消防本部に配置
	3月26日	人員輸送車(日野エレッセⅡ4,000cc)を購入し消防本部に更新配置
	3月27日	<ul style="list-style-type: none"> ・搬送車(いすゞフォワード5,193cc)を購入し塩釜消防署に更新配置 ・CD-1型消防ポンプ自動車(日野デュトロ4,000cc)を購入し塩釜消防署に更新配置
	4月1日	職員12名を採用し、実員228名(定員232名)となる。
	10月1日	・「緊急消防援助隊として活動する人員の属する都道府県又は市町村に無償使用させる消防用の国有財産及び国有物品の取扱いに関する省令」に基づき無償貸与された津波・大規模風水害対策車(いすゞフォワード7,790cc)を塩釜消防署に配備
	12月17日	高規格救急自動車(トヨタハイエース2,693cc)を購入し利府消防署に更新配置
平成28年	2月1日	市町村振興総合補助事業により水Ⅱ型消防ポンプ自動車(日野レンジャー6,403cc)を塩釜消防署に更新配置

年 号	月 日	記 事
平成28年	3月25日	指揮車(日産セレナ1,997cc)を購入し多賀城消防署に更新配置
	3月31日	指令車(トヨタカムリハイブリット2,493cc)を購入し消防本部に更新配置
	4月1日	職員10名を採用し、実員227名(定員232名)となる。
	4月17日	宮城県林野火災防ぎょ訓練が宮城県総合運動公園(利府町)で開催。27機関300名が参加し、消防職員・消防団員の火災防ぎょ技術の向上を図った。併せて、組合主体で訓練に参加する航空機・車両の見学写真撮影会(来場者500名)を実施し、県民に広く防災思想の普及を図った。
	8月31日	台風10号被害により、初の緊急消防援助隊宮城県大隊の災害派遣として、岩手県岩泉町へ出動。主に岩泉町小本川流域の行方不明者救助活動を実施し、宮城県大隊として2名救出した。 派遣期間:8月31日～9月9日(10日間) 最大59名、延べ236名が出動
平成29年	2月8日	高規格救急自動車(日産パラメディック3,498cc)を購入し、多賀城消防署に更新配置
	4月1日	職員6名を採用し、実員228名(定員232名)となる。
	7月～8月	平成29年度全国高等学校総合体育大会(南東北インターハイ)・第41回全国高等学校総合文化祭(みやぎ総文2017)が開催され、特別警戒を実施
平成30年	8月23日	第46回全国消防救助技術大会が宮城県総合運動公園(利府町)で開催
	2月1日	高規格救急自動車(日産パラメディック3,498cc)を購入し、塩釜消防署に更新配置
	3月1日	35m級先端屈折式梯子自動車(日野自動車)を購入し、多賀城消防署に更新配置
	4月1日	職員6名を採用し、実員225名(定員232名)となる。 ・十三代消防長に柴正浩就任
	9月1日	平成30年度宮城県総合防災訓練が七ヶ浜町で開催。 70機関約2,000人が参加し、大規模災害対応能力の向上を図った。
平成31年	9月6日	北海道胆振東部地震に伴い、緊急消防援助隊宮城県大隊の一員として北海道勇払郡厚真町へ後方支援小隊2隊(支援1、搬送1)が出動。主に宮城県大隊の後方支援活動を実施。
	1月22日	化学消防ポンプ自動車Ⅱ型(日野自動車)を購入し、七ヶ浜消防署に更新配置。
	3月15日	アステラス製薬株式会社より高規格救急自動車1台(トヨタハイメディック)の寄贈を受け、塩釜消防署に配置。
	3月29日	有限会社中央交通及び株式会社白寿殿より消防連絡車(トヨタクラウン)の寄贈を受け、消防本部に更新配置。
	4月1日	職員6名を採用し、実員222名(定員232名)となる。 寄贈された高規格救急車を塩釜消防署に配置し、救急隊2隊体制で運用開始。

塩釜地区消防事務組合組織図



本 部 庁 舎 ・ 署 所 等 位 置

区 分	所 在 地	構 造	敷地 m ²	建物 m ²	竣 工	
消防本部	〒985-0021 塩竈市尾島町17番22号	RC造 4階建	2,212.41	建	282.10	H23.3.29
				延	992.71	
塩釜消防署		RC造 2階建		建	518.00	S46.5.31
				延	911.60	
				増築	125.60	S63.11.25
多賀城消防署	〒985-0841 多賀城市鶴ヶ谷一丁目10番1号	RC造 2階建 屋上望楼	1,727.29	建	287.16	S46.1.16
				延	591.87	
				増築	332.30	H4.3.19
多賀城消防署 西部出張所	〒985-0852 多賀城市山王字中山王23番地2号	鉄骨モル タル造 平屋	403.80	建	162.40	S51.9.29
				延	162.40	
松島消防署	〒981-0213 松島町松島字蛇ヶ崎右53番地	RC造2階 塔屋付	1,265.71	建	301.00	S50.3.25
				延	545.75	
七ヶ浜消防署	〒985-0821 七ヶ浜町汐見台七丁目5番322号	鉄骨造 2階建 一部平屋	1,020.00	建	300.91	S53.9.10
				延	441.80	
利府消防署	〒981-0112 利府町利府字堀切前11番1号	鉄骨造 2階建 塔屋付	2,176.16	建	369.00	S63.3.29
				延	546.62	
組合倉庫	塩竈市貞山通二丁目1番1号	鉄骨造 2階建	224.52	建	145.92	H26.11.28
				延	255.81	

管 内 情 勢

区 分	管内合計	消防本部	塩釜消防署	多賀城消防署	松島消防署	七ヶ浜消防署	利府消防署	西部出張所	
面積 (km ²)	148.70	—	17.37	19.69	53.56	13.19	44.89	—	
世帯数	76,063	—	23,552	26,879	5,630	6,692	13,310	—	
人口 (人)	185,325	—	54,192	62,241	14,073	18,765	36,054	—	
消防職員数	消防吏員	217	44	48	36	23	24	34	8
	他職員	5	5	—	—	—	—	—	—
消防吏員1人当り	面積 (km ²)	0.69	—	0.37	0.45	2.33	0.55	1.33	—
	世帯数	351	—	491	611	245	279	392	—
	人口 (人)	855	—	1,129	1,415	612	782	1,061	—
消防自動車等の数	消防ポンプ車 (水槽付・化学車含む)	実働車 (台)	14	—	3	2	2	2	1
		予備車 (台)	2	2	—	—	—	—	—
	救急車 (台)	8	2	2	1	1	1	1	—

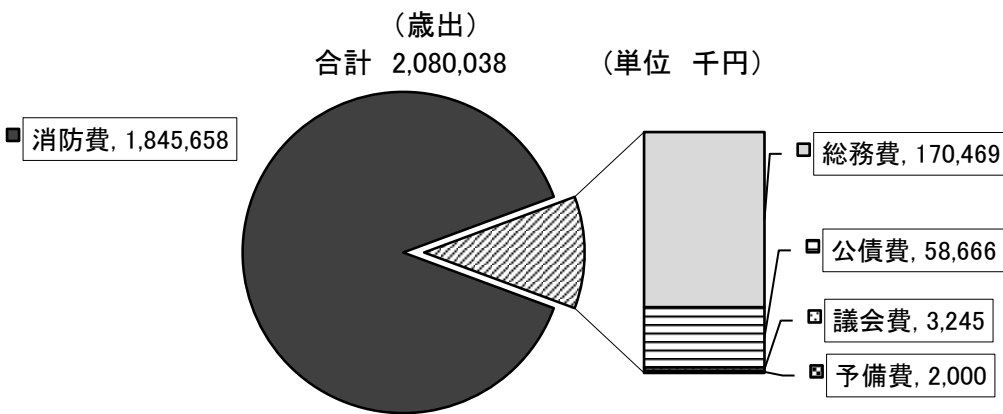
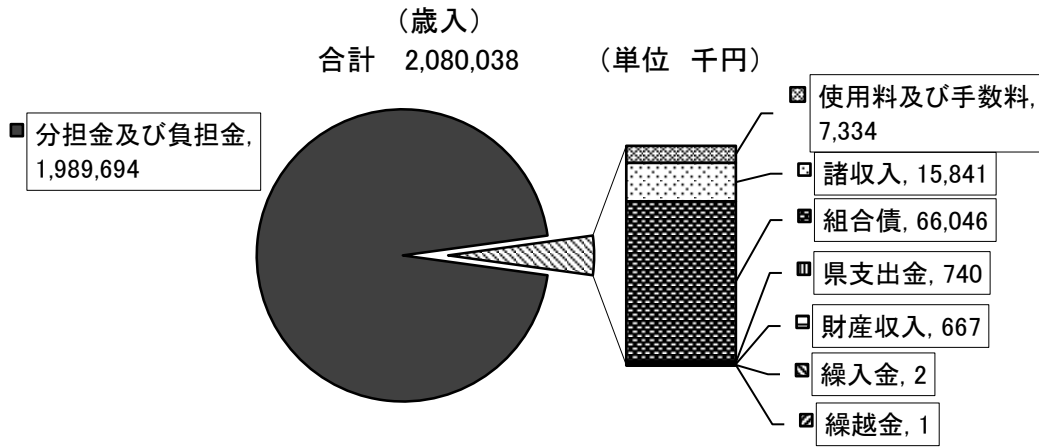
※消防本部の消防職員数は、事務局を含む。

※西部出張所の面積、世帯数、人口は、多賀城消防署に含む。

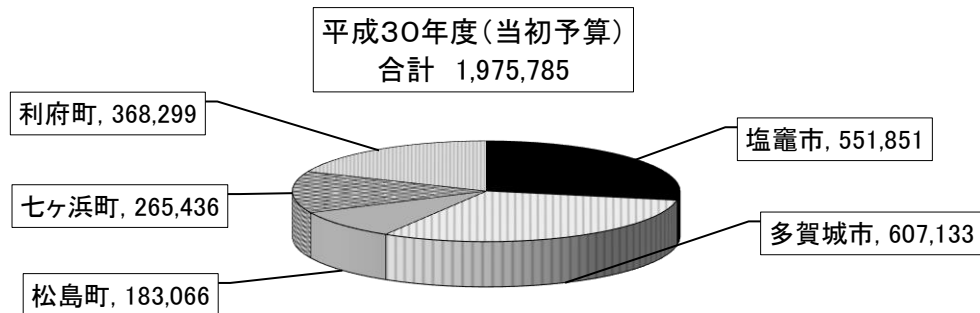
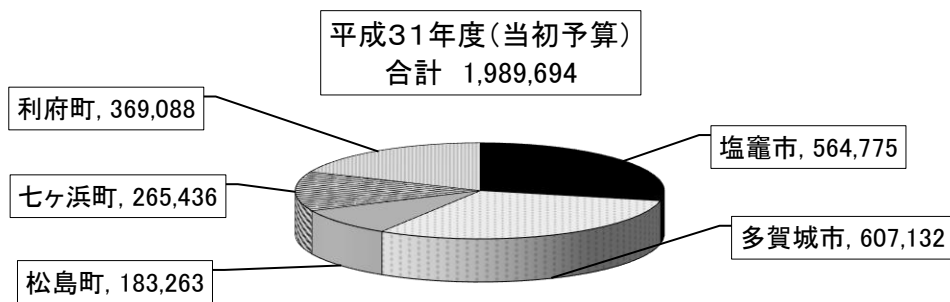
第1編 総務



平成31年度塩釜地区消防事務組合一般会計予算(当初予算)



構成市町負担金状況



組合予算と職員数・人口・世帯数の推移

年 度	予算額 (千円)	消 防 職 員		管 内 人 口 ・ 世 帯 数			
		定 員	実 員	人 口	一人当たり (円)	世 帯 数	一 世 帯 当たり(円)
45	146,469	120	80	131,951	1,110	32,203	4,548
50	374,625	136	136	143,854	2,604	37,927	9,878
55	712,800	165	163	154,645	4,609	41,131	17,330
60	845,050	165	163	163,437	5,170	45,736	18,447
平元	1,050,839	165	163	168,158	6,249	49,754	21,121
5	1,413,800	185	179	181,019	7,810	55,542	25,454
10	2,083,000	220	208	190,590	10,929	61,645	33,790
15	2,004,396	227	219	192,229	10,427	65,234	30,726
20	2,043,161	227	225	191,824	10,651	68,770	29,710
25	2,051,700	227	216	188,964	10,858	71,330	28,763
26	2,087,436	232	223	189,215	11,032	72,476	28,802
27	2,054,630	232	228	188,810	10,882	73,560	27,931
28	2,022,925	232	227	187,853	10,769	74,045	27,320
29	2,226,327	232	228	187,243	11,890	74,904	29,722
30	2,121,439	232	225	186,310	11,387	75,481	28,106
31	2,080,038	232	222	185,325	11,224	76,063	27,346

組 合 議 会 等

区 分	議会議員	管 理 者 等			監 査 委 員	
		管理者	副管理者	会計管理者	議会選出	識見者
合 計	12	1	4	1	1	1
塩 竈 市	3 (議 長 1)	1	-	1	-	-
多 賀 城 市	3 (副議長 1)	-	1	-	-	-
松 島 町	2	-	1	-	1	-
七ヶ浜町	2	-	1	-	-	1
利 府 町	2	-	1	-	-	-

歴 代 消 防 長

区 分	歴代	階 級	氏 名	在 職 期 間
消防長	初代	消防監	大 沼 盛	S45. 4. 1～S48. 3.31
	二代	〃	児 玉 金 七	S48. 4. 1～S50. 7.31
	三代	消防正監	板 宮 秀 夫	S50. 8. 1～S58. 6.30
	四代	〃	豊 島 繁	S58. 7. 1～H 4. 3.31
	五代	〃	目 黒 久	H 4. 4. 1～H 6.10.31
	六代	〃	吉 田 稔	H 6.11.2～H11. 3.31
	七代	〃	田 中 一 夫	H11. 4. 1～H14. 3.31
	八代	〃	渡 邊 杜 夫	H14. 4. 1～H17.10.31
	九代	〃	芳 賀 輝 秀	H17.11. 1～H21. 3.31
	十代	〃	平 山 優	H21. 4. 1～H23.3.31
	十一代	〃	志 賀 寧	H23. 4. 1～H26.3.31
	十二代	〃	並 木 明	H26. 4. 1～H30.3.31
	十三代	〃	柴 正 浩	H30. 4. 1～現在

職 員 配 置 状 況

区 分	合計	消防正監	消防監	司令長	司令	司令補	士長	副士長	消防士	他職員
合 計	222 (8)	1	4	6	34 (1)	59 (2)	50 (3)	—	63 (2)	5
消 防 本 部	49 (2)	1	2	3	13 (1)	13	4 (1)	—	8	5
塩 釜 消 防 署	48 (4)	—	1	—	5	13 (1)	16 (1)	—	13 (2)	—
多 賀 城 消 防 署	36 (2)	—	1	—	5	11 (1)	8 (1)	—	11	—
松 島 消 防 署	23	—	—	1	3	6	7	—	6	—
七 ヶ 浜 消 防 署	24	—	—	1	3	6	6	—	8	—
利 府 消 防 署	34	—	—	1	5	8	6	—	14	—
西 張 部 所	8	—	—	—	—	2	3	—	3	—

()はうち女性職員

職 員 年 齢 状 況

区分	合計	消防正監	消防監	司令長	司令	司令補	士長	副士長	消防士	他職員
合計	222	1	4	6	34	59	50	—	63	5
25歳未満	34	—	—	—	—	—	2	—	32	—
25～30 "	37	—	—	—	—	—	12	—	25	—
30～35 "	34	—	—	—	—	8	20	—	6	—
35～40 "	25	—	—	—	—	17	6	—	—	2
40～45 "	33	—	—	—	7	20	5	—	—	1
45～50 "	25	—	—	—	8	11	4	—	—	2
50～55 "	10	—	—	1	9	—	—	—	—	—
55歳以上	24	1	4	5	10	3	1	—	—	—

職 員 居 住 状 況

区分	合計	塩竈市	多賀城市	松島町	七ヶ浜町	利府町	その他
職員数	222	45	68	13	26	34	36

消 防 救 助 隊 の 編 成

区 分	特別救助隊	水難救助隊
合 計	32	10
隊 長	1	1
副隊長	1	1
隊 員	30	8

職員資格取得状況

区分	(実員)	救急救命士	ブドウ糖投与			大型自動車	中型自動車	準中型自動車	普通自動車	大型特殊車	大型2種	自動2輪	けん引	6級海技士		小型船舶1級	小型船舶2級	陸上特殊無線士	海上特殊無線士	予防技術資格者			危険物取扱者			消防設備士		小型クレーン	玉掛技能	ガス溶接	アーク溶接	酸欠主任者	潜水士	銃砲取扱者	アマチュア無線	毒劇物取扱者	電気工事士	衛生管理者
			航海	機関	査察									設備	危険物					甲種	乙種	丙種	甲種	乙種														
合計	222	34	32	32	28	150	170	58	13	8	6	79	10	—	1	16	19	175	19	29	14	19	5	191	19	3	12	53	52	20	3	20	27	13	18	2	4	2
司令長以上	11	—	—	—	10	11	—	—	1	—	8	1	—	—	1	1	6	1	—	—	—	—	7	5	1	3	4	5	3	—	5	1	—	2	1	—	—	
司令	34	7	6	6	3	25	34	—	—	1	—	15	3	—	1	4	2	17	3	1	3	3	—	24	11	—	5	11	9	5	—	13	4	—	7	—	—	1
司令補	59	16	15	15	14	52	58	—	—	3	6	30	5	—	—	7	5	49	10	16	4	8	3	55	3	2	3	27	27	9	1	1	11	6	7	1	2	—
士長	50	9	9	9	9	35	44	11	1	2	—	13	—	—	—	3	10	46	4	9	7	6	1	48	—	—	1	10	10	—	1	—	6	3	2	—	1	—
消防士	63	2	2	2	2	28	18	47	12	1	—	13	1	—	—	1	1	57	1	3	—	2	1	57	—	—	—	1	1	3	1	1	5	4	—	—	1	—
他職員	5	—	—	—	—	—	5	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1

職員研修状況

区分	対象者等	日数	人数	
消防大学校	緊急消防援助隊教育科 NBCコース NBC災害対応資機材を装備する隊の隊長若しくは隊員である者又はそれらの予定者	19	1	
消防学校	初任総合教育 新たに消防職員に任命された者	180	5	
	専科教育	危険物科 予防業務に従事している者	7	1
		警防科 警防業務に従事している者	10	1
		火災調査科 火災調査業務に従事している者	10	1
		予防査察科 査察業務に従事している者	10	1
	幹部教育 初級幹部科 消防司令補及び部隊等の管理を職務とする者	10	1	
	特別教育	救急救命士再教育講習 救急救命士の資格を有する者	4	3
救助隊員再教育講習 救助隊員として1～5年従事している者		5	7	
救急救命東京研修所	救急救命士養成研修 研修派遣を命ぜられた者	126	2	
救急救命北九州研修所	指導救命士養成研修 研修派遣を命ぜられた者	30	1	

第2編 予 防



用途別建築同意処理状況

(H30. 12. 31)

区 分	合計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
合 計	267	22	28	21	24	22	22	20	23	25	24	12	24
専 用 住 宅	53	5	6	5	5	6	4	4	9	3	2	-	4
観 覧 場 ・ 集 会 所 等	2	-	-	1	-	-	-	-	1	-	-	-	-
キ ャ バ レ ー ・ 遊 技 場	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
カ ラ オ ケ ボ ッ ク ス	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
飲 食 店 等	4	-	1	1	1	-	-	-	-	-	1	-	-
店 舗	11	1	-	1	1	1	3	1	-	1	-	-	2
旅 館 ・ ホ テ ル	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
共 同 住 宅	6	1	-	-	1	1	-	-	-	1	-	1	1
病 院 ・ 診 療 所	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
福 祉 施 設 ・ 保 育 所	13	-	1	-	2	-	1	2	2	3	2	-	-
幼 稚 園	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
学 校	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
図 書 館 ・ 博 物 館	2	-	-	-	1	-	-	1	-	-	-	-	-
公 衆 浴 場	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
駅 ・ 空 港	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
神 社 ・ 寺 院 ・ 教 会	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
工 場 ・ 作 業 所	19	1	3	2	1	-	2	1	1	2	2	2	2
車 庫 ・ 駐 車 場	6	-	1	-	1	-	3	-	-	-	-	-	1
倉 庫	9	1	1	3	-	-	-	-	1	2	-	-	1
事 務 所	63	10	6	3	7	4	5	5	2	6	8	2	5
複 合 建 築 物	16	-	3	1	2	2	1	-	1	1	2	3	-
危 険 物 関 係	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
工 作 物 ・ そ の 他	59	2	5	4	1	8	3	6	6	6	7	4	7

※ 専用住宅には一戸建ての木造住宅は含まない。ただし、塩竈市内の準防火地域内の一戸建て木造住宅については含む。

市町別建築同意処理状況

(H30. 12. 31)

年	合計	塩竈市	多賀城市	松島町	七ヶ浜町	利府町
H18年	310	73	136	17	19	65
H19年	278	77	110	13	30	48
H20年	224	64	80	5	15	60
H21年	213	66	59	11	18	59
H22年	190	59	52	18	18	43
H23年	254	72	88	15	34	45
H24年	509	181	159	36	64	69
H25年	404	117	140	53	41	53
H26年	363	101	109	40	59	54
H27年	332	107	112	49	22	42
H28年	328	102	113	28	29	56
H29年	282	89	90	20	27	56
H30年	267	92	75	16	16	68

防火対象物数

(H31. 3. 31)

区 分		合 計	塩 竈 市	多 賀 城 市	松 島 町	七 ヶ 浜 町	利 府 町
合 計		3,729	1,070	1,431	309	310	609
1	イ 劇場・映画館・演芸場・観覧場	15	1	2	1	3	8
	ロ 公会堂・集会場	64	8	11	19	17	9
2	イ キャバレー・ナイトクラブ	4	3	1	-	-	-
	ロ 遊技場・ダンスホール	13	5	3	1	-	4
	ハ 性風俗関連特殊営業店舗	2	1	1	-	-	-
	ニ カラオケボックス等	4	-	3	1	-	-
3	イ 待合・料理店	7	4	1	-	-	2
	ロ 飲食店	98	22	37	15	4	20
4	百貨店・マーケット・店舗	215	64	81	16	8	46
5	イ 旅館・ホテル・宿泊所	69	10	14	25	8	12
	ロ 寄宿舍・共同住宅・下宿	1,187	261	656	45	76	149
6	イ 病院・診療所・助産所	95	35	31	5	6	18
	ロ 老人福祉施設・救護施設等	53	18	16	8	4	7
	ハ デイサービスセンター・保育所等	112	35	37	11	9	20
	ニ 幼稚園・特別支援学校等	27	7	8	2	3	7
7	小学校・中学校・高等学校等	147	27	72	9	14	25
8	図書館・美術館・博物館	12	1	2	4	2	3
9	イ 蒸気浴場・熱気浴場等	2	-	1	1	-	-
	ロ イに掲げる公衆浴場以外	1	-	-	-	-	1
10	車両の停車場・船舶等の発着場	5	1	2	2	-	-
11	神社・教会・寺院等	59	18	15	9	6	11
12	イ 工場・作業場	415	147	115	17	30	106
	ロ テレビスタジオ・映画スタジオ		-	-	-	-	-
13	イ 自動車車庫・駐車場	19	1	12	1	-	5
	ロ 飛行機等の格納庫		-	-	-	-	-
14	倉庫	214	95	54	16	23	26
15	前各号に該当しない事業所	489	145	127	55	75	87
16	イ 複合用途（特定）	275	104	92	35	17	27
	ロ 複合用途（その他）	115	53	37	4	5	16
17	文化財	11	4	-	7	-	-

※対象物数については、棟単位の数

危 険 物 施 設 数

(H31. 3. 31)

市町別 製造所等別		計	塩 竈 市	多 賀 城 市	松 島 町	七ヶ浜町	利 府 町
製 造 所		2	1	-	-	1	-
貯 蔵 所	屋 内 貯 蔵 所	45	14	12	4	4	11
	屋外タンク貯蔵所	172	115	26	9	20	2
	屋内タンク貯蔵所	11	5	1	5	-	-
	地下タンク貯蔵所	97	28	31	15	4	19
	簡易タンク貯蔵所	2	-	-	1	-	1
	移動タンク貯蔵所	583	207	236	8	81	51
	屋 外 貯 蔵 所	25	17	5	1	1	1
	小 計	935	386	311	43	110	85
取 扱 所	給 油 取 扱 所	84	22	27	9	7	19
	販 売 取 扱 所	7	4	-	3	-	-
	移 送 取 扱 所	8	7	-	-	1	-
	一 般 取 扱 所	99	28	35	7	16	13
	小 計	198	61	62	19	24	32
合 計		1,135	448	373	62	135	117

危 険 物 廃 止 届 出 数

〔移動タンク貯蔵所の転出を含む〕

(H31. 3. 31)

市町別 製造所等別		計	塩 竈 市	多 賀 城 市	松 島 町	七ヶ浜町	利 府 町
製 造 所		-	-	-	-	-	-
貯 蔵 所	屋 内 貯 蔵 所	2	1	-	-	1	-
	屋外タンク貯蔵所	5	5	-	-	-	-
	屋内タンク貯蔵所	-	-	-	-	-	-
	地下タンク貯蔵所	1	-	-	1	-	-
	簡易タンク貯蔵所	-	-	-	-	-	-
	移動タンク貯蔵所	62	26	19	1	10	6
	屋 外 貯 蔵 所	1	-	-	-	1	-
	計	71	32	19	2	12	6
取 扱 所	給 油 取 扱 所	1	-	-	-	-	1
	販 売 取 扱 所	-	-	-	-	-	-
	移 送 取 扱 所	1	1	-	-	-	-
	一 般 取 扱 所	1	1	-	-	-	-
	計	3	2	-	-	-	1
合 計		74	34	19	2	12	7

第四類危険物の貯蔵取扱許可数量 (単位k1)

(H31. 3. 31)

品名別 製造所等別		計	第1石油類	第2石油類	第3石油類	第4石油類	動植物油類	アルコール類
製造所		7,135.83	6,471.60	2.40	648.03	13.80	-	-
貯蔵所	屋内貯蔵所	2,208.01	334.49	234.62	477.60	835.75	1.41	324.14
	屋外タンク貯蔵所	630,420.73	503,439.50	80,736.50	43,366.03	126.20		2,752.50
	屋内タンク貯蔵所	152.97	28.00	16.70	84.37	-	20.00	3.90
	地下タンク貯蔵所	5,351.35	3,804.00	709.85	811.60	25.90	-	-
	簡易タンク貯蔵所	1.74	1.17	0.57	-	-	-	-
	移動タンク貯蔵所	18,017.81	7,035.70	7,688.15	3,063.36	96.00	-	134.60
	屋外貯蔵所	1,406.80	-	203.80	313.80	889.20	-	-
	小計	657,559.41	514,642.86	89,590.19	48,116.76	1,973.05	21.41	3,215.14
取扱所	給油取扱所	3,600.31	1,612.71	1,912.20	72.20	3.20	-	-
	販売取扱所	25.60	-	25.60	-	-	-	-
	移送取扱所	97,104.00	30,988.00	40,498.00	24,268.00	-	-	1,350.00
	一般取扱所	102,185.63	37,388.24	48,694.11	13,568.59	2,230.27	20.00	284.42
	小計	202,915.54	69,988.95	91,129.91	37,908.79	2,233.47	20.00	1,634.42
合計		867,610.78	591,103.41	180,722.50	86,673.58	4,220.32	41.41	4,849.56

第四類以外危険物の貯蔵取扱許可数量 (単位kg)

(H31. 3. 31)

品名別 製造所等別		計	第1類	第2類	第3類	第5類	第6類
製造所		-	-	-	-	-	-
貯蔵所	屋内貯蔵所	25,200.00	-	20,000.00	-	5,200.00	-
	屋外タンク貯蔵所	14,750,000.00	-	14,750,000.00	-	-	-
	屋内タンク貯蔵所	-	-	-	-	-	-
	地下タンク貯蔵所	-	-	-	-	-	-
	簡易タンク貯蔵所	-	-	-	-	-	-
	移動タンク貯蔵所	-	-	-	-	-	-
	屋外貯蔵所	5,000.00	-	5,000.00	-	-	-
	小計	14,780,200.00	-	14,775,000.00	-	5,200.00	-
取扱所	給油取扱所	-	-	-	-	-	-
	販売取扱所	-	-	-	-	-	-
	移送取扱所	-	-	-	-	-	-
	一般取扱所	250,225.00	-	250,000.00	-	225.00	-
	小計	250,225.00	-	250,000.00	-	225.00	-
合計		15,030,425.00	-	15,025,000.00	-	5,425.00	-

市町別危険物施設の許可及び検査状況

(H31. 3. 31)

市町別	製造所等 区分	合計	製造所	貯 蔵 所								取 扱 所				
				小計	屋内	屋外 タンク	屋内 タンク	地下 タンク	簡易 タンク	移動 タンク	屋外	小計	給油	販売	移送	一般
塩竈市	設置許可	5		4		1				3		1	1			
	設置完成検査	4		4	1					3		0				
	変更許可	28		19	1	3		1		14		9	1			8
	変更完成検査	28		19	1	3		1		14		9	1			8
	仮使用承認	13		4	1	2		1				9	1			8
多賀城市	設置許可	12		12				1		11		0				
	設置完成検査	12		12				1		11		0				
	変更許可	30		20				2		18		10	2			8
	変更完成検査	30		20				2		18		10	2			8
	仮使用承認	10		0								10	2			8
松島町	設置許可	0		0								0				
	設置完成検査	0		0								0				
	変更許可	1		1						1		0				
	変更完成検査	1		1						1		0				
	仮使用承認	0		0								0				
七ヶ浜町	設置許可	2		2						2		0				
	設置完成検査	2		2						2		0				
	変更許可	22		20		6				14		2	2			
	変更完成検査	21		19		5				14		2	2			
	仮使用承認	4		2		2						2	2			
利府町	設置許可	3		3	2					1		0				
	設置完成検査	2		2	1					1		0				
	変更許可	5		2	1					1		3	2			1
	変更完成検査	5		2	1					1		3	2			1
	仮使用承認	3		1	1							2	1			1
合計	設置許可	22	0	21	2	1	0	1	0	17	0	1	1	0	0	0
	設置完成検査	20	0	20	2	0	0	1	0	17	0	0	0	0	0	0
	変更許可	86	0	62	2	9	0	3	0	48	0	24	7	0	0	17
	変更完成検査	85	0	61	2	8	0	3	0	48	0	24	7	0	0	17
	仮使用承認	30	0	7	2	4	0	1	0	0	0	23	6	0	0	17

石油コンビナート等特別防災区域概要

1 特定事業所の現況

(1) 塩釜地区 面積 206,583m² (H31. 3.31)

特定事業所名	種別	市町
カメイ物流サービス(株)	レイアウト	塩竈市
東西オイルターミナル(株)塩釜油槽所	第1種	
昭和シェル石油(株)塩釜油槽所	第1種	
JXTGエネルギー(株)塩釜油槽所	第1種	
出光興産(株)塩釜油槽所	第1種	

○危険物施設概要

屋外タンク貯蔵所	101基
・特定屋外タンク貯蔵所 (1,000k1以上)	(41基)
・準特定屋外タンク貯蔵所 (500k1以上)	(41基)
・その他の屋外タンク貯蔵所	(19基)
高圧ガスタンク	8基

○石油類等の貯蔵・取扱量

石油類の貯蔵・取扱量	271,015.730kl
石油類の貯蔵量	150,809.730kl
石油類の取扱量	120,206.000kl
高圧ガスの処理量	941,117Nm ³

○共同防災組織概要

防災要員	常駐	8名 (防災センター)
	駆け付け要員	6名 (事業所駆け付け)
	計	14名

○防災資器材等

甲種普通化学消防車	1台	
普通高所放水車	1台	
泡消火薬剤	7,560リットル	
可搬式放水砲	2,000リットル/min	1基
オイルフェンス	B型 540m	
耐熱服	2着	
空気呼吸器	2基	

○災害防止協定等

塩釜石油基地災害防止に関する協定書（昭和48年12月）
 消防道路の設置（幅員 8m 延長 400m）
 災害相互応援協定の締結（平成8年3月27日）
 【仙台地区及び塩釜地区の共同防災組織相互の応援】

○緩衝緑地の設置（石災法に基づく）

一本松地区 70,166㎡
 （昭和53年から57年に実施）
 中の島地区（休憩緑地） 22,600㎡

(2) 仙台地区（一部）

(H31. 3.31)

特 定 事 業 所 名	種 別	市 町
東邦アセチレン(株)仙台事業所	第 2 種	多 賀 城 市
J X T G エネルギー(株)仙台製油所	レイアウト	仙 台 市 多 賀 城 市 七 ヶ 浜 町

○危険物施設概要

屋外タンク貯蔵所 15基

- ・ 特定屋外タンク貯蔵所（1,000k1以上） (9基)
- ・ 準特定屋外タンク貯蔵所（500k1以上） (0基)
- ・ その他の屋外タンク貯蔵所 (6基)

○石油類等の貯蔵・取扱量

石油類の貯蔵・取扱総数量 553,557.771 k1
 製造所における数量 7,120.591 k1
 貯蔵所における数量 474,070.700 k1
 取扱所における数量 72,366.480 k1

高圧ガスの処理量 42,213,860 Nm³

第 3 編 警 防



消 防 水 利 現 況

水利区別		市 町 別						
		合 計	塩 竈 市	多 賀 城 市	松 島 町	七 ヶ 浜 町	利 府 町	
消 火 栓	合 計	2,767	1,058	655	273	399	382	
	公 設	75mm	228	18	67	25	46	72
		100mm	1,035	427	296	108	76	128
		125~150mm	931	382	164	48	227	110
		200mm	204	61	49	18	29	47
		250mm	114	72	25	8	1	8
	私 設	187	93	53	24	5	12	
私 設	68	5	1	42	15	5		
防 火 水 槽	合 計	648	122	183	72	115	156	
	公 設	40m ³ 未満	20	11	2	2	5	—
		40m ³ 以上	545	102	159	53	103	128
		80m ³ 以上	7	1	1	1	4	—
私 設	76	8	21	16	3	28		
そ の 他	合 計	158	17	13	72	32	24	
	池・海水 プー ル	110	4	1	65	28	12	
		48	13	12	7	4	12	

消 火 薬 剤 保 有 状 況

区 分	品 名	水溶性液体用		
		合成界面活性剤	(メガフォームAGF3T) (メガフォームF610AT)	水性膜 (メガフォームF633T)
合 計		3,720 ℓ	11,950 ℓ	500 ℓ
塩 釜 消 防 署		120	80	—
多 賀 城 消 防 署		120	1,750	—
松 島 消 防 署		160	20	—
七 ヶ 浜 消 防 署		—	80	—
利 府 消 防 署		440	300	500
西 部 出 張 所		100	80	—
消 防 本 部		2,780	9,640	—

消防車両等の現況（その1）

区分	車両名称	シャシ	年式	馬力	使用 年月	水槽 容量 m ³	薬液 容量 m ³	無線名称	ポンプ 規格	機装 会社
消防本部	指令 1	トヨタ	H28	205	3.01	—	—	塩消指令 1	—	—
	本連 1	トヨタ	H25	178	0.01	—	—	塩消本連 1	—	トヨタ
	警防指揮 1	スズキ	H16	115	14.05	—	—	塩消警防指揮 1	—	スズキ
	指揮隊 1	トヨタ	H27	160	4.01	—	—	塩釜指揮隊 1	—	アオキ
	輸送 1	日野	H27	150	4.01	—	—	塩釜輸送 1	—	日野
	予防連絡車	日産	H26	147	5.01	—	—	—	—	—
	予備 1	日野	H8	205	22.01	2.0	—	塩消予備 1	A-1	日機
	予備 2	三菱	H14	225	17.01	1.5	0.5	—	A-1	ドライ
	搬送 1	トヨタ	H20	136	10.10	—	—	塩消搬送 1	—	トヨタ
	救急 8	日産	H18	240	13.01	—	—	—	—	日産
	津波・大規模 風水害対策車	いすゞ	H27	260	3.07	—	—	塩釜災対 1	—	赤尾
塩釜支援 1	日野	H23	360	8.01	—	—	塩消支援 1	—	ヨコハマ モーター	
消火通報 訓練指導車	マツダ	H18	100	12.03	—	—	—	—	マツダ	
塩釜消防署	塩釜 1	日野	H28	220	3.02	2.0	—	塩釜 1	A-2	日機
	塩釜 2	日野	H27	130	4.01	—	—	塩釜 2	A-2	日機
	水槽 1	日野	H23	380	8.01	10.0	—	塩釜水槽 1	B-2	日機
	高所 1	日野	H21	320	9.01	—	—	塩釜高所 1	A-1	モリタ
	救急 1	日産	H30	172	1.02	—	—	塩釜救急 1	—	日産
	救急 6	トヨタ	H31	151	0.01	—	—	塩消救急 6	—	トヨタ
	指揮 1	トヨタ	H15	110	15.05	—	—	塩釜指揮 1	—	トヨタ
	連絡 1	三菱	H25	48	5.10	—	—	—	—	—
	消防艇	—	H3	640	28.01	—	0.5	塩釜艇 1	A-1	墨田川
搬送 2	いすゞ	H27	210	4.01	—	—	塩釜搬送 2	—	いすゞ	
多賀城消防署	化学 1	日野	H16	390	15.01	2.0	1.8	多賀城化学 1	A-1	日機
	多賀城 2	日野	H24	150	7.00	—	—	多賀城 2	A-2	G M
	梯子 1	日野	H30	380	1.03	—	—	多賀城梯子 1	—	モリタ
	救助 1	日野	H24	220	7.00	—	—	多賀城救助 1	—	モリタ
	救助 2	いすゞ	H21	110	10.01	0.3	—	—	—	サクラ
	救急 2	日産	H29	240	2.01	—	—	多賀城救急 2	—	日産
	指揮 2	日産	H28	147	3.01	—	—	多賀城指揮 2	—	日産
	連絡 2	三菱	H25	48	5.10	—	—	—	—	—

消防資機材保有状況（その1）

署 所 別 資 機 材 名		保有数	塩 釜	多賀城	松 島	七ヶ浜	利 府	西 部	備 考
			消防署	消防署	消防署	消防署	消防署	出張所	予 備
ホース	65mm（高圧含む）	307	60	82	55	42	53	15	—
	50mm	344	65	59	70	60	60	30	—
	40mm	49	8	9	9	10	9	4	—
放水器具	無反動管鎗	35	4	8	6	6	6	3	2
	プロジェクトガン	9	1	2	1	2	2	—	1
	東消式発泡器	3	—	—	1	0	1	—	—
	放水銃（可搬式含む）	4	—	1	—	1	1	—	1
	泡管鎗	12	2	4	1	1	3	1	—
	ピックアップノズル	7	—	1	2	0	2	—	2
	クワドラフオグノズル	21	5	4	2	4	3	3	—
	ラインプロポーションナー	8	2	1	1	1	1	1	1
	小型動力ポンプ	7	1	1	1	1	1	1	1
照明	携帯用発電機	15	4	4	3	1	1	1	1
保安・救助器具等	空気呼吸器	72	13	22	12	8	8	4	5
	軽量ボンベ	136	26	41	23	21	17	8	—
	ガス測定器	12	2	3	2	2	2	1	—
	耐熱服	17	6	8	—	—	—	—	3
	耐電衣	10	2	8	—	—	—	—	—
	・陽圧式化学防護服	9	—	9	—	—	—	—	—
	油圧式救助器具	5	1	2	1	—	1	—	—
	油圧カッター	2	—	1	1	—	—	—	—
	緩降機	1	—	1	—	—	—	—	—
	救命索発射銃	1	—	1	—	—	—	—	—
	エアツール	2	—	1	1	—	—	—	—
	マンホール資機材	1	—	1	—	—	—	—	—
	CMCレスキューキット	1	—	1	—	—	—	—	—
	多目的画像音声探索システム	1	—	1	—	—	—	—	—

消防資機材保有状況（その2）

署所別 資機材名		保有数	塩 釜	多賀城	松 島	七ヶ浜	利 府	西 部	備 考	
			消防署	消防署	消防署	消防署	消防署	出張所	予 備	
保 安 ・ 救 助 器 具 等	エンジンカッター	5	1	1	1	1	1	—	—	
	チェンソー	6	1	2	1	1	1	—	1	
	チルホール	6	1	2	1	1	1	—	—	
	削岩機（ピコ14）	2	1	1	—	—	—	—	—	
	アクアラングボンベ	10	—	9	1	—	—	—	—	
	ガス溶断器	1	—	1	—	—	—	—	—	
	空気式救助マット	1	—	1	—	—	—	—	—	
	組立式救命ボート	3	1	1	1	—	—	—	1	
	救命ゴムボート	9	3	2	2	1	1	—	1	
	送排風機	1	—	1	—	—	—	—	—	
	スプレッダー	9	2	2	2	2	1	—	—	
	ラムシリンダー	2	—	1	1	—	—	—	—	
	エアマイテーター	2	—	2	—	—	—	—	—	
	ペダルカッター	1	—	1	—	—	—	—	—	
	エアーソー	1	—	1	—	—	—	—	—	
	災害救助用スコープ	5	1	1	1	1	1	—	—	
熱画像直視装置	2	—	1	1	—	—	—	—		
ストライカー	7	1	2	1	1	1	1	—		
そ の 他 消 防 資 機 材	金属探知器	1	—	1	—	—	—	—	—	
	コンプレッサー	5	1	1	1	1	1	—	—	
	充電機	6	1	1	1	1	1	1	—	
	給水タンク	2	—	—	1	1	—	—	—	
	林野火災用資機材	2	—	—	1	—	1	—	—	
			(小型可搬ポンプ・ホース・水槽5t・500ℓ 各1)							
	エアテント一式	3	〔4m×4m 1基 6m×6m 2基(蛍光灯付)〕							
	発電機・投光器一式	1	※ 緊急消防援助隊関係 消防本部保管							
	簡易ベット・椅子	一式	椅子7 ベッド18							
簡易テント(タープ)	1									

救急資器材保有状況

署所別 資器材名	保有数	塩釜	多賀城	松島	七ヶ浜	利府	西部	予備
		消防署	消防署	消防署	消防署	消防署	出張所	
加湿酸素吸入装置	7	1	1	1	1	1	—	2
酸素ボンベ（10L）	29	6	5	5	5	6	—	2
酸素ボンベ（4L）	12	8	—	—	—	—	—	4
酸素ボンベ（2L）	28	5	6	4	4	4	—	5
デマンド吸入装置	7	1	1	1	1	1	—	2
ストレッチャー	7	1	1	1	1	1	—	2
サブストレッチャー	3	—	—	—	1	—	—	2
スクープストレッチャー	7	1	1	1	1	1	—	2
電動吸引器	9	2	2	2	1	2	—	—
患者監視モニター	7	1	1	1	1	1	—	2
静脈可視化装置	1	—	1	—	—	—	—	—
減圧固定具	7	1	1	1	1	1	—	2
自動式人工呼吸器	5	1	1	1	1	1	—	—
手動式人工呼吸器	8	1	1	1	1	1	1	2
CPRボード	3	—	—	—	—	1	—	2
ターポリン担架	8	2	1	1	1	1	—	2
喉頭鏡	11	2	2	2	2	1	—	2
スペースライザー消毒器	5	1	1	1	1	1	—	—
オゾン発生器	5	1	1	1	1	1	—	—
自動心臓マッサージシステム	4	—	1	1	1	1	—	—
半自動式除細動器	7	1	1	1	1	1	—	2
輸液用ポンプ	2	—	—	—	1	—	—	1
血中酸素飽和度測定器（携帯用）	7	1	1	1	1	1	—	2
バックボード	6	1	2	1	1	1	—	—
プロライトスピードボード	5	1	1	1	1	—	—	1
AED（自動体外式除細動器）	8	2	2	1	1	1	1	—

組合管内各市町消防団現況

区分 消防団別	分 団 数	団 員 数		
		定 員	実 員	欠 員
合 計	3 8 分団 1 救護本部	1,046	794	252
塩竈市塩竈消防団	4 分団 1 救護本部	165	80	85
塩竈市浦戸消防団	2 分 団	80	52	28
多賀城市消防団	8 分 団	200	157	43
松島町消防団	6 分 団	250	210	40
七ヶ浜町消防団	10 分 団	220	190	30
利府町消防団	8 分 団	131	105	26

組合管内各市町消防団機械器具現況

資機材別 消防団別	普通ポンプ車	可搬小型動力 消防ポンプ	積載車 (車両のみ)	ホース (本)
	合 計	15	52	35
塩竈市塩竈消防団	2	7	2	197
塩竈市浦戸消防団	—	8	4	188
多賀城市消防団	6	2	2	258
松島町消防団	1	23	15	351
七ヶ浜町消防団	6	4	4	355
利府町消防団	—	8	8	189

第4編 指 令



通 信 施 設 配 置 状 況

区 分		合 計	消 防 本 部	塩 釜 消 防 署	塩 竈 市 役 所	多 賀 城 消 防 署	多 賀 城 市 役 所	松 島 消 防 署	松 島 町 役 場	七 ヶ 浜 消 防 署	七 ヶ 浜 町 役 場	利 府 消 防 署	利 府 町 役 場	西 部 出 張 所	仙 台 市 消 防 局	防 災 関 係 機 関	
指 令 装 置		1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
1 1 9 番 専 用 回 線		5	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
指 令 端 末 装 置 直 通 回 線		6	-	1	-	1	-	1	-	1	-	1	-	1	-	-	
警 察 直 通 電 話 回 線		1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
防 災 機 関 等 直 通 電 話 回 線		14	-	-	1	-	1	-	1	-	1	-	1	-	1	8	
特 別 加 入 電 話 回 線		5	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
緊 急 連 絡 用 電 話 回 線		6	-	1	-	1	-	1	-	1	-	1	-	1	-	-	
電 話 関 係	固 定 加 入 電 話	37	22	10	-	1	-	1	-	1	-	1	-	1	-	-	
	内 線 回 線	52	26	13	1	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
	フ ァ ク シ ミ リ	12	6	1	-	1	-	1	-	1	-	1	-	1	-	-	
	携 帯 電 話	20	8	3	-	2	-	2	-	2	-	2	-	1	-	-	
無 線 関 係	固 定 局	3	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	基 地 局	2	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	移 動 局	(車 載 型)	38	10	8	-	6	-	5	-	4	-	4	-	1	-	-
		(可 搬 型)	7	2	1	-	1	-	1	-	1	-	1	-	-	-	-
		(卓 上 型)	3	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		(携 帯 型)	36	13	5	-	5	-	4	-	4	-	4	-	1	-	-
署 活 動 用	50	8	9	-	10	-	7	-	7	-	7	-	2	-	-		
受 令 機	4	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-		

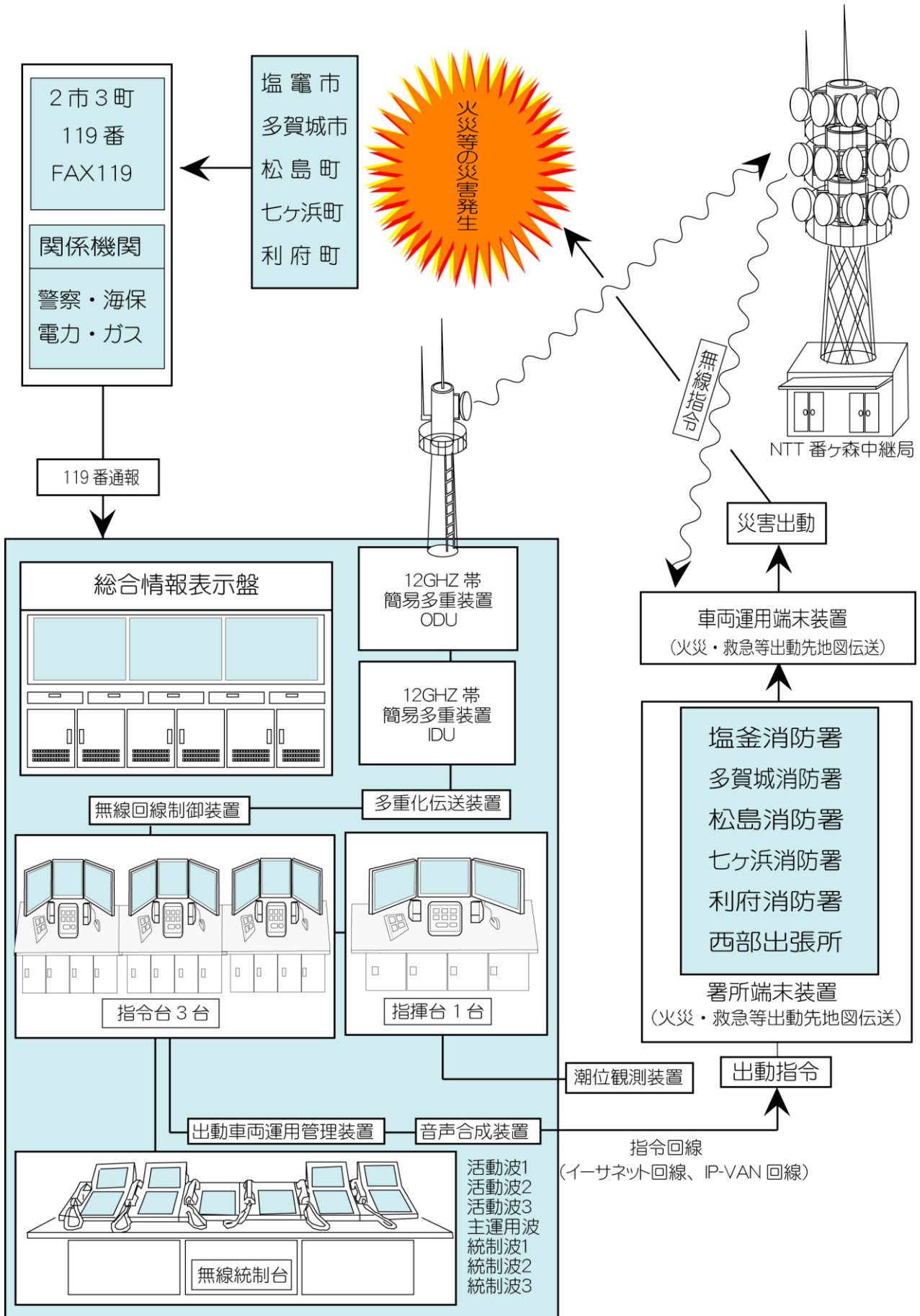
無 線 通 信 施 設 (アナログ無線)

	基 数	市 町	市 町	県 内	全 国	全 国	全 国	救 急 波	防 災 相 互 通 信 波	備 考
		第 1 波	第 2 波	共 通 波	第 1 波	第 2 波	第 3 波			
基地・固定局 (10w)	1	-	-	-	-	-	-	-	1	指令課「しおしょうほんぶ」
移動局 10w	1	-	-	-	-	-	-	-	1	支援1
携帯 5w, 1w	7	-	-	-	-	-	-	-	7	塩釜1001~1005, 炎対1, 2

無 線 通 信 施 設 (デジタル無線等)

	基 数	活 動 波 1	活 動 波 2	活 動 波 3	主 運 用 波	統 制 波 1	統 制 波 2	統 制 波 3	署 活 動 用 第 1 波	署 活 動 用 第 2 波	備 考
基地・多重無線固定局	3	3	3	3	3	3	3	3	-	-	
移動局	(車 載 型)	38	38	38	38	38	38	38	-	-	
	(可 搬 型)	7	7	7	7	7	7	7	-	-	
	(卓 上 型)	3	3	3	3	3	3	3	-	-	
	(携 帯 型)	29	29	29	29	29	29	29	-	-	
署 活 動 用 1 w	50	-	-	-	-	-	-	-	50	50	
電 波 型 式	基地局:5K80G1D、多重無線固定局:2M50G7W										
空 中 線 電 力	基地局:10w、多重無線固定局:300mw										

消防緊急通信指令システム図



通信指令装置の機能概要

装置の名称	装置の機能
指令装置	塩釜地区二市三町からの火災、救急、その他各種災害の119番通報を受付する指令台及び指令業務、無線交信等を効率よく行うため、統合型位置情報通知装置、自動出動指定装置、地図等検索装置、表示盤、デジタル無線設備等の各通信機器、情報機器と連携させ、最新のVOIP化技術によりフルデジタル化で構成されています。
自動出動指定装置	システムの自動化機能を制御し、各種検索、災害地点及び災害種別の決定により、出動隊の自動編成、出動指令、表示盤制御、進行事案の管理を行います。
地図等検索装置	自動出動指定装置と接続され、災害地点の地図等を表示するほか、単独での検索も可能で、地図上からの逆検索により災害地点を自動出動指定装置へ逆転送し、災害地点の確定と自動隊編成を行えるものです。
表示盤	60インチLCD3画面にて、消防、救急受付業務に必要な気象観測情報、気象通報及び車両運用状況、監視カメラ映像等を表示します。
音声合成装置	自動出動指定装置と連動し、災害通報の覚知情報をもとに災害種別、災害地点、出動車両等の情報を自動的に編集し自動出動指定装置から指令等が音声合成により出力します。
指令電送装置	出動指令操作と連動して自動出動指定装置からの出動指令情報及び地図等検索装置からの災害地点周辺地図を署所等に電送します。
署所端末装置	各署所に設置され、指令センターとNTT専用線（イーサネット回線、IP-VAN回線）で接続し、指令装置から各署所に出動の予告音や、音声合成の指令放送等が行われます。
順次指令装置	災害発生時、関係職員及び各市町に順次呼出による災害発生通報を順次配信します。
出動車両運用管理装置	管理装置と車両運用端末装置で構成され、車両運用端末装置からの動態、車両位置情報を管理装置で受け、自動出動指定装置及び車両運用表示盤に反映するものです。
災害状況等自動案内装置	市町民からの災害出動等の状況問い合わせに自動的に応答します。
統合型位置情報通知装置	携帯電話、固定電話、IP電話から送信される位置情報を受信し、連動する指令台に送信することにより、自動出動指定装置及び地図検索装置に情報・地図が表示され、地点決定をします。
無線統制台	基地局無線機と接続し、出動車両の無線交信を集中制御する操作台です。
Eメール指令装置	指令台の災害覚知情報に基づき、指令起動操作と連動して火災、災害情報を消防職員、関係者が所有する携帯電話等へ電子メールで通知します。
電源設備	システムに必要な電源設備は無停電電源設備（AC100V系）直流電源装置（DC12V系）直流電源装置（DC48V系）非常用発電機で各種の電源を一元的に管理します。
119番FAX受信装置	要援護者等からの119番FAX通報を受信する専用の受信装置です。

駆け込み通報装置	各署所に設置され、職員が災害等で不在の場合、本装置の受話機を取ることで指令台と直接通話でき、指令台側では119番受信時と同様に自動出動指定装置と連動して指令業務を行います。
システム監視装置	主要機器のヘルスチェックの状況を自動で監視し、システムの運用状況及び障害発生時の状況を履歴として保持し、指令センター員に通知します。
データ修正装置	自動出動指定装置、地図等検索装置、車両動態管理装置、各種表示盤の各データの修正等をオンラインにて行うメンテナンス装置です。
長時間録音装置	各指令台で扱う119番通報内容、無線交信内容を時刻と共に自動録音し、日時、相手番号等で検索・再生することができます。
庁舎監視装置	各署所にネットワークカメラを設置。撮影した映像を指令センターディスプレイに表示し、各庁舎周囲を監視します。
気象情報収集装置	各種の気象状況を自動観測し、指令台に表示及び記録を行い災害対策の支援情報として活用します。
デジタル無線設備	指令センターと番ヶ森基地局をパラボラ空中線、多重無線設備で無線アプローチ回線を構成し、無線運用は音声通信のみならず、データ通信機能も備え、また、一斉通信に加え、グループ及び個別セレクト機能等を具備するなど秘匿性に優れる、高機能・高性能な設備です。

その他の機器の概要

装置の名称	装置の機能
超音波式潮位観測装置	松島湾内3ヶ所(塩竈市港町・松島町磯崎・七ヶ浜町花湊浜)に超音波式潮位観測装置を設置し、観測された潮位データは専用線によって消防本部へ送られ、収集されたデータは、消防本部で処理、グラフ、表、地図画面により表示されると同時に、管内二市三町(市役所・町役場)にも配信され、潮位の変化を監視します。
全国瞬時警報システム(J-ALERT)	<p>日本国内で地震や津波による大規模災害や武力攻撃等が発生した際に、総務省消防庁から提供される国民保護に関する情報を、地域衛星通信ネットワーク経由で受信して解析処理を行い、指令制御装置等と接続し、本部・各署所庁内放送及びデジタル無線施設に自動送信することで、消防職員へ情報を迅速に伝達するものです。</p> <p>※ J-ALERTにより伝達される情報</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 地震情報(緊急地震速報、震度速報等) ② 津波情報(大津波警報、津波警報、津波注意報) ③ 気象情報(気象警報、気象注意報) ④ 有事関連情報(弾道ミサイル情報、ゲリラ攻撃、大規模テロ情報等) ⑤ その他(火山情報、土砂災害警戒情報、その他の国民保護情報等)

通 信 施 設 配 置 状 況

区 分		合 計	消 防 本 部	塩 釜 消 防 署	塩 竈 市 役 所	多 賀 城 消 防 署	多 賀 城 市 役 所	松 島 消 防 署	松 島 町 役 場	七 ヶ 浜 消 防 署	七 ヶ 浜 町 役 場	利 府 消 防 署	利 府 町 役 場	西 部 出 張 所	仙 台 市 消 防 局	防 災 関 係 機 関	
指 令 装 置		1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
1 1 9 番 専 用 回 線		5	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
指 令 端 末 装 置 直 通 回 線		6	-	1	-	1	-	1	-	1	-	1	-	1	-	-	
警 察 直 通 電 話 回 線		1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
防 災 機 関 等 直 通 電 話 回 線		14	-	-	1	-	1	-	1	-	1	-	1	-	1	8	
特 別 加 入 電 話 回 線		5	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
緊 急 連 絡 用 電 話 回 線		6	-	1	-	1	-	1	-	1	-	1	-	1	-	-	
電 話 関 係	固 定 加 入 電 話	37	22	10	-	1	-	1	-	1	-	1	-	1	-	-	
	内 線 回 線	52	26	13	1	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
	フ ァ ク シ ミ リ	12	6	1	-	1	-	1	-	1	-	1	-	1	-	-	
	携 帯 電 話	20	8	3	-	2	-	2	-	2	-	2	-	1	-	-	
無 線 関 係	固 定 局	3	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	基 地 局	2	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	移 動 局	(車 載 型)	38	10	8	-	6	-	5	-	4	-	4	-	1	-	-
		(可 搬 型)	7	2	1	-	1	-	1	-	1	-	1	-	-	-	-
		(卓 上 型)	3	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		(携 帯 型)	36	13	5	-	5	-	4	-	4	-	4	-	1	-	-
署 活 動 用	50	8	9	-	10	-	7	-	7	-	7	-	2	-	-		
受 令 機	4	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-		

無 線 通 信 施 設 (アナログ無線)

	基 数	市 町	市 町	県 内	全 国	全 国	全 国	救 急 波	防 災 相 互 通 信 波	備 考
		第 1 波	第 2 波	共 通 波	第 1 波	第 2 波	第 3 波			
基地・固定局 (10w)	1	-	-	-	-	-	-	-	1	指令課「しおしょうほんぶ」
移動局 10w	1	-	-	-	-	-	-	-	1	支援1
携帯 5w, 1w	7	-	-	-	-	-	-	-	7	塩釜1001~1005, 炎対1, 2

無 線 通 信 施 設 (デジタル無線等)

	基 数	活 動 波	活 動 波	活 動 波	主 統 制 波	統 制 波	統 制 波	統 制 波	署 活 動 用 第 1 波	署 活 動 用 第 2 波	備 考
		1	2	3		運 用 波	1	2			
基地・多重無線固定局	3	3	3	3	3	3	3	3	-	-	
移動局	(車載型)	38	38	38	38	38	38	38	-	-	
	(可搬型)	7	7	7	7	7	7	7	-	-	
	(卓上型)	3	3	3	3	3	3	3	-	-	
	(携帯型)	29	29	29	29	29	29	29	-	-	
署 活 動 用 1 w	50	-	-	-	-	-	-	-	50	50	
電 波 型 式	基地局:5K80G1D、多重無線固定局:2M50G7W										
空 中 線 電 力	基地局:10w、多重無線固定局:300mw										

災 害 受 付 状 況 (1 月 ~ 6 月)

区分 月別	種別	火災	救急	救助	その他 の災害	訓練	いたずら	間違い	問合せ	試験	他管内	その他	合計
1 月	119番	3	480	1	-	22	3	19	11	3	-	55	597
	携帯119	5	324	5	4	3	1	25	20	-	27	45	459
	加入電話	-	62	1	10	-	1	-	-	20	-	19	113
	その他	2	5	-	1	-	-	-	-	2	-	-	10
	小計	10	871	7	15	25	5	44	31	25	27	119	1,179
2 月	119番	1	459	1	4	36	-	17	7	9	-	37	571
	携帯119	3	248	3	4	-	-	13	19	-	27	37	354
	加入電話	1	52	-	2	1	-	-	-	24	-	20	100
	その他	-	6	1	-	-	-	-	-	-	-	-	7
	小計	5	765	5	10	37	0	30	26	33	27	94	1,032
3 月	119番	1	412	1	7	67	3	12	7	7	1	32	550
	携帯119	2	261	5	9	4	1	12	10	-	15	40	359
	加入電話	1	57	-	15	1	-	1	-	30	-	12	117
	その他	-	8	-	-	-	-	-	-	2	-	-	10
	小計	4	738	6	31	72	4	25	17	39	16	84	1,036
4 月	119番	1	406	-	1	43	1	15	9	1	5	38	520
	携帯119	-	270	1	2	4	8	15	13	-	17	32	362
	加入電話	-	52	2	11	-	-	-	2	24	-	27	118
	その他	-	9	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9
	小計	1	737	3	14	47	9	30	24	25	22	97	1,009
5 月	119番	-	360	1	1	62	-	9	7	6	-	39	485
	携帯119	1	254	-	1	3	2	19	7	-	19	25	331
	加入電話	-	58	1	2	-	-	-	-	19	-	21	101
	その他	-	1	-	-	-	-	-	-	2	-	-	3
	小計	1	673	2	4	65	2	28	14	27	19	85	920
6 月	119番	2	363	1	-	143	-	8	2	2	-	27	548
	携帯119	-	254	-	3	5	3	32	14	-	11	35	357
	加入電話	-	43	-	6	2	-	-	1	31	-	28	111
	その他	-	3	-	2	-	-	-	-	-	-	-	5
	小計	2	663	1	11	150	3	40	17	33	11	90	1,021

応急手当の口頭指導(プロトコール)実施状況(1月~6月)

種別 月	人工呼吸	心臓マッサージ	気道確保	気道異物除去	体位移動	その他	小計
1月	-	10	-	1	-	2	13
2月	-	9	-	-	-	2	11
3月	1	4	-	-	-	-	5
4月	-	6	-	-	1	-	7
5月	1	5	1	1	-	2	10
6月	-	7	-	-	-	-	7
小計	2	41	1	2	1	6	53

災害受付状況(7月～12月)

区分 月別	種別	火災	救急	救助	その他の 災害	訓練	いたづら	間違い	問合せ	試験	他管内	その他	合計
7月	119番	1	389	2	-	46	-	13	5	-	4	49	509
	携帯119	2	346	3	4	6	-	18	15	-	15	58	467
	加入電話	1	56	1	3	-	-	-	1	25	1	18	106
	その他	1	4	-	-	-	-	-	-	2	-	-	7
	小計	5	795	6	7	52	0	31	21	27	20	125	1,089
8月	119番	2	423	2	1	26	2	4	10	2	2	32	506
	携帯119	-	321	3	3	2	-	16	17	1	11	68	442
	加入電話	-	40	-	7	5	-	-	-	17	-	17	86
	その他	-	4	-	3	-	-	-	-	-	-	-	7
	小計	2	788	5	14	33	2	20	27	20	13	117	1,041
9月	119番	-	384	-	8	59	-	17	5	7	1	30	511
	携帯119	2	285	-	4	2	1	22	12	1	17	49	395
	加入電話	-	36	1	10	-	-	-	-	24	1	11	83
	その他	-	2	-	-	-	-	-	-	2	-	-	4
	小計	2	707	1	22	61	1	39	17	34	19	90	993
10月	119番	1	409	1	3	132	-	15	4	3	-	37	605
	携帯119	-	309	3	7	7	-	23	13	1	14	64	441
	加入電話	2	63	1	11	1	-	1	-	22	-	17	118
	その他	-	7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7
	小計	3	788	5	21	140	0	39	17	26	14	118	1,171
11月	119番	1	400	-	1	135	-	9	5	2	-	31	584
	携帯119	3	264	2	3	12	1	24	11	-	10	53	383
	加入電話	-	58	2	5	-	-	-	1	12	-	11	89
	その他	-	2	-	-	-	-	-	-	2	-	-	4
	小計	4	724	4	9	147	1	33	17	16	10	95	1,060
12月	119番	1	486	-	4	77	-	10	7	2	2	30	619
	携帯119	3	291	2	3	8	-	21	13	-	13	51	405
	加入電話	-	54	1	7	-	-	-	-	24	-	10	96
	その他	-	4	1	-	-	-	-	-	-	-	-	5
	小計	4	835	4	14	85	0	31	20	26	15	91	1,125
小計	119番	14	4,971	10	30	848	9	148	79	44	15	437	6,605
	携帯119	21	3427	27	47	56	17	240	164	3	196	557	4755
	加入電話	5	631	10	89	10	1	2	5	272	2	211	1238
	その他	3	55	2	6	0	0	0	0	12	0	0	78
	総計	43	9,084	49	172	914	27	390	248	331	213	1,205	12,676

応急手当の口頭指導(プロトコール)実施状況(7月～12月)

種別 月	人工呼吸	心臓マッサージ	気道確保	気道異物除去	体位移動	その他	小計
7月	-	9	-	-	-	-	9
8月	-	4	-	-	-	1	5
9月	-	7	-	1	-	-	8
10月	-	6	-	-	-	-	6
11月	-	7	-	-	-	1	8
12月	1	13	-	-	-	-	14
小計	1	46	0	1	0	2	50
総計	3	87	1	3	1	8	103

第5編 火災統計



平成30年の火災概要

平成30年の火災件数は40件であり、前年と比較すると3件の増加となっている。火災種別では建物火災が27件、その他の火災が9件、車両火災が4件となっている。市町別ごとの出火件数は多賀城市が12件、塩竈市・利府町が11件、松島町が4件、七ヶ浜町が2件となっている。

火災によって亡くなった方は2人となっている。負傷者は9人で、その内訳は塩竈市が6人、利府町が2人、多賀城市が1人となっている。

また、損害額も前年と比較すると増加している。

火災出火件数

出火件数は40件（37件）で、
おおよそ9.1日に1件発生して
いる。

()は前年の件数等

			市町別火災発生・死者・負傷者状況			
			発生状況		死者	負傷者
建物火災	27件	(20件)	塩竈市	11件 (13件)	0人 (2人)	6人 (1人)
林野火災	0件	(3件)	多賀城市	12件 (10件)	1人 (0人)	1人 (2人)
車両火災	4件	(2件)	松島町	4件 (6件)	0人 (0人)	0人 (1人)
船舶火災	0件	(0件)	七ヶ浜町	2件 (5件)	0人 (0人)	0人 (0人)
その他火災	9件	(12件)	利府町	11件 (3件)	1人 (0人)	2人 (0人)

月別火災状況

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
件数	8件	5件	5件	1件	2件	3件	3件	2件	2件	1件	3件	5件

主な火災原因

第1位	放火・放火の疑い	12件	(3件・第2位)
第2位	電気関係	7件	(3件・第2位)
第3位	こんろ	3件	(3件・第2位)
第4位	ストーブ	2件	(1件・第5位)
第5位	たばこ	1件	(6件・第1位)

損害額

損害額は72,445千円で、前年に比べ39,929千円の増加となった。

火災1件あたりの損害額は、約1,811千円となった。

初期消火・早期発見状況

初期消火は出火件数40件のうち23件（58%）で実施され、このうち11件（48%）が成功している。また、建物火災は27件発生しており、そのうち17件（63%）で実施され、このうち8件（47%）が初期消火に成功している。

また、住宅用火災警報器により火災を早期発見した奏功事例が2件あり、焼損程度「部分焼」が1件、火災に至らなかった事例が1件であった。

1 火災の概況

第1表

区 分		単位	平成30年		平成29年		増減		増減率 (%)		
出 火 件 数	建 物	件	全 焼	5	27	3	20	2	7	66.7	35.0
			半 焼	3		2		1		50.0	
			部分焼	4		4		0		0.0	
			ぼ や	15		11		4		36.4	
	林 野		0	3	37	△ 3	皆減	8.1			
	車 両		4	2		2	100.0				
	船 舶		0	0		0	-				
	その他		9	12		△ 3	△ 25.0				
焼 損 棟 数	全 焼	棟	10	38	4	27	6	11	150.0	40.7	
	半 焼		3		2		1		50.0		
	部分焼		8		5		3		60.0		
	ぼ や		17		16		1		6.3		
り 災 世 帯	全 損	世帯	4	25	6	20	△ 2	5	△ 33.3	25.0	
	半 損		3		0		3		皆増		
	小 損		18		14		4		28.6		
り 災 人 員		人	75		40		35		87.5		
焼 損 面 積	建物（床面積）	㎡	1,185.5		479.7		705.8		147.1		
	建物（表面積）		22.8		17.9		4.9		27.4		
	林 野	a	0.0		33.0		△ 33.0		皆減		
	その他	㎡	371.7		189.6		182.1		96.0		
損 害 額	建 物	千円	70,993		31,639		39,354		124.4		
	林 野		0		0		0		-		
	車 両		1,365		872		493		56.5		
	船 舶		0		0		0		-		
	その他		87		5		82		1,640.0		
	合 計		72,445		32,516		39,929		122.8		
死 者		人	2		2		0		0.0		
負 傷 者			9		4		5		125.0		
出 火 率		件	2.1		2.3		△ 0.2		△ 8.7		

※出火率とは、人口1万人あたりの出火件数をいう（火災件数÷人口×10,000）。

※人口は、平成30年12月末現在。

※前年の数値が「0」のものは、増減率を「皆増」と表記いたします。

※今年の数値が「0」のものは、増減率を「皆減」と表記いたします。

※前年及び今年の数値が「0」のものは、増減率を「-」と表記いたします。

2 市町別火災概況

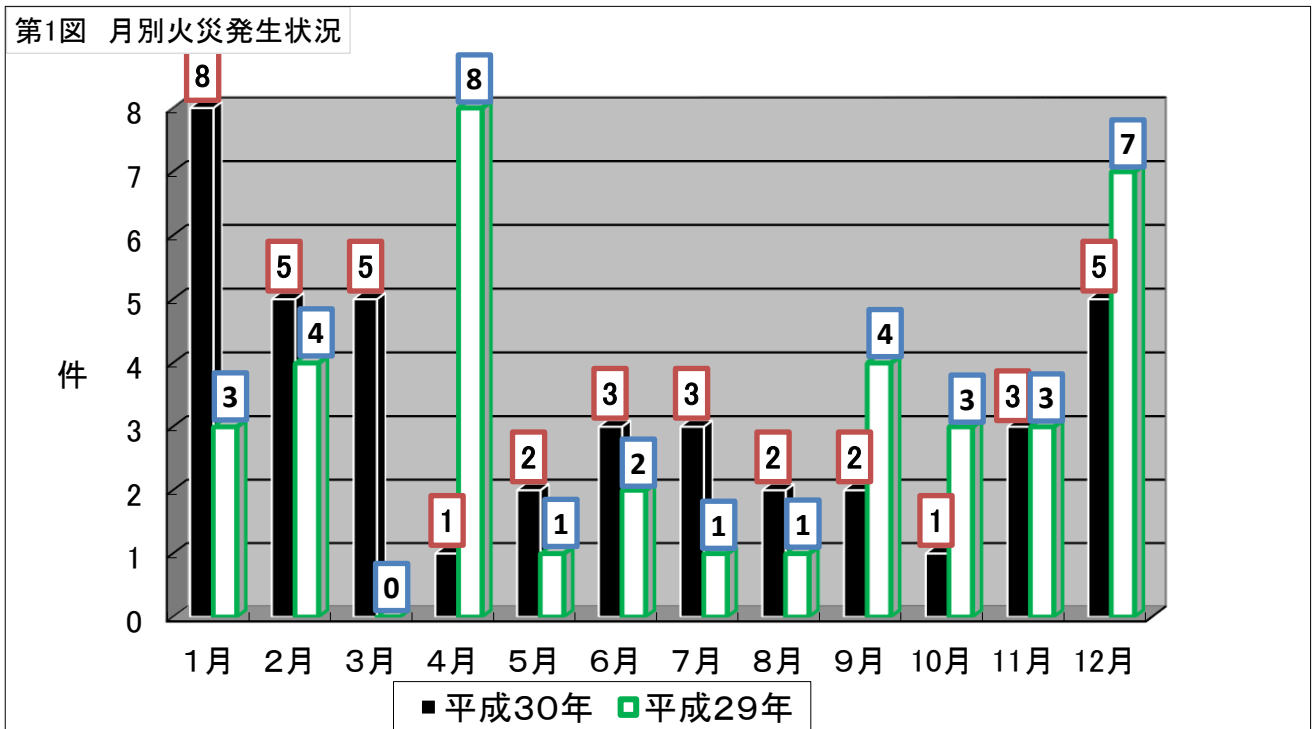
第2表

区 分		単位	総計		塩竈市		多賀城市		松島町		七ヶ浜町		利府町	
出 火 件 数	建 物	全 焼	5 (3)	建物	1 (2)	建物	0 (0)	建物	1 (1)	建物	1 (0)	建物	2 (0)	建物
		半 焼	3 (2)	27	1 (2)	9	0 (0)	5	1 (0)	4	0 (0)	2	1 (0)	7
		部分焼	4 (4)	(20)	0 (2)	(11)	2 (1)	(5)	0 (0)	(2)	0 (0)	(1)	2 (1)	(1)
		ぼ や	15 (11)		7 (5)		3 (4)		2 (1)		1 (1)		2 (0)	
	林 野	0 (3)	計	0 (0)	計	0 (0)	計	0 (3)	計	0 (0)	計	0 (0)	計	
	車 両	4 (2)	40	0 (0)	11	1 (2)	12	0 (0)	4	0 (0)	2	3 (0)	11	
	船 舶	0 (0)	(37)	0 (0)	(13)	0 (0)	(10)	0 (0)	(6)	0 (0)	(5)	0 (0)	(3)	
	その他	9 (12)		2 (2)		6 (3)		0 (1)		0 (4)		1 (2)		
焼 損 棟 数	全 焼		10		1		0		2		1		6	
	半 焼		3	38	1	9	0	5	1	9	0	3	1	
	部分焼		8		0		2		2		1		3	
	ぼ や		17		7		3		4		1		2	
り 災 世 帯	全 損		4		1		1		1		0		1	
	半 損	世帯	3	25	1	6	0	5	1	7	0	3	1	
	小 損		18		4		4		5		3		2	
り 災 人 員		人	75		18		10		25		7		15	
焼 損 面 積	建物（床面積）	㎡	1,185.5		319.7		79.1		130.2		31.5		625.0	
	建物（表面積）		22.8		1.0		0.4		0.0		5.5		15.9	
	林 野	a	0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0	
	その他	㎡	371.7		354.8		16.9		0.0		0.0		0.0	
損 害 額	建 物	千円	70,993		11,637		6,840		15,044		725		36,747	
	林 野		0		0		0		0		0		0	
	車 両		1,365		0		120		0		0		1,245	
	船 舶		0		0		0		0		0		0	
	その他		87		0		87		0		0		0	
	合 計		72,445		11,637		7,047		15,044		725		37,992	
死 者		人	2		0		1		0		0		1	
負 傷 者			9		6		1		0		0		2	
出 火 率		件	2.1		2.0		1.9		2.8		1.1		3.0	

※（ ）は、前年の火災件数

3 月別火災発生状況

出火件数は40件で月別で見ると、最も多い月は1月の8件、以下2月・3月・12月の5件、6月・7月・11月の3件、5月・8月・9月の2件、4月・10月の1件の順となっている。



4 四季別火災発生状況

出火件数40件を四季別で見ると、冬季が最も多く18件で全体の45%を占め、次いで春季・夏季の8件(20%)、秋季の6件(15%)の順となっている。

損害額は、秋季が最も多く全体の約4割を占めている。

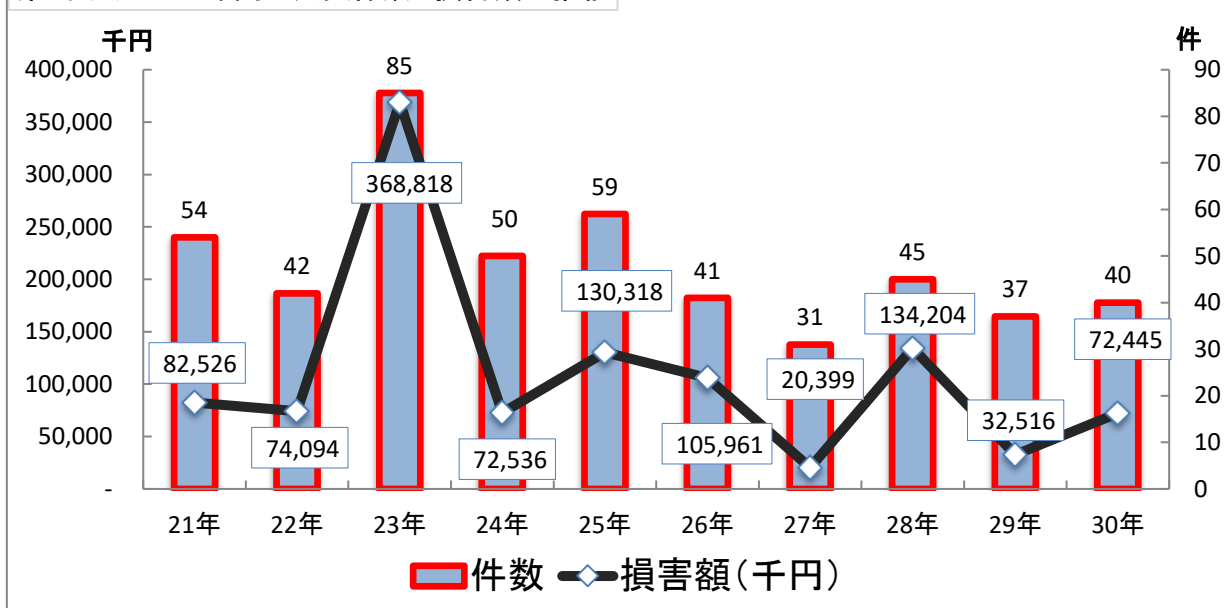
第3表

区分	平成30年				平成29年			
	出火件数	割合 %	損害額 (千円)	割合 %	出火件数	割合 %	損害額 (千円)	割合 %
春季 3月～5月	8 建物 5 林野 0 車両 1 船舶 0 その他 2	20.0	1,225	1.7	9 建物 5 林野 1 車両 1 船舶 0 その他 2	24.3	14,513	44.6
夏季 6月～8月	8 建物 7 林野 0 車両 0 船舶 0 その他 1	20.0	14,546	20.1	4 建物 1 林野 0 車両 1 船舶 0 その他 2	10.8	409	1.3
秋季 9月～11月	6 建物 4 林野 0 車両 0 船舶 0 その他 2	15.0	31,792	43.9	10 建物 7 林野 0 車両 0 船舶 0 その他 3	27.0	13,122	40.4
冬季 12月～2月	18 建物 11 林野 0 車両 3 船舶 0 その他 4	45.0	24,882	34.3	14 建物 7 林野 2 車両 0 船舶 0 その他 5	37.9	4,472	13.7
合計	40	100.0	72,445	100.0	37	100.0	32,516	100.0

5 火災件数と損害額

損害額は72,445千円となり、前年の32,516千円と比較すると、39,929千円の増加となっている。火災1件あたりの損害額は、約1,811千円となっている。

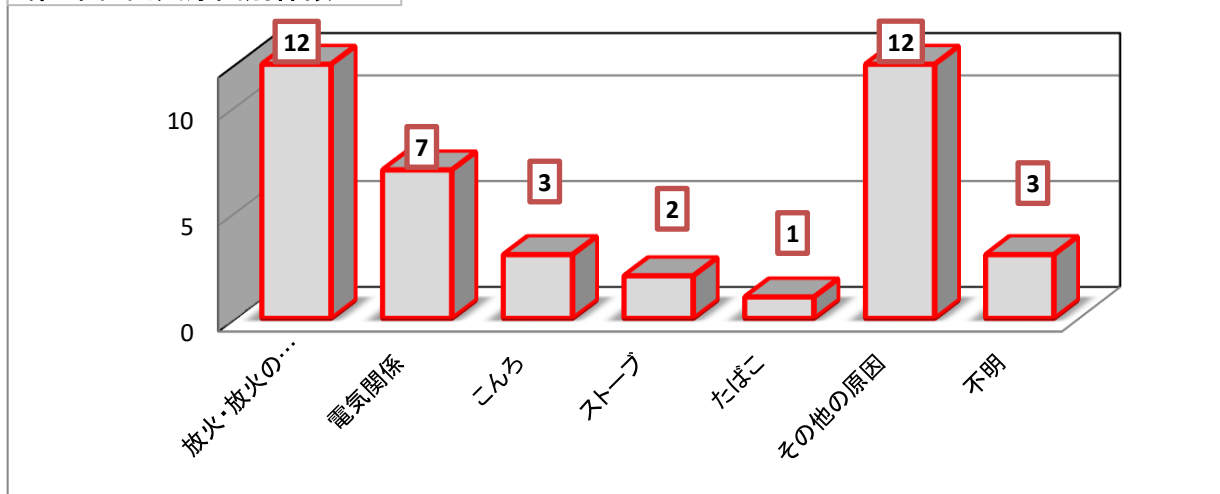
第2図 過去10年間の火災件数と損害額の推移



6 出火原因別の火災発生状況

出火件数40件を出火原因別にみると、第1位が「放火・放火の疑い」で12件（30%）、第2位が「電気関係」で7件（18%）、第3位が「こんろ」で3件（8%）の順となっており、その他の原因が12件（30%）となっている。

第3図 出火原因別件数



第4表 過去5年間の主な出火原因（上位5位）

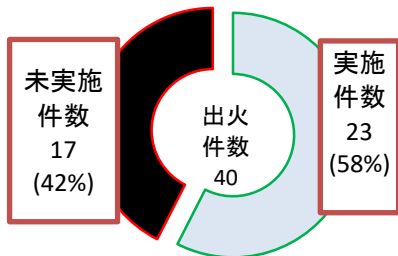
順位	平成26年	順位	平成27年	順位	平成28年	順位	平成29年	順位	平成30年		
1	放火・放火の疑い	8	1	放火・放火の疑い	6	1	放火・放火の疑い	6	1	放火・放火の疑い	12
2	たばこ	6	2	たばこ	3	1	たばこ	5	2	放火・放火の疑い	3
3	こんろ	4	2	こんろ	3	1	こんろ	5	2	こんろ	3
4	電気関係	3	2	電気関係	3	1	電気関係	5	2	電気関係	3
4	ストーブ	3	5	ストーブ	2	5	ストーブ	3	5	ストーブ・火遊び	1

7 初期消火状況

出火件数40件のうち初期消火は23件(58%)で実施され、このうち11件(48%)が成功している。また、建物火災は27件発生しており、そのうち17件(63%)で実施され、このうち8件(47%)が初期消火に成功している。

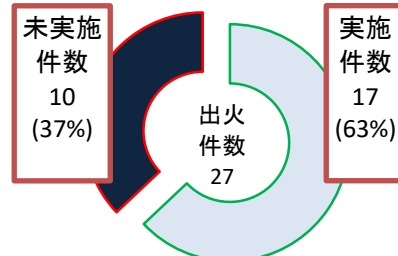
第4図

初期消火実施状況



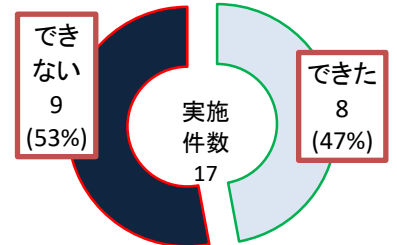
第5図

建物火災初期消火実施状況



第6図

建物火災初期消火実施の適否状況



未実施の理由 (建物火災)

発見が遅れて拡大した	3
濃煙のため消火困難	2
自然鎮火	2
その他の理由 (建物進入不能) 他	3

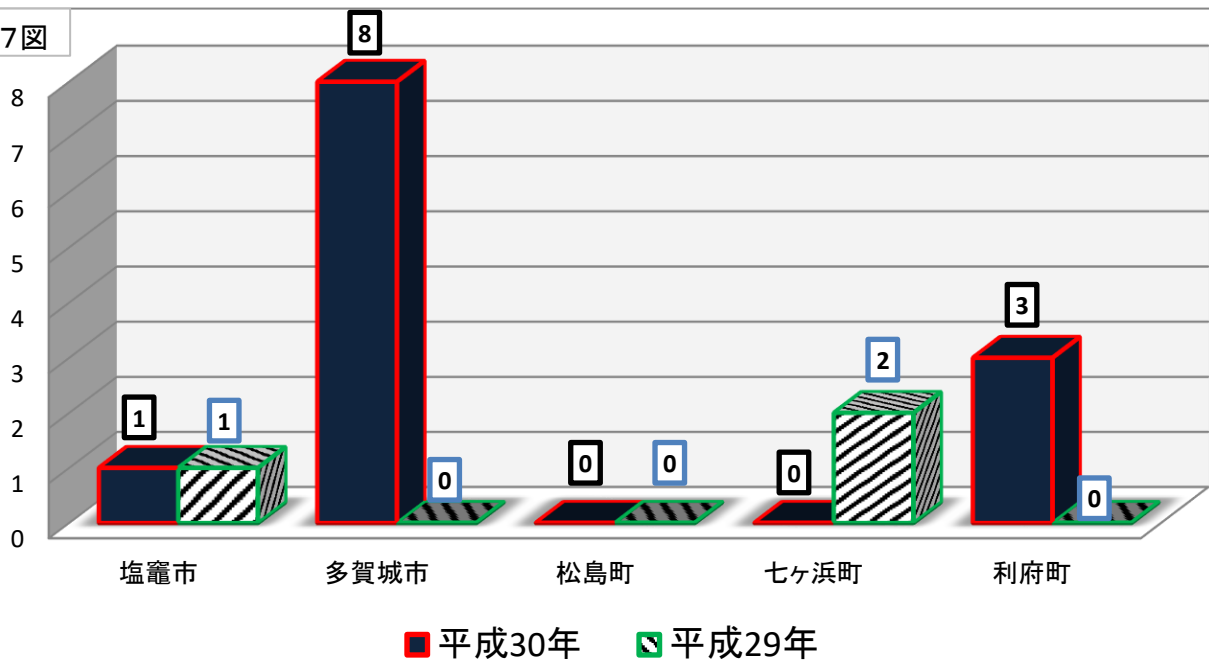
消火できなかった理由 (建物火災)

急激な拡大	2
濃煙のため消火困難	2
発見が遅れて拡大した	2
その他の理由 (消火困難な場所) 他	3

8 「放火・放火の疑い」の発生状況

出火件数40件のうち「放火・放火の疑い」が12件発生し、前年と比較すると9件の増加となり、全体の30%を占めている。

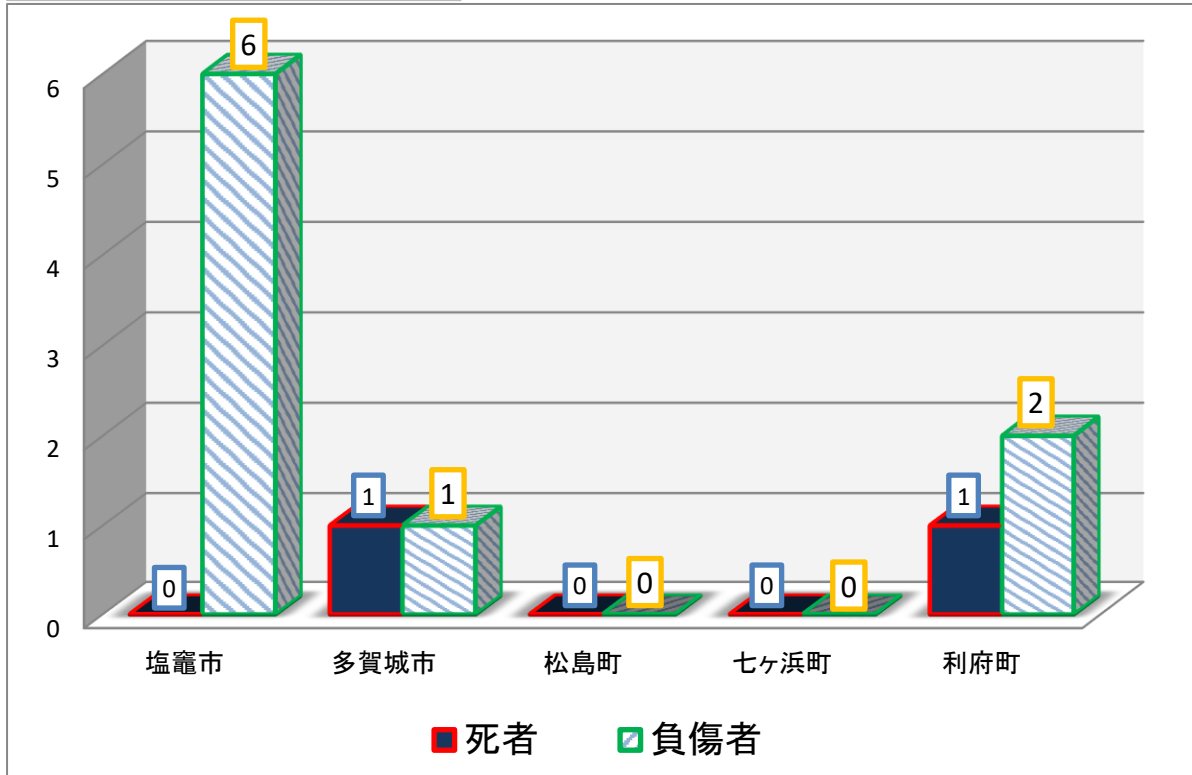
第7図



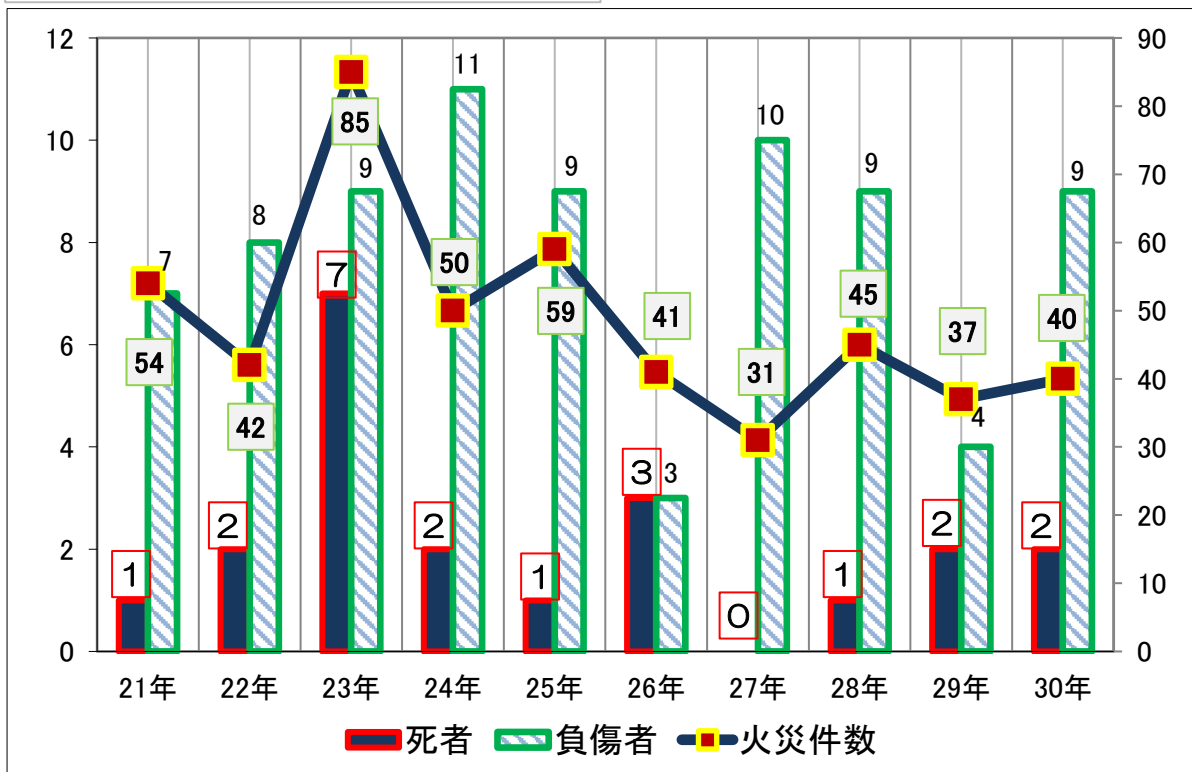
9 死傷者の発生状況

死者は建物火災及びその他の火災でそれぞれ1人発生し、負傷者は建物火災で8人、車両火災で1人発生している。

第8図 市町別死傷者発生状況

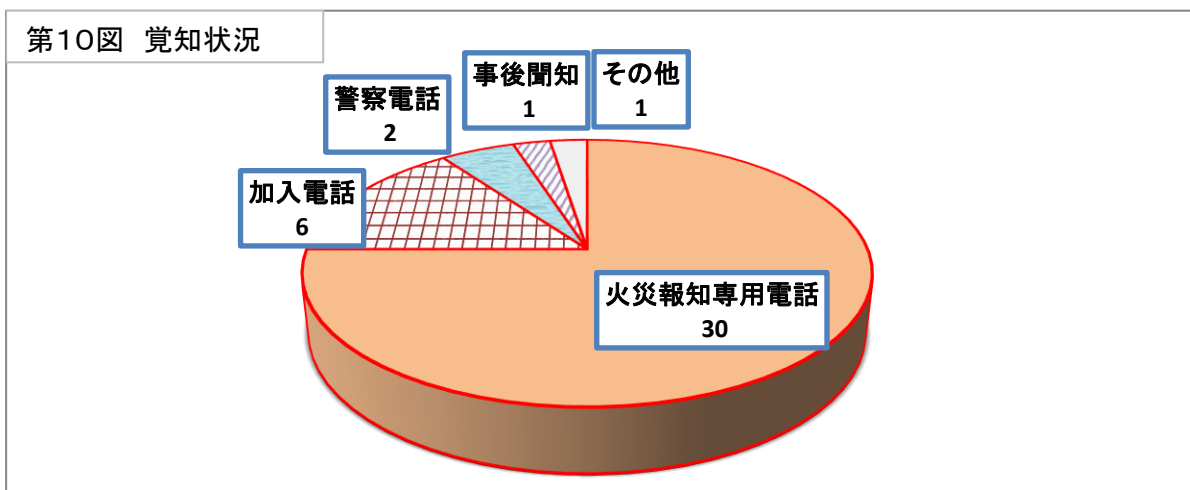


第9図 過去10年間の死傷者発生状況

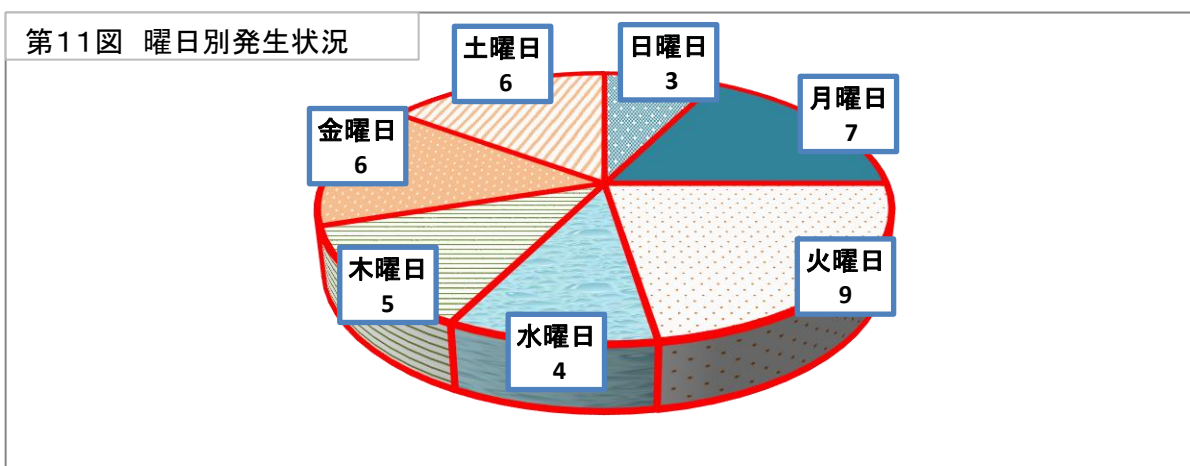


10 その他

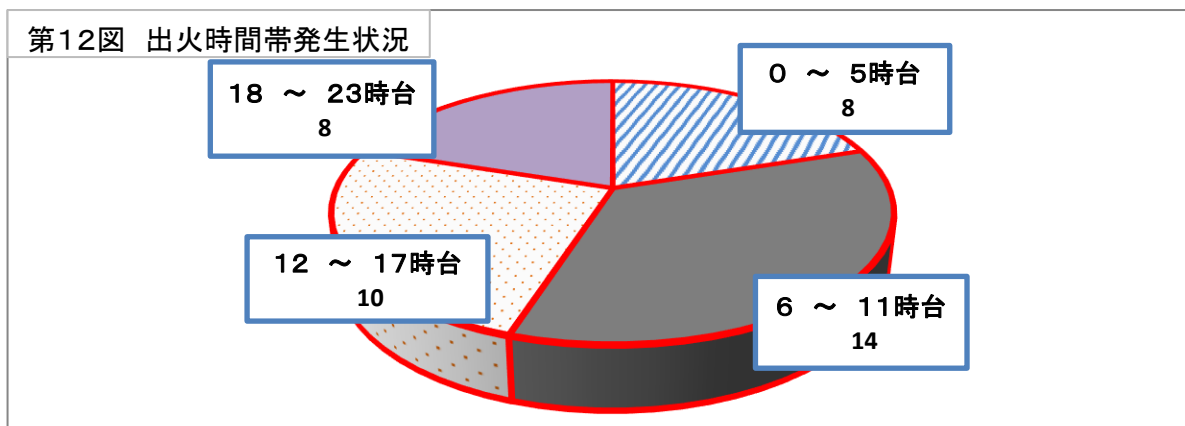
- (1) 火災の覚知については、火災報知専用電話（119回線）が最も多く30件で、次いで加入電話が6件、警察電話が2件の順となっている。



- (2) 曜日別については、火曜日が最も多く9件で、次いで月曜日が7件、金曜日・土曜日が6件の順となっている。



- (3) 火災発生時間帯については、就寝時間帯よりも、就業時間帯での発生が多く見られる。



11 過去5年間の火災発生状況

種 別 年 別	火 災 件 数 (件)						損 害 額 (千 円)						
	合 計	建 物	林 野	車 両	船 舶	そ の 他	合 計	建 物	林 野	車 両	船 舶	そ の 他	
平成 26年	合 計	41	22	1	5	1	12	105,961	103,238	0	2,717	0	6
	塩 竈 市	16	10	0	2	1	3	68,321	66,593	0	1,728	0	0
	多賀城市	9	6	0	1	0	2	10,422	10,386	0	30	0	6
	松 島 町	8	2	1	1	0	4	1,511	561	0	950	0	0
	七ヶ浜町	2	2	0	0	0	0	25,562	25,562	0	0	0	0
	利 府 町	6	2	0	1	0	3	145	136	0	9	0	0
平成 27年	合 計	31	17	1	5	0	8	20,399	19,804	0	536	0	59
	塩 竈 市	11	8	0	2	0	1	17,312	17,271	0	41	0	0
	多賀城市	7	5	0	0	0	2	2,436	2,436	0	0	0	0
	松 島 町	4	1	1	1	0	1	104	24	0	80	0	0
	七ヶ浜町	4	1	0	0	0	3	59	0	0	0	0	59
	利 府 町	5	2	0	2	0	1	488	73	0	415	0	0
平成 28年	合 計	45	24	0	9	2	10	134,204	26,110	0	2,364	80,000	25,730
	塩 竈 市	17	9	0	0	2	6	88,052	8,046	0	0	80,000	6
	多賀城市	12	6	0	5	0	1	36,650	9,047	0	1,882	0	25,721
	松 島 町	3	1	0	1	0	1	4,918	4,843	0	72	0	3
	七ヶ浜町	6	5	0	0	0	1	3,713	3,713	0	0	0	0
	利 府 町	7	3	0	3	0	1	871	461	0	410	0	0
平成 29年	合 計	37	20	3	2	0	12	32,516	31,639	0	872	0	5
	塩 竈 市	13	11	0	0	0	2	18,491	18,478	0	13	0	0
	多賀城市	10	5	0	2	0	3	8,627	7,768	0	859	0	0
	松 島 町	6	2	3	0	0	1	1,507	1,507	0	0	0	0
	七ヶ浜町	5	1	0	0	0	4	50	45	0	0	0	5
	利 府 町	3	1	0	0	0	2	3,841	3,841	0	0	0	0
平成 30年	合 計	40	27	0	4	0	9	72,445	70,993	0	1,365	0	87
	塩 竈 市	11	9	0	0	0	2	11,637	11,637	0	0	0	0
	多賀城市	12	5	0	1	0	6	7,047	6,840	0	120	0	87
	松 島 町	4	4	0	0	0	0	15,044	15,044	0	0	0	0
	七ヶ浜町	2	2	0	0	0	0	725	725	0	0	0	0
	利 府 町	11	7	0	3	0	1	37,992	36,747	0	1,245	0	0

焼 損 棟 数					り 災 世 帯 数				り 災 人 員	焼 損 面 積			死 者	傷 者	放 水 件 数
合 計	全 焼	半 焼	部 分 焼	ぼ や	合 計	全 損	半 損	小 損		建 物 (m ²)		林 野 (a)			
										床 面 積	表 面 積				
40	9	0	11	20	32	5	1	26	65	1,060.3	183.3	2.6	3	3	26
18	4	0	3	11	13	3	1	9	28	568.4	122.6	0.0	2	1	8
16	4	0	6	6	16	2	0	14	29	422.1	60.7	0.0	1	0	7
2	1	0	0	1	2	0	0	2	3	31.0	0.0	2.6	0	0	6
2	0	0	1	1	0	0	0	0	0	21.5	0.0	0.0	0	1	1
2	0	0	1	1	1	0	0	1	5	17.3	0.0	0.0	0	1	4
21	4	0	2	15	13	2	0	11	35	296.4	40.5	1.6	0	10	15
10	1	0	2	7	7	1	0	6	19	151.0	38.6	0.0	0	7	4
7	3	0	0	4	4	1	0	3	7	145.4	1.2	0.0	0	2	2
1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0.0	0.0	1.6	0	1	3
1	0	0	0	1	1	0	0	1	3	0.0	0.0	0.0	0	0	2
2	0	0	0	2	1	0	0	1	6	0.0	0.7	0.0	0	0	4
29	2	3	6	18	31	10	1	20	68	572.9	12.3	0.0	1	9	24
10	0	3	2	5	17	6	1	10	31	242.4	5.0	0.0	0	3	9
8	1	0	1	6	6	3	0	3	15	90.8	0.5	0.0	1	0	8
3	1	0	0	2	1	1	0	0	3	220.5	0.1	0.0	0	1	2
5	0	0	3	2	5	0	0	5	16	19.2	6.4	0.0	0	4	1
3	0	0	0	3	2	0	0	2	3	0.0	0.3	0.0	0	1	4
27	4	2	5	16	20	6	0	14	40	479.7	17.9	33.0	2	4	20
16	3	2	3	8	14	6	0	8	27	415.6	15.1	0.0	2	1	6
5	0	0	1	4	3	0	0	3	7	45.9	0.0	0.0	0	2	4
4	1	0	0	3	2	0	0	2	4	15.0	2.0	33.0	0	1	6
1	0	0	0	1	1	0	0	1	2	0.0	0.8	0.0	0	0	1
1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	3.2	0.0	0.0	0	0	3
38	10	3	8	17	25	4	3	18	75	1,185.5	22.8	0.0	2	9	27
9	1	1	0	7	6	1	1	4	18	319.7	1.0	0.0	0	6	6
5	0	0	2	3	5	1	0	4	10	79.1	0.4	0.0	1	1	7
9	2	1	2	4	7	1	1	5	25	130.2	0.0	0.0	0	0	3
3	1	0	1	1	3	0	0	3	7	31.5	5.5	0.0	0	0	1
12	6	1	3	2	4	1	1	2	15	625.0	15.9	0.0	1	2	10

過去10年間の主な火災

損害額2千万円以上・死傷者5人以上
建物焼損面積500㎡以上・林野300a以上

番号	出火場所	出火日時	用途等	死者	傷者	焼損面積 (㎡・a)	損害額 千円	原因
1	塩竈市尾島町	H22. 6. 22	店舗併用住宅	1	0	212.0	28,779	不明
2	多賀城市大代	H23. 1. 21	住宅	1	2	355.0	31,735	不明
3	多賀城市栄	H23. 3. 11	工場	0	0	-	67,300	不明
4	多賀城市栄	H23. 3. 12	工場	0	0	-	85,588	その他
5	多賀城市宮内	H23. 5. 7	倉庫	0	0	707.0	21,454	不明
6	塩竈市北浜	H23. 11. 23	事務所兼倉庫	0	0	1,122.0	17,098	不明
7	多賀城市鶴ヶ谷	H24. 12. 2	店舗併用住宅	0	1	203.9	20,238	電気関係
8	利府町神谷沢	H25. 4. 27	住宅	0	0	137.0	23,122	その他
9	利府町加瀬	H25. 12. 27	住宅	0	2	190.0	34,062	電気ストーブ
10	七ヶ浜町花淵浜	H26. 2. 3	海苔乾燥施設	0	0	21.5	25,559	その他
11	塩竈市楓町	H26. 11. 24	住宅	0	1	195.1	44,184	石油ファンヒーター
12	多賀城市笠神	H28. 7. 4	浮棧橋	0	0	-	25,721	放火の疑い
13	塩竈市新浜町	H28. 8. 18	船舶	0	0	-	80,000	その他

※ 平成19・20・21・27・29・30年中は該当する火災は発生しなかったもの。

第6編 救急統計



平成30年の救急概要

平成30年中における救急概要を見ると、出場件数9,169件(対前年比182件増、約2.0%増)搬送人員8,861人(対前年比200人増、約2.3%増)である。

これは管内で、1日平均約25.1回(前年約24.6回)救急車が出場し、住民の約21人(前年約22人)に1人が救急隊によって搬送されたことになる。

市町別出場状況

塩竈市	3,306件(前年3,176件)
多賀城市	2,637件(前年2,540件)
松島町	1,047件(前年1,013件)
七ヶ浜町	758件(前年756件)
利府町	1,416件(前年1,493件)
他市町	5件(前年9件)

事故別出場状況

	H30	H29
第1位	急病	(同左)
第2位	一般負傷	(同左)
第3位	転院搬送	(同左)
第4位	交通事故	(同左)
第5位	運動競技	(同左)

月別出場状況

第1位	1月	880件
第2位	12月	843件
第3位	7月	804件
第4位	10月	803件

傷病程度別搬送状況

第1位	中等症	5,193人(58.6%)
第2位	軽症	2,474人(27.9%)
第3位	重症	1,089人(12.3%)
第4位	死亡	105人(1.2%)

年齢区分別搬送状況

高齢者(65歳以上)が最も多く5,594人、次いで成人2,485人、乳幼児、少年、新生児の順

平均現場到着所要時間
7分39秒
(覚知から現場に到着するまでの時間)

平均病院等収容所要時間
38分13秒
(覚知から医療機関に収容するまでの時間)

医療機関別搬送状況

- 救急告示病院は、
8,666人(97.8%)
- その他の医療機関は、
195人(2.2%)
- 管内搬送は5,915人
(全体の66.8%)

1 市町別救急発生状況

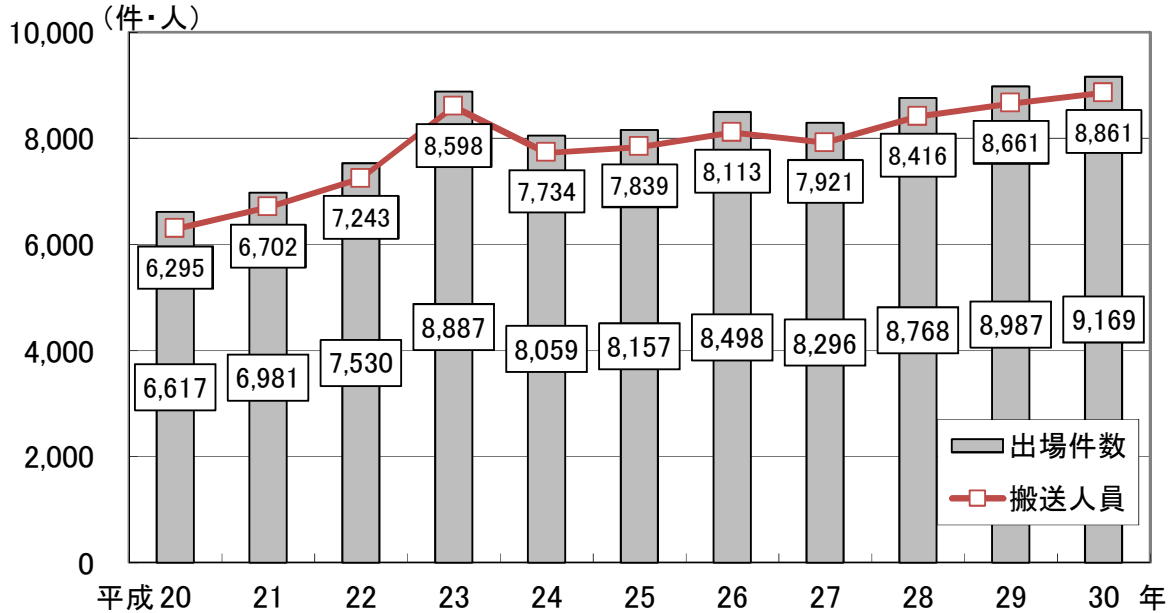
区 分	平成30年		平成29年		対 前 年 比	
	出場件数(件)	搬送人員(人)	出場件数(件)	搬送人員(人)	増 減 数	増 減 率 (%)
合 計	9,169		8,987		182	2.0
	8,861		8,661		200	2.3
塩 竈 市	3,306		3,176		130	4.1
	3,221		3,065		156	5.1
多賀城市	2,637		2,540		97	3.8
	2,519		2,418		101	4.2
松 島 町	1,047		1,013		34	3.4
	1,001		975		26	2.7
七ヶ浜町	758		756		2	0.3
	731		724		7	1.0
利 府 町	1,416		1,493		△ 77	△ 5.2
	1,385		1,472		△ 87	△ 5.9
他 市 町	5		9		△ 4	△ 44.4
	4		7		△ 3	△ 42.9

2 市町事故別救急発生状況

区分		合計	火災	自然 災害	水難	交通	労災	運動	一般	加害	自損	急病	転院 搬送	他
塩竈市	出場件数	3,306	4	1	1	105	24	6	388	14	14	2,214	535	0
	搬送人員	3,221	4	1	1	117	23	6	378	11	12	2,135	533	0
多賀城市	出場件数	2,637	2	0	1	171	24	34	350	6	16	1,856	175	2
	搬送人員	2,519	2	0	0	172	23	34	336	3	11	1,761	175	2
松島町	出場件数	1,047	0	0	0	59	4	27	146	2	5	692	111	1
	搬送人員	1,001	0	0	0	62	4	24	138	2	4	657	110	0
七ヶ浜町	出場件数	758	0	0	2	25	4	12	110	5	3	539	57	1
	搬送人員	731	0	0	0	23	4	11	108	3	2	523	57	0
利府町	出場件数	1,416	2	0	2	96	9	41	154	4	9	940	158	1
	搬送人員	1,385	2	0	1	110	9	41	147	4	4	909	158	0
他市町	出場件数	5	0	0	0	3	1	0	1	0	0	0	0	0
	搬送人員	4	0	0	0	2	1	0	1	0	0	0	0	0
合計	出場件数	9,169	8	1	6	459	66	120	1,149	31	47	6,241	1,036	5
	搬送人員	8,861	8	1	2	486	64	116	1,108	23	33	5,985	1,033	2
平成 29年	出場件数	8,987	3	0	11	509	57	75	1,137	30	40	6,025	1,097	3
	搬送人員	8,661	2	0	7	525	57	74	1,099	24	26	5,749	1,097	1
対前 年比	出場件数	182	5	1	△ 5	△ 50	9	45	12	1	7	216	△ 61	2
	搬送人員	200	6	1	△ 5	△ 39	7	42	9	△ 1	7	236	△ 64	1
対前 年率	出場件数	2.0	166.7	—	△ 45.5	△ 9.8	15.8	60.0	1.1	3.3	17.5	3.6	△ 5.6	66.7
	搬送人員	2.3	300.0	—	△ 71.4	△ 7.4	12.3	56.8	0.8	△ 4.2	26.9	4.1	△ 5.8	100.0

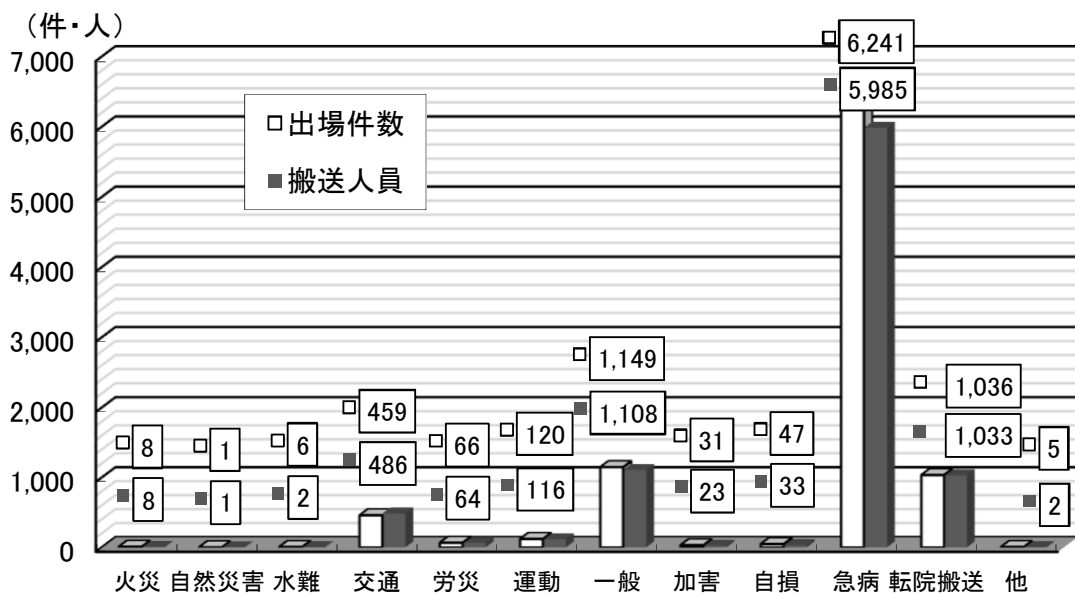
3 救急発生状況の推移

過去10年間の救急出場件数と搬送人員を見ると、出場件数は10年前より2,552件、搬送人員は2,566人増加している。



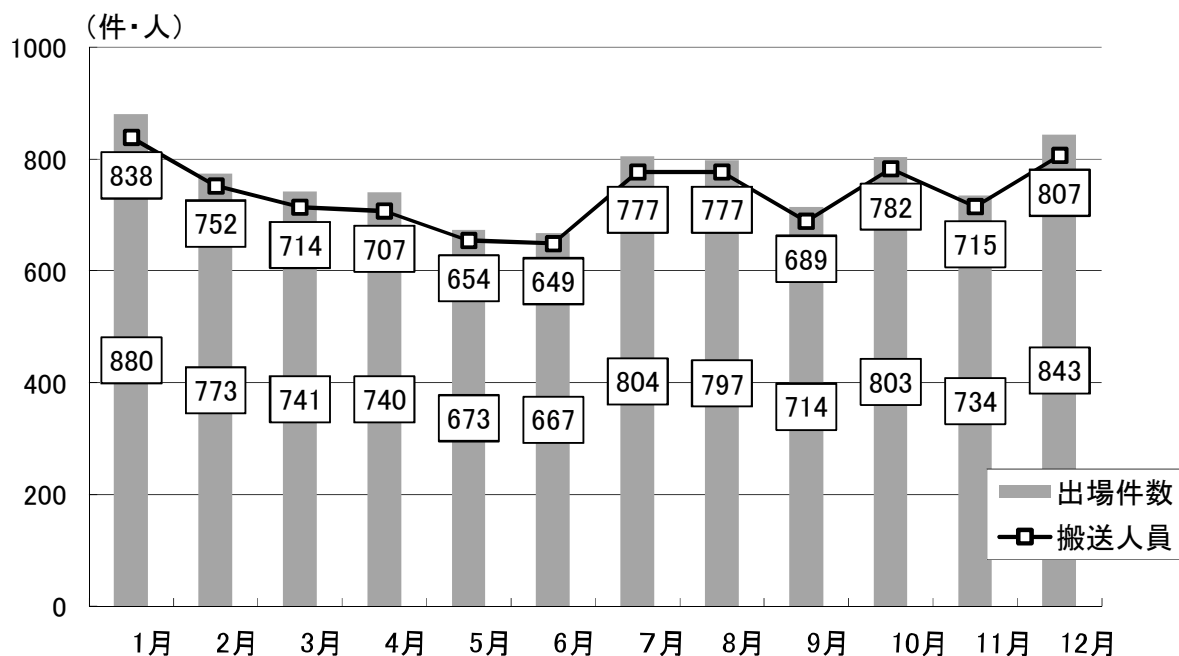
4 事故別救急発生状況

事故別の出場状況は下図のとおりであるが、構成比は急病が約 68.1%、一般負傷が約 12.5%、転院搬送が約 11.3%、交通事故が約 5.0%となっている。



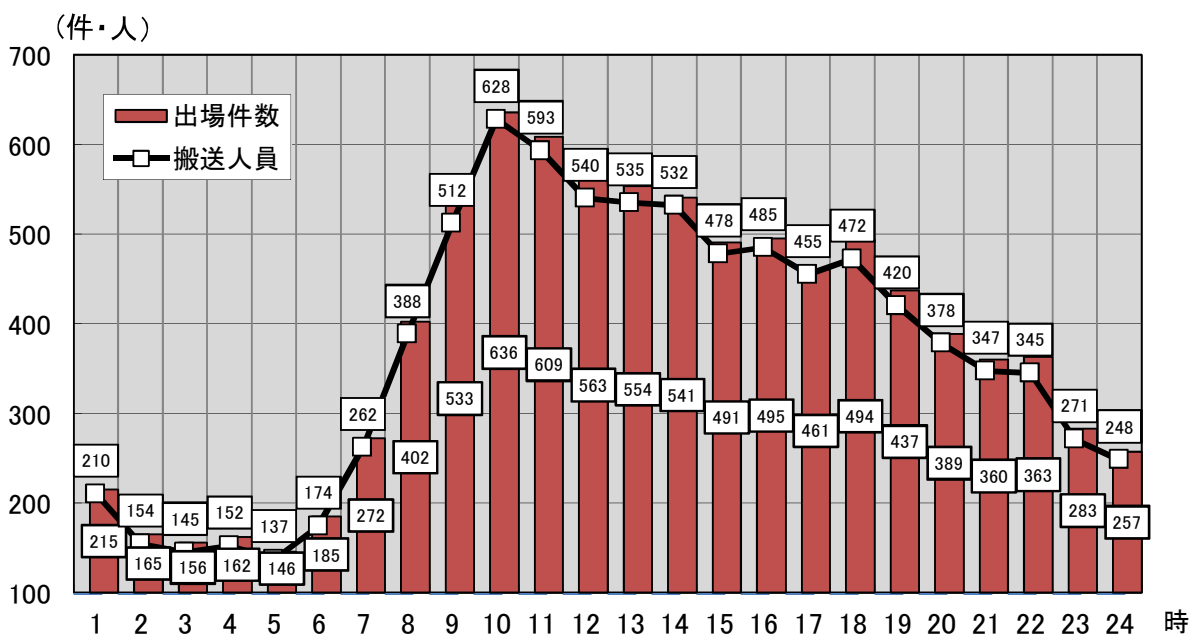
5 月別救急発生状況

出場件数を月別に見ると、1月が880件で1番多く、次いで12月が843件、7月が804件、10月が803件の順で、1ヵ月平均では約764件となっている。



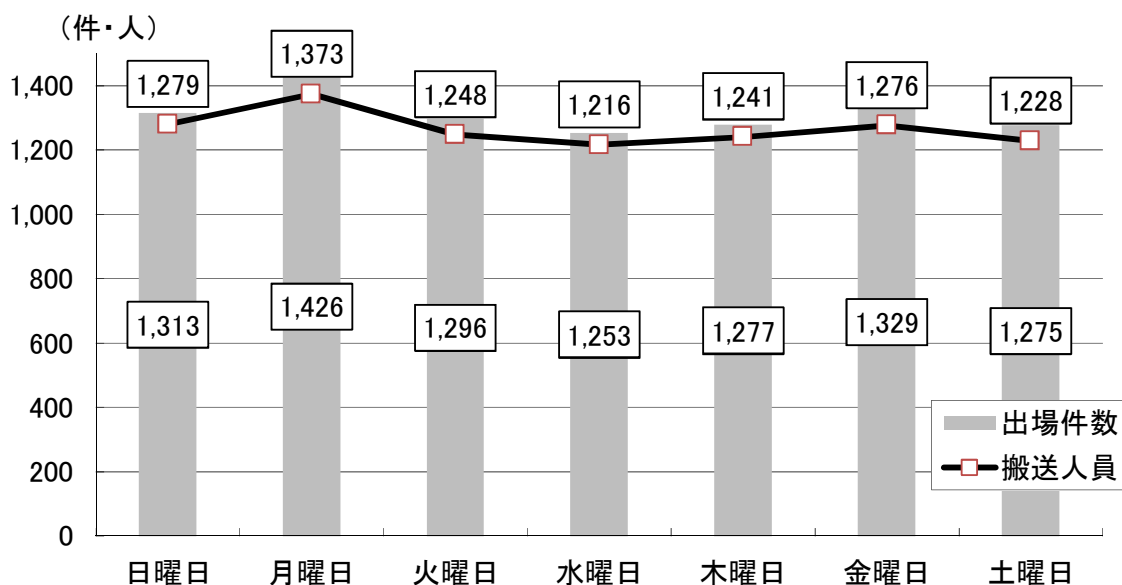
6 時間別救急発生状況

出場件数を時間別に見ると、10時～11時が636件で1番多く、次いで11時～12時が609件、12時～13時が563件、13時～14時が554件の順となっており、日中の時間帯に多くなっている。



7 曜日別救急発生状況

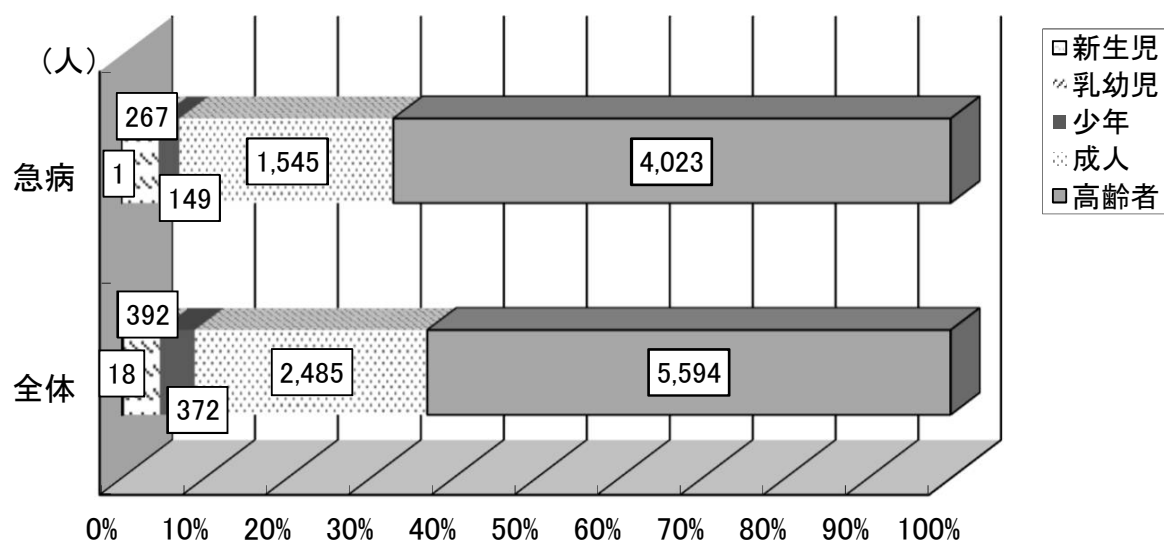
出場件数を曜日別に見ると、月曜日が最も多く1,426件、次いで金曜日が1,329件、日曜日が1,313件の順になっており、全てが1,200件を超えた近似値となっている。



8 年齢区分別搬送状況

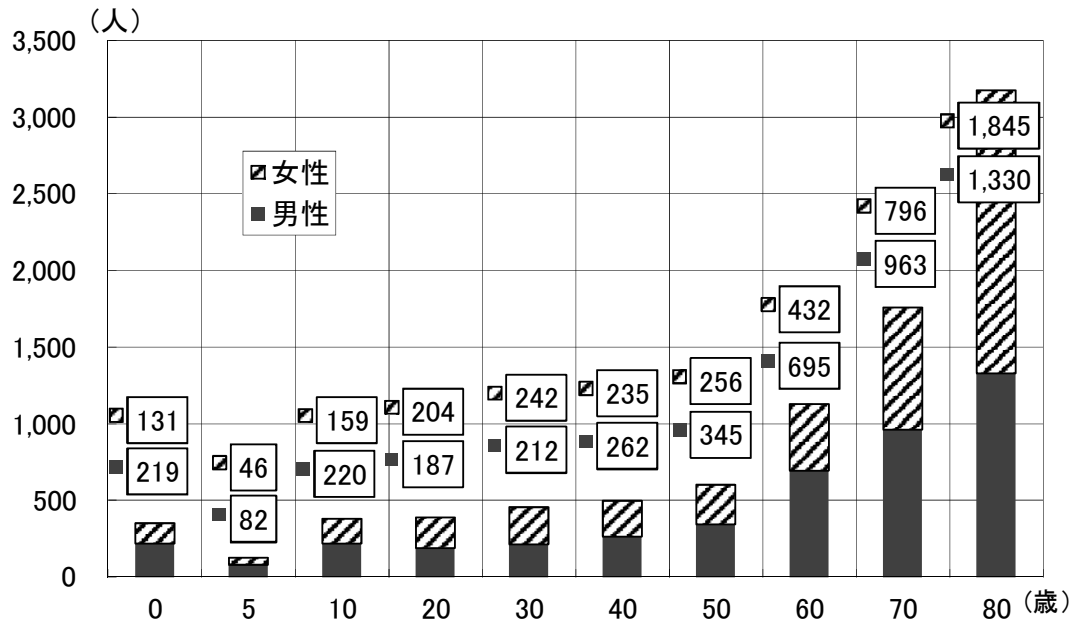
高齢者(65歳以上)が5,594人(全体の約63.1%)で1番多く、次いで成人が2,485人(全体の約28.0%)、乳幼児、少年、新生児の順になっている。

また、事故種別で1番多い急病についても高齢者が4,023人で最も多くなっている。



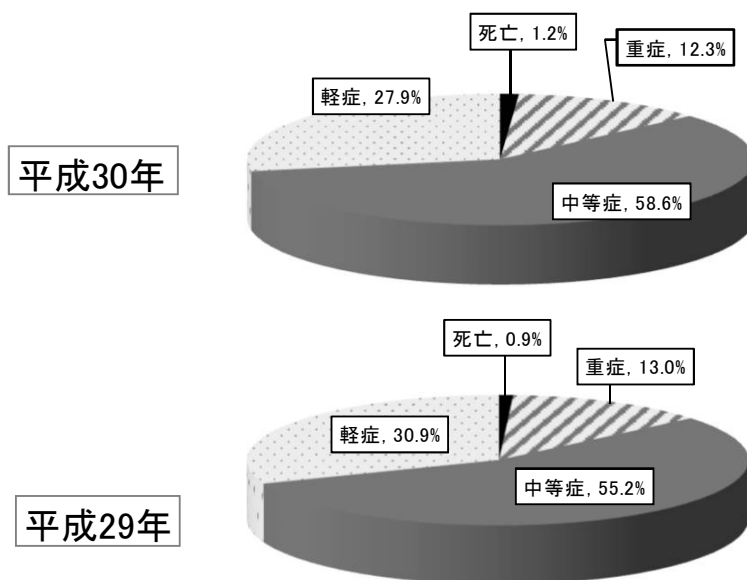
9 年代別性別搬送状況

80歳以上が3,175人で一番多く、次いで70～79歳が1,759人、60～69歳が1,127人の順になっている。男女別では男性が4,515人、女性が4,346人となっている。



10 傷病程度別搬送状況

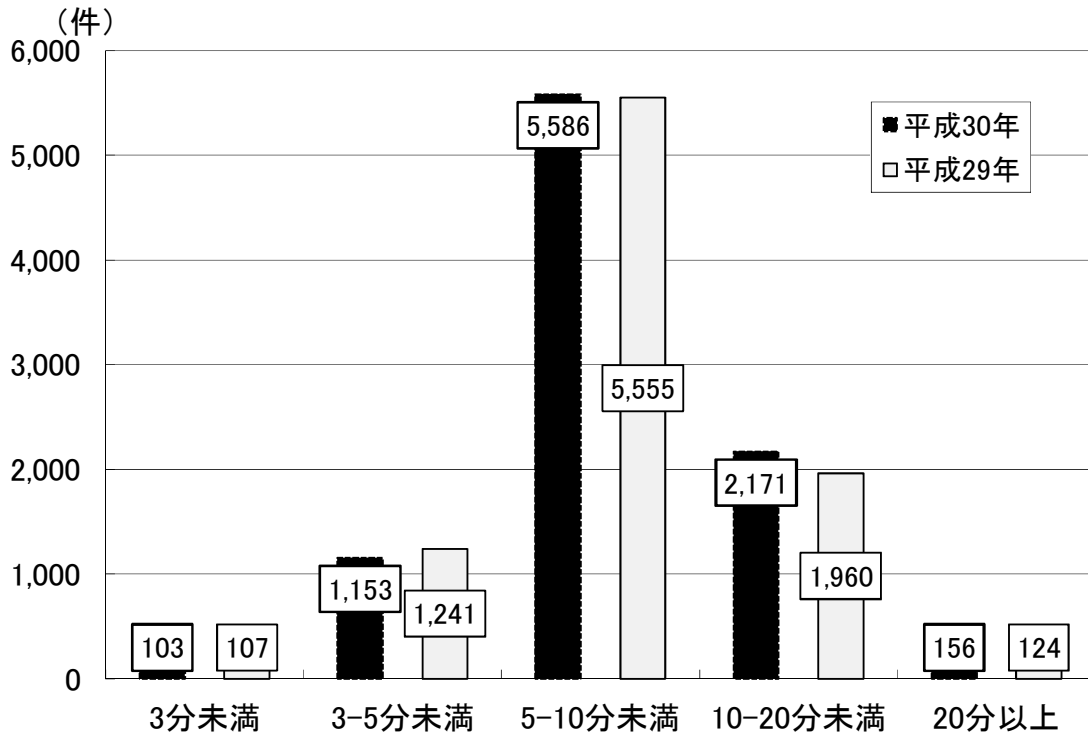
搬送人員の傷病程度の割合は下図のとおりであり、前年とほぼ同じ割合となっている。なお、傷病程度は初診時における医師の診断に基づき分類されている。



11 現場到着所要時間別出場状況

救急出場 9,169件の現場到着所要時間別(覚知から現場に到着するまでに要した時間別)の状況は下図のとおりである。

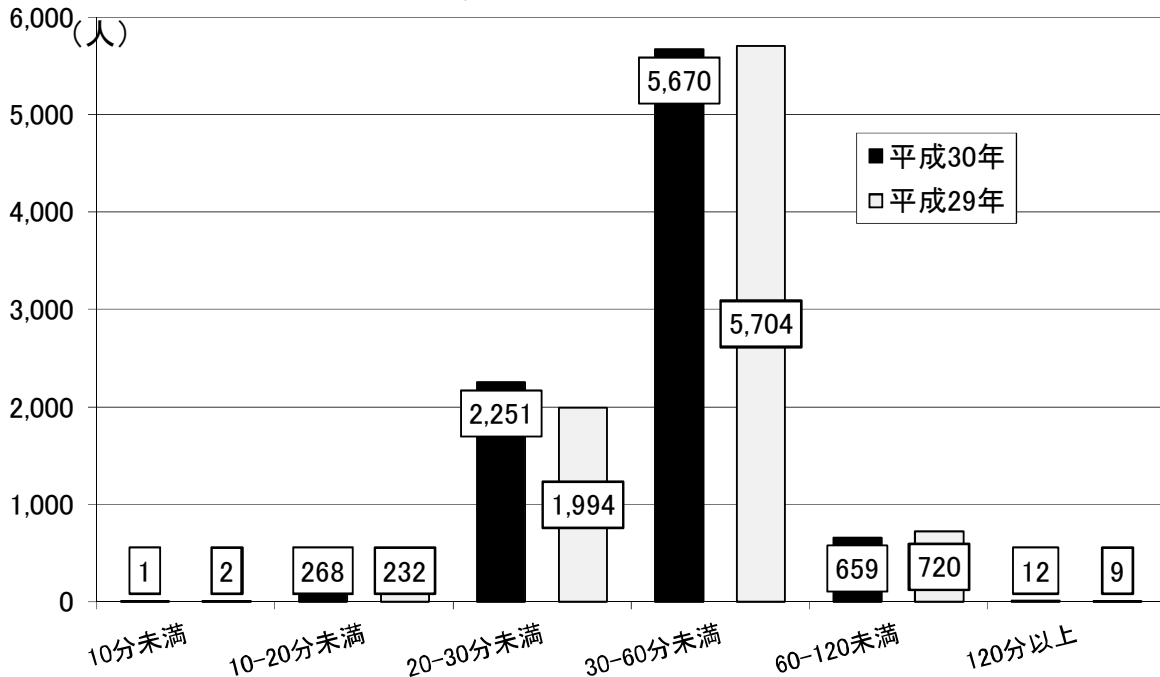
5分以上10分未満が1番多く5,586件で全体の約60.9%を占めている。



12 収容所要時間別搬送状況

搬送人員 8,861人の収容所要時間別(覚知から医療機関に収容するまでに要した時間別)の状況は下図のとおりである。

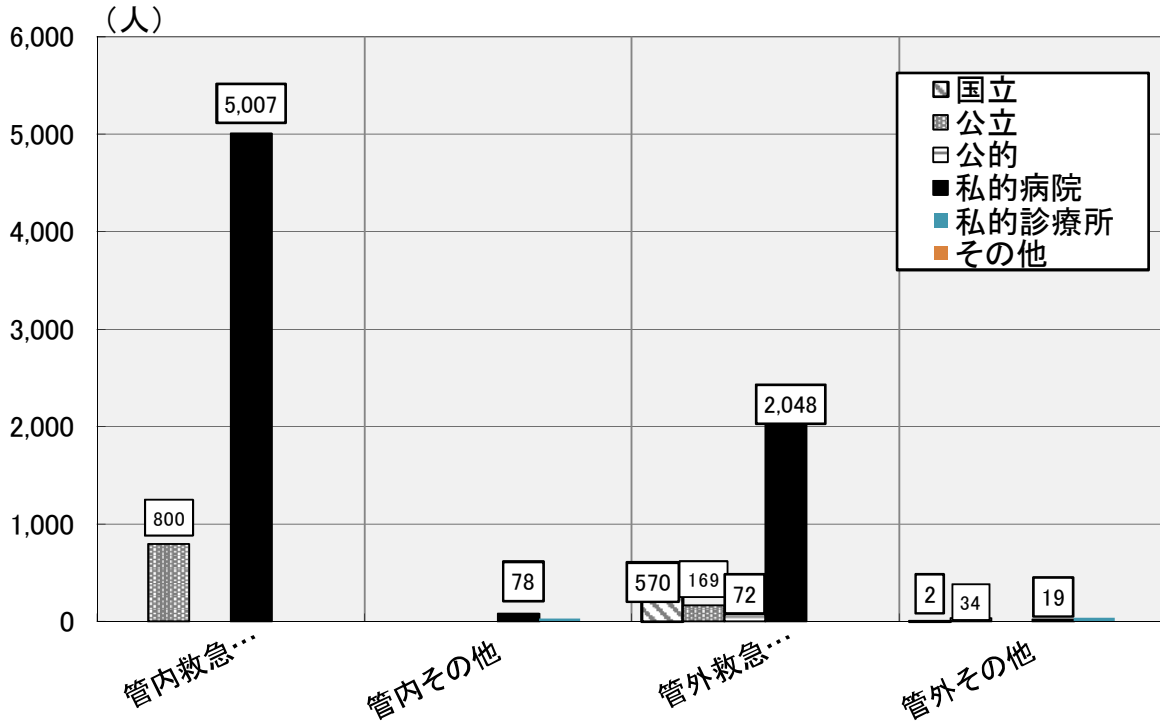
30分以上60分未満が1番多く5,670人で全体の約64.0%を占めている。



13 医療機関別搬送状況

搬送人員 8,861人のうち救急告示医療機関に搬送されたのは 8,666人(全体の約 97.8%)
 その他の医療機関に搬送されたのは 195人(全体の約 2.2%)となっている。

8,861人の内、管内の病院に搬送されたのは 5,915人(全体の約 66.8%)となっている。



(注) 医療機関の分類は次により記載した。

- (1) 「国立」とは、開設者が国(国立大学法人、独立行政法人労働者健康福祉機構、独立行政法人国立病院機構等を含む。)であるもの。
- (2) 「公立」とは、開設者が都道府県、市町村及び地方自治法(昭和22年法律第67号)第284条第1項に規定する地方公共団体の組合であるもの。
- (3) 「公的」とは、開設者が次のものであるもの。
 - a 普通国民健康保険組合
 - b 日本赤十字社
 - c 社会福祉法人恩賜財団済生会
 - d 全国厚生農業協同組合の会員である厚生(医療)農業協同組合連合会
 - e 社会福祉法人北海道社会事業協会

14 救急隊事故別救急発生状況

(件・人)

区分		合計	火災	自然災害	水難	交通	労災	運動	一般	加害	自損	急病	転院搬送	他
塩釜隊	出場件数	2,527	6	1	0	104	21	14	306	9	13	1,810	243	0
	搬送人員	2,446	7	1	0	109	20	13	293	9	11	1,740	243	0
多賀城隊	出場件数	2,578	0	0	1	127	19	27	329	8	12	1,678	375	2
	搬送人員	2,478	0	0	0	132	19	27	319	2	7	1,596	374	2
松島隊	出場件数	965	0	0	0	52	2	23	129	2	5	673	78	1
	搬送人員	925	0	0	0	56	2	22	124	2	4	638	77	0
七ヶ浜隊	出場件数	1,090	2	0	3	54	11	15	153	7	7	720	117	1
	搬送人員	1,049	1	0	1	55	10	14	150	5	5	691	117	0
利府隊	出場件数	2,009	0	0	2	122	13	41	232	5	10	1,360	223	1
	搬送人員	1,963	0	0	1	134	13	40	222	5	6	1,320	222	0
合計	出場件数	9,169	8	1	6	459	66	120	1,149	31	47	6,241	1,036	5
	搬送人員	8,861	8	1	2	486	64	116	1,108	23	33	5,985	1,033	2

15 診療科目別搬送状況

(人)

区分		合計	火災	自然災害	水難	交通	労災	運動	一般	加害	自損	急病	他
診療科目別	救命	436	2	0	1	24	7	4	36	0	15	332	15
	内科	3,696	1	0	0	2	0	14	45	0	5	3,429	200
	外科	985	4	0	1	269	29	37	466	18	8	131	22
	小児科	448	1	0	0	7	0	4	53	1	0	329	53
	産婦人科	89	0	0	0	0	0	0	2	0	0	25	62
	眼科	12	0	0	0	0	0	1	4	0	0	7	0
	整形・形成外科	995	0	1	0	176	26	46	438	3	3	228	74
	耳鼻咽喉科	63	0	0	0	0	0	0	5	0	0	33	25
	脳神経科	747	0	0	0	7	2	9	50	1	0	503	175
	泌尿器科	87	0	0	0	0	0	0	0	0	0	54	33
	精神科	23	0	0	0	0	0	0	0	0	2	18	3
	消化器科	397	0	0	0	0	0	0	3	0	0	289	105
	呼吸器科	280	0	0	0	0	0	0	0	0	0	186	94
	循環器科	577	0	0	0	0	0	0	2	0	0	406	169
	その他	26	0	0	0	1	0	1	4	0	0	15	5
合計	8,861	8	1	2	486	64	116	1,108	23	33	5,985	1,035	

16 救急隊員の行った応急処置等の状況(事故種別による分類)

(件)

区 分	合計	急 病	交通事故	一般負傷	その他
応急処置等対象搬送人員(人)	8,806	5,952	485	1,098	1,271
止 血	375	48	61	221	45
被 覆	294	25	50	185	34
固 定	492	50	217	168	57
保 温	4,911	3,315	263	620	713
酸素吸入	1,707	1,309	22	45	331
人工呼吸	53	44	0	5	4
胸骨圧迫	62	55	0	5	2
※うち自動式心マッサージ器	29	27	0	1	1
心肺蘇生	192	160	4	9	19
※うち自動式心マッサージ器	34	27	1	2	4
在宅療法継続	3	3	0	0	0
ショックパンプ	0	0	0	0	0
血圧測定	8,364	5,649	467	1,028	1,220
心音・呼吸音聴取	4,059	2,782	243	445	589
血中酸素飽和度測定	8,561	5,776	476	1,068	1,241
心電図測定	7,076	5,112	284	729	951
気道確保	291	239	6	15	31
※うち経鼻エアウェイ	34	28	1	1	4
※うち喉頭鏡・鉗子等	10	10	0	0	0
※うちラリゲルマスク等	34	28	1	4	1
※うち気管挿管	14	8	0	3	3
※除細動	67	57	1	2	7
※静脈路確保	109	100	2	7	0
※うちCPA前	44	42	1	1	0
※うちCPA後	65	58	1	6	0
※薬剤投与	45	40	0	4	1
※血糖測定	114	108	0	5	1
※ブドウ糖	19	19	0	0	0
その他の処置	5,266	3,533	305	655	773
計	42,060	28,424	2,401	5,216	6,019

※は平成3年以降に拡大された応急処置等の項目である。

17 応急手当の普及状況

(人)

区 分		合 計	普通救命講習	上級救命講習	普及員講習	救命入門	その他の講習
回 数		253	97	7	0	26	123
性別	男	2,053	755	61	1	312	924
	女	3,029	781	33	0	325	1,890
合 計		5,082	1,536	94	1	637	2,814
年 代 別	10代	660	147	78	0	435	
	20代	234	220	0	0	14	
	30代	297	256	2	1	38	
	40代	403	353	4	0	46	
	50代	329	285	2	0	42	
	60代	272	224	7	0	41	
	70代	70	51	1	0	18	
	80代以上	3	0	0	0	3	

18 過去5年間の市町別救急発生状況

区 分		出場件数 (件)					搬送人員 (人)				
		合計	交通	一般 負傷	急病	その 他	合計	交通	一般 負傷	急病	その 他
平成 26年	合 計	8,498	552	972	5,712	1,262	8,113	603	927	5,375	1,208
	塩 竈 市	2,983	122	359	1,983	519	2,832	120	340	1,876	496
	多 賀 城 市	2,486	211	279	1,706	290	2,343	230	263	1,576	274
	松 島 町	956	64	107	647	138	932	73	106	616	137
	七ヶ浜町	666	31	73	515	47	647	36	70	499	42
	利 府 町	1,399	119	152	860	268	1,352	140	146	807	259
	他 市 町	8	5	2	1	0	7	4	2	1	0
平成 27年	合 計	8,296	452	1,009	5,604	1,231	7,921	465	962	5,303	1,191
	塩 竈 市	3,024	105	358	2,012	549	2,871	106	334	1,900	531
	多 賀 城 市	2,337	157	280	1,604	296	2,223	164	267	1,508	284
	松 島 町	872	44	137	587	104	840	48	133	556	103
	七ヶ浜町	703	24	82	543	54	668	26	78	515	49
	利 府 町	1,357	121	152	856	228	1,316	120	150	822	224
	他 市 町	3	1	0	2	0	3	1	0	2	0
平成 28年	合 計	8,768	490	1,069	5,879	1,330	8,416	516	1,021	5,587	1,292
	塩 竈 市	3,171	110	392	2,059	610	3,026	105	376	1,947	598
	多 賀 城 市	2,555	182	312	1,761	300	2,425	182	292	1,661	290
	松 島 町	967	55	135	632	145	939	67	128	603	141
	七ヶ浜町	674	20	81	518	55	648	22	78	498	50
	利 府 町	1,397	121	149	907	220	1,374	138	147	876	213
	他 市 町	4	2	0	2	0	4	2	0	2	0
平成 29年	合 計	8,987	509	1,137	6,025	1,316	8,661	525	1,099	5,749	1,288
	塩 竈 市	3,176	120	407	2,064	585	3,065	119	392	1,979	575
	多 賀 城 市	2,540	195	307	1,764	274	2,418	194	296	1,661	267
	松 島 町	1,013	50	158	672	133	975	53	152	641	129
	七ヶ浜町	756	22	119	543	72	724	24	115	518	67
	利 府 町	1,493	119	146	977	251	1,472	133	144	946	249
	他 市 町	9	3	0	5	1	7	2	0	4	1
平成 30年	合 計	9,169	459	1,149	6,241	1,320	8,861	486	1,108	5,985	1,282
	塩 竈 市	3,306	105	388	2,214	599	3,221	117	378	2,135	591
	多 賀 城 市	2,637	171	350	1,856	260	2,519	172	336	1,761	250
	松 島 町	1,047	59	146	692	150	1,001	62	138	657	144
	七ヶ浜町	758	25	110	539	84	731	23	108	523	77
	利 府 町	1,416	96	154	940	226	1,385	110	147	909	219
	他 市 町	5	3	1	0	1	4	2	1	0	1

19 過去の主な救急事故（傷病者6名以上）

(人)

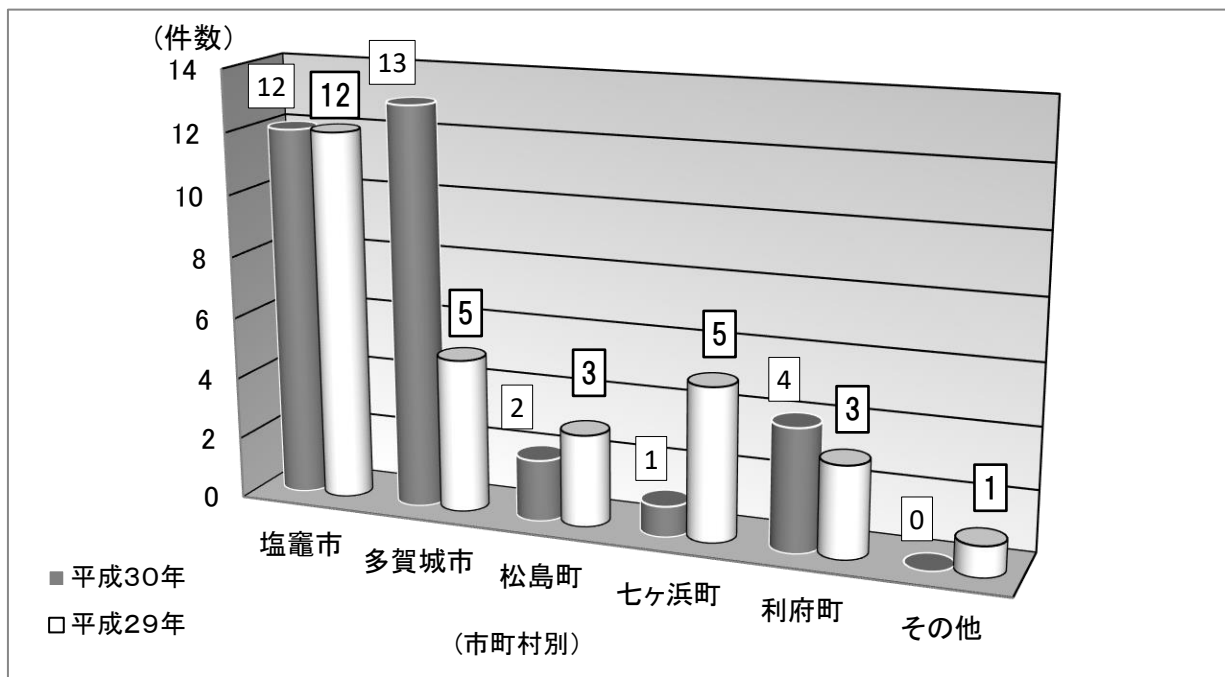
年月日 覚知時間	事故 種別	発生場所	概要	傷病程度			
				死亡	重症	中等症	軽症
平成2年 3月15日 10時17分	労災	多賀城市栄二丁目地内 (東北ドック鉄工内)	ガス爆発	0	0	1	5
平成2年 3月20日 15時43分	交通	利府町神谷沢字大谷地 地内(カメスタンド前)	停車中の乗用車に 乗用車が追突	0	0	0	6
平成2年 10月29日 11時55分	交通	松島町高城字明神地内 (レストラン四季亭前)	トラックと乗用車の 衝突	0	0	1	5
平成5年 5月16日 16時12分	交通	塩竈市杉の入四丁目地内 (小野自動車前)	乗用車同士の正面 衝突	0	0	4	3
平成6年 2月14日 16時5分	交通	松島町松島字石田地内 (パノラマライン入口付近)	路上凍結による乗 用車同士の衝突	0	0	1	5
平成6年 8月3日 17時00分	交通	利府町菅谷字産野原地内 (ふくろうの森前)	乗用車が道路脇の 立木に衝突	0	0	0	8
平成8年 8月5日 10時2分	急病	塩竈市一森山地内 (駐車場)	食中毒	0	0	7	0
平成8年 7月20日 21時7分	交通	利府町利府字八幡崎地内 (モービル石油前)	右折車に後続車が 衝突	0	2	3	2
平成9年 6月28日 19時57分	交通	松島町根廻字蒜沢地内 (東北本線トンネル内)	列車の脱線事故	0	0	5	6
平成9年 11月15日 15時7分	交通	塩竈市東玉川町地内 (JR 塩釜駅南側)	乗用車の多重衝突 事故	0	0	0	6
平成11年 10月15日 16時44分	交通	多賀城市市川字坂下地内 (市川橋付近)	バスと乗用車の正面 衝突	0	0	0	7
平成12年 3月6日 16時31分	交通	塩竈市港町1丁目地内 (片倉チッカリン前)	ローリーと乗用車の 衝突	0	3	3	1
平成13年 7月15日 11時2分	運動	七ヶ浜町吉田浜字野山地 内(陸上競技場内)	リレー競技中に転倒	0	0	0	8
平成14年 1月3日 11時7分	交通	松島町桜渡戸字麦田地内 三陸自動車道上	乗用車8台の衝突 事故	0	0	0	6
平成14年 1月6日 14時38分	交通	利府町沢乙字寺下2-1 (にしむら整形外科前)	乗用車4台の玉突 事故	0	0	0	7
平成14年 3月10日 0時8分	交通	松島町初原字欠田地内 仙台松島線上	トラックと乗用車の正 面衝突事故	0	0	2	8
平成14年 7月2日 13時12分	交通	利府町菅谷字長者前 (ホテルアイネ付近前)	乗用車同士の衝突 事故	0	0	0	7
平成16年 8月10日 ①7時22分 ②12時7分	急病	利府町菅谷館10-1 (グランディー21合宿所内)	腹痛等を訴える学 生が多数発生	0	1	7	35
平成17年 5月22日 4時20分	交通	多賀城市八幡一丁目3番地内 (国道45号線交差点付近)	RV車が横断中の歩行者の 列に突っ込んだもの	3	0	4	18
平成17年 11月14日 10時17分	交通	塩竈市芦畔町10-1地内 路上	送迎車両と乗用車 の衝突事故	0	0	0	8
平成20年 5月19日 12時11分	交通	松島町松島字町内98-1 松島観光棧橋	航行中の観光船が暗 礁に衝突したもの	0	0	2	8
平成29年 5月28日 18時43分	交通	多賀城市八幡一丁目7番地内 (国道45号線下り車線)	乗用車3台の玉突き 事故	0	0	2	5
平成30年 8月22日 12時45分	交通	塩竈市北浜四丁目8地内 (相原酒店前交差点)	乗用車2台の衝突事 故	0	0	1	5

第7編 救助統計



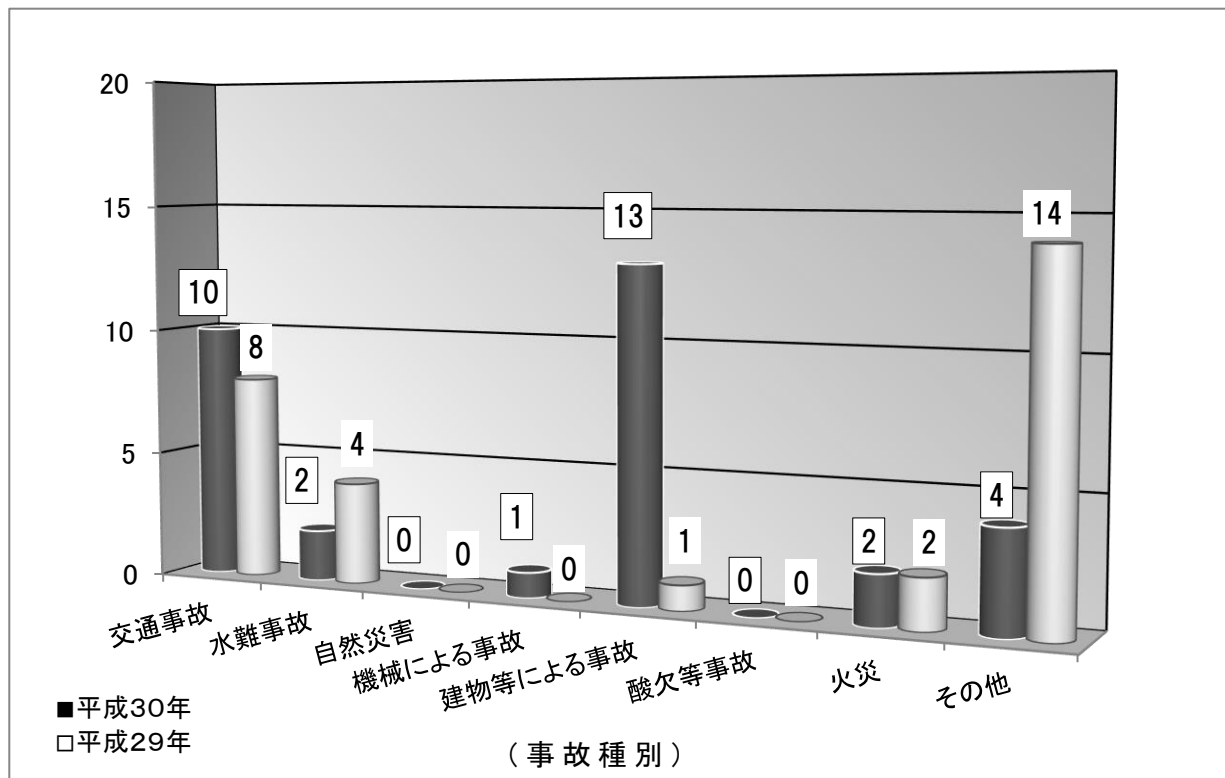
市町別出動状況

総出動件数32件のうち、多賀城市が13件で最も多く、次いで塩竈市の12件、利府町の4件、松島町の2件、七ヶ浜町の1件の順となっている。



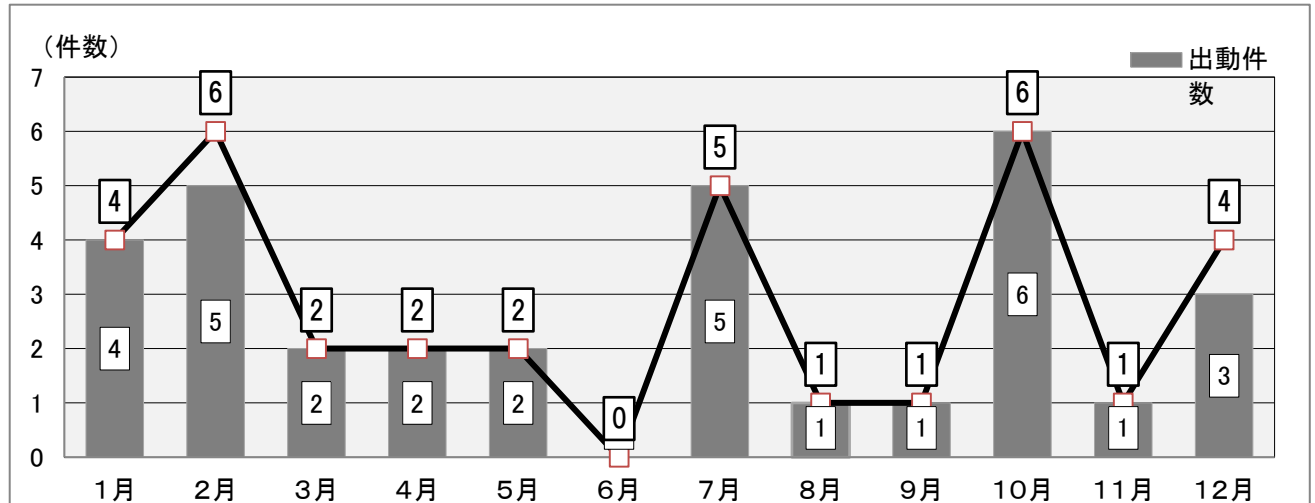
事故種別出動状況

建物等による事故が13件と最も多く、次いで交通事故が10件、その他の事故が4件、水難事故及び建物火災が2件の順となっている。



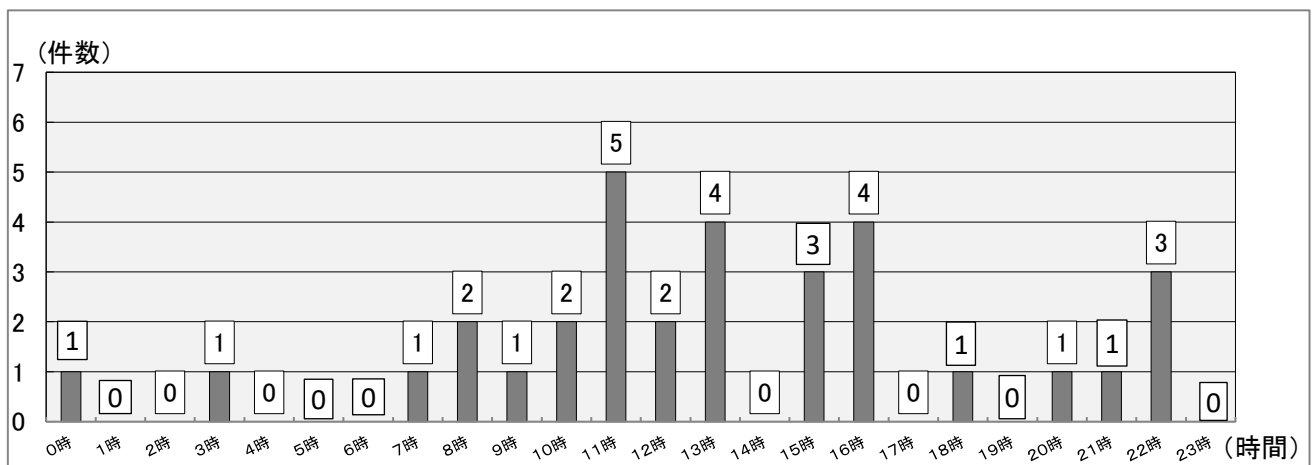
月別救助出動件数・救助人員

出動件数は、10月が6件と最も多く、次いで2月・7月が同件数で5件、1月が4件の順となっている。



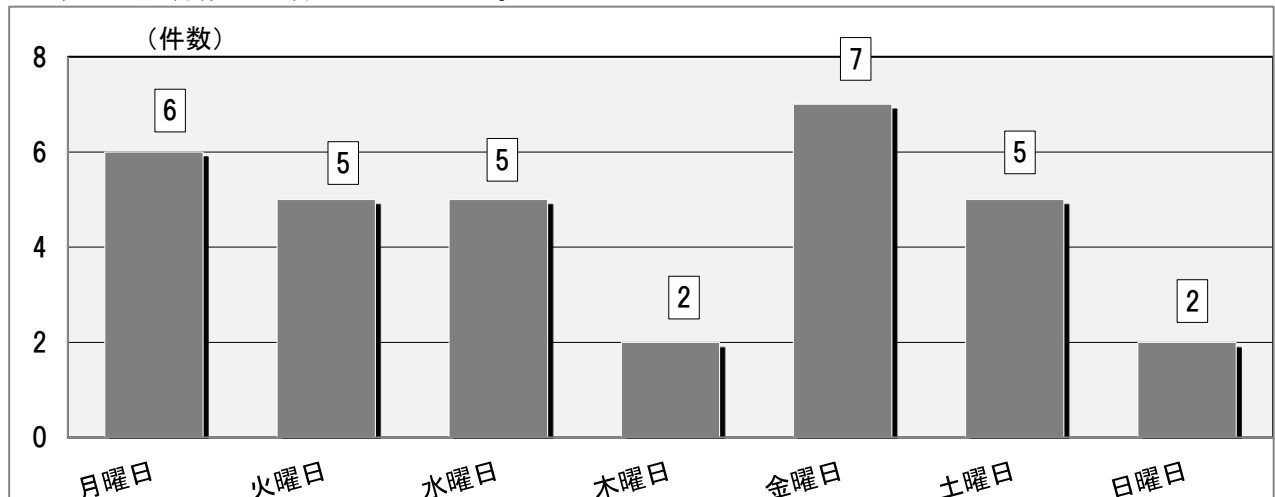
時間別救助出動状況

11時から12時が5件と最も多く、次いで13時から14時及び及び16時から17時が同件数4件となっており、次いで、19時から20時、21時から22時が同件数で3件となっている。



曜日別救助出動状況

総出動件数32件のうち、金曜日が7件で最も多く、次いで月曜日が6件、火曜日、水曜日土曜日が同件数の5件となっている。



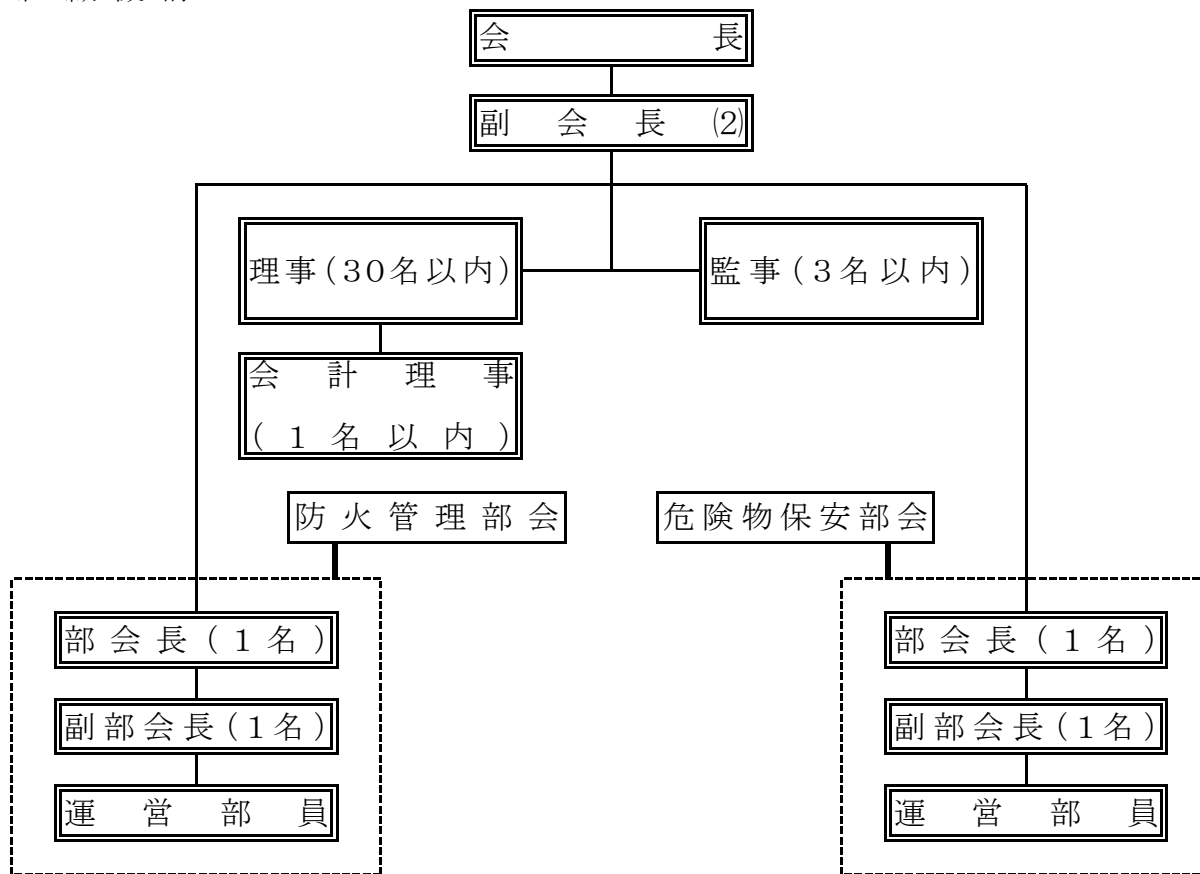
第 8 編 協力団体



塩釜地区防災安全協会

1 設 立 平成7年4月1日

2 組 織 機 構



事務局 塩釜地区消防事務組合消防本部予防課

3 主たる事業

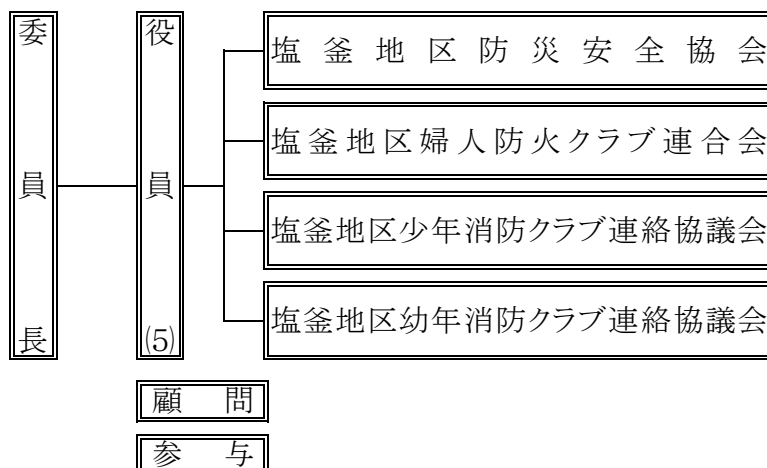
- (1) 防火知識及び危険物災害予防思想の普及に関する事項
- (2) 防火管理者及び危険物取扱者として職務知識及び技術の研究に関する事項
- (3) 火災等の原因及び損害結果を基礎とした予防対策に関する事項
- (4) 講演会及び講習会等の開催に関する事項
- (5) 参考資料、ポスター等の発行及び消防情報に関する事項
- (6) 会員相互の連絡協調に関する事項
- (7) 表彰に関する事項
- (8) その他、本会の目的を達成するために必要な事項

4 会 員 数 (H31. 4. 1)	正会員	658事業所(両部会	81事業所)
塩 竈 市	238事業所	多賀城市	186事業所
松 島 町	86事業所	七ヶ浜町	49事業所
利 府 町	91事業所	そ の 他 の 地 区	8事業所

塩釜地区少年婦人防火委員会

1 設 立 昭和54年11月14日

2 組織機構



事務局 塩釜地区消防事務組合消防本部予防課内

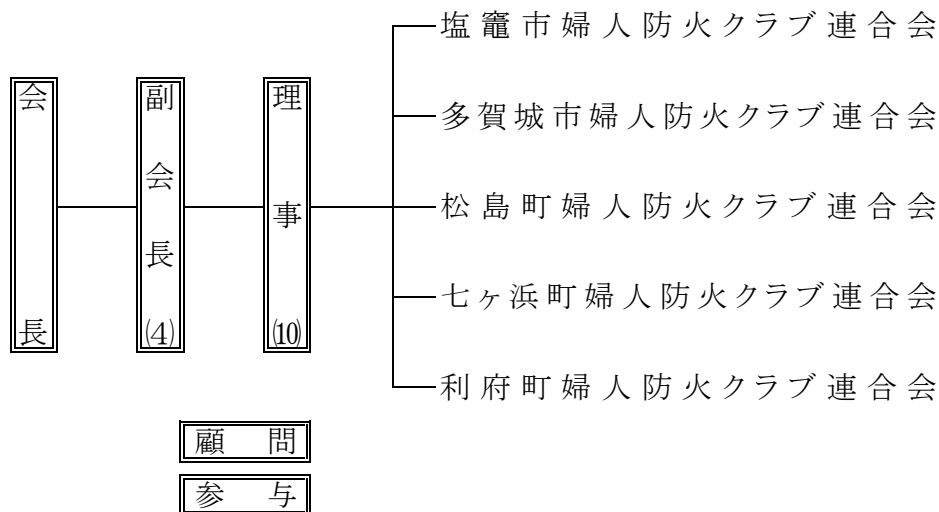
3 目的

本会は、住民の自主防火組織としての少年消防クラブ及び婦人防火クラブの組織拡大と強化を図るとともに、各クラブの運営指導について研究し、助言し、その健全な育成発展に寄与することを目的とする。

塩釜地区婦人防火クラブ連合会

1 設 立 昭和50年4月1日

2 組織機構



事務局 塩釜地区消防事務組合消防本部予防課内

3 主たる事業

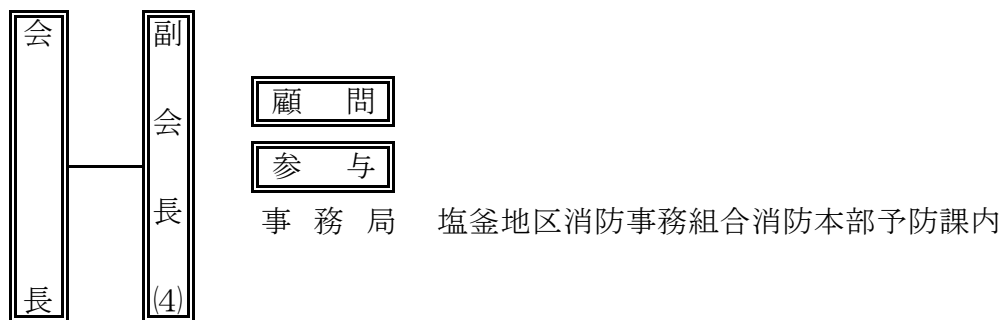
- (1) 家庭防火に関すること
- (2) クラブ相互の連絡協調に関すること
- (3) 指導者の育成に関すること
- (4) 関係当局、その他の消防関係団体との連絡及び協力に関すること
- (5) その他必要な事項

4 会 員 数 (H31. 4. 1)

66クラブ			
会 員 51,830名	塩 竈 市	3,267名	多 賀 城 市 26,919名
	松 島 町	5,626名	七 ヶ 浜 町 6,665名
	利 府 町	9,353名	

塩釜地区少年消防クラブ連絡協議会

- 1 設 立 平成3年12月13日
 2 組 織 機 構



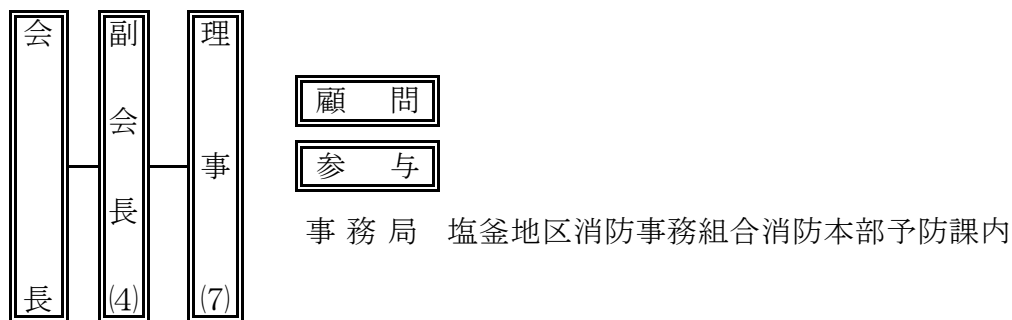
- 3 主たる目標
- (1) クラブの目的、活動について理解を深める
 - (2) 消防についての理解を深める
 - (3) 火災の恐ろしさを知って、防火意識を高める
 - (4) 防火についての心構えを知る
 - (5) 火災の時の処置を知り、身体で覚える
 - (6) クラブ員としての自覚を高める
 - (7) 救急の仕事と応急手当を知る
 - (8) その他必要な事項

4 会 員 数 (H31. 4. 1) 25クラブ

会 員 1, 736名	塩 竈 市	443名	多賀城市	571名
	松 島 町	128名	七ヶ浜町	215名
	利 府 町	379名		

塩釜地区幼年消防クラブ連絡協議会

- 1 設 立 昭和57年9月3日
 2 組 織 機 構



- 3 重点主策
- (1) 火災予防に対する正しい認識を持たせる
 - (2) 火災予防のことを身体で覚えさせる
 - (3) 火遊び防止の徹底を図る

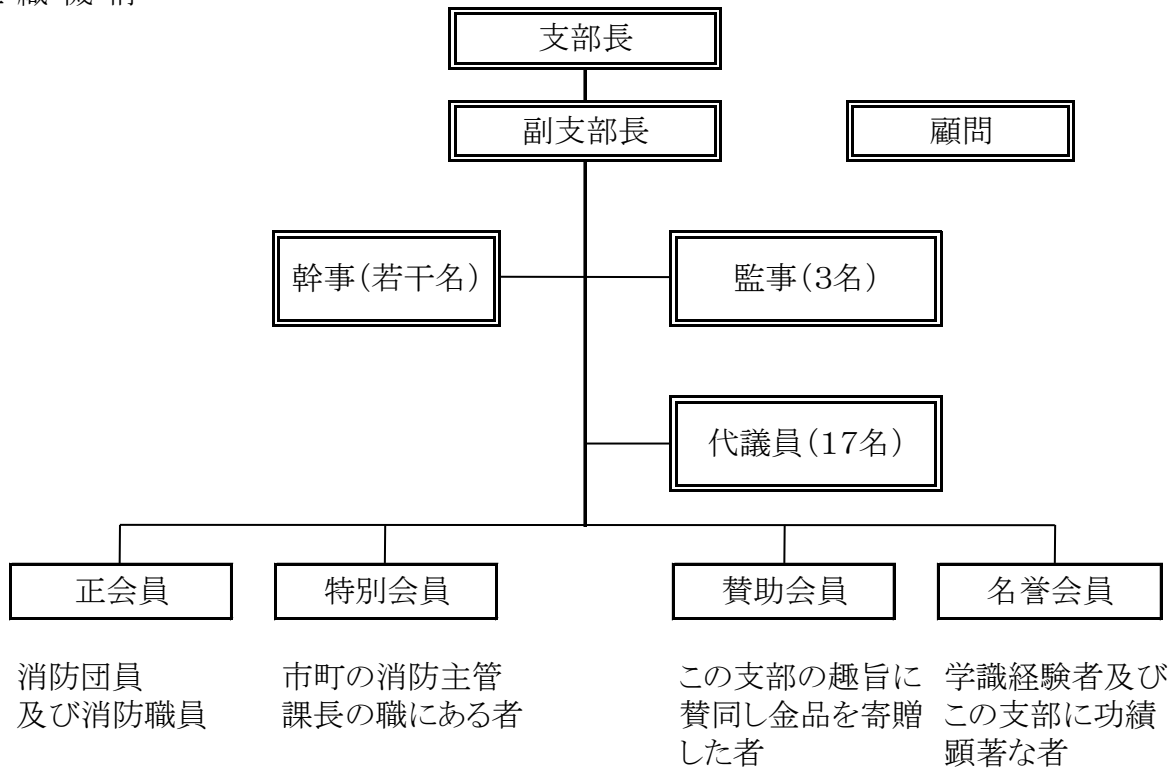
4 会 員 数 (H31. 4. 1) 52クラブ

会 員 4, 513名	塩 竈 市	1, 119名	多賀城市	1, 853名
	松 島 町	287名	七ヶ浜町	285名
	利 府 町	969名		

宮城県消防協会塩釜地区支部

1 設 立 昭和 47 年 4 月 1 日

2 組織機構



事務局 塩釜地区消防事務組合消防本部警防課内

3 主たる事業

- (1) 消防機関相互の連絡及び事業に対する協力
- (2) 消防思想の普及徹底
- (3) 消防に関する調査・研究・指導
- (4) 消防機械器具及び関係資材の購入の斡旋
- (5) 消防機関会員及び消防功労者の表彰
- (6) 大災害地に対する支援の斡旋
- (7) その他この支部の目的を達成するための必要な事業

4 各市町団員数等 (H31. 4. 1)

分団数	団員数
塩竈市塩竈	4分団 80人
塩竈市浦戸	2分団 52人
多賀城市	8分団 157人
松島町	6分団 210人
七ヶ浜町	10分団 190人
利府町	8分団 105人
総数	38分団 794人

平成31年度塩釜地区統一防火標語入選作品
(敬称略)

【特選】

「火は消した？ 私も確認 お手伝い」

塩竈市立杉の入小学校 6年

中村 優琴

【入選作品】 一般の部

「消火より 出さぬ用心 心がけ」
多賀城市新田在住 佐藤 こう

「火をつけた あなたの任務は 消火まで」
陸上自衛隊多賀城駐屯地勤務 福田 温

「火の始末 家族で声掛け 火災なし」
松島町立松島中学校 2年 林 昂 樹

小学校の部

「確かめて 寝る前出る 火の始末」
利府町立利府小学校 5年 松浦 心美

「目でかくにん つけた火けした火 みんなのルール」
多賀城市立天真小学校 4年 関 陽 菜

第42回塩釜地区防火書道展入選作品

松島町立松島第一小学校

四年 緑山凌平



利府町立利府小学校

五年 奥村実千

